

組合員ノ受クル利益ニ應シテ之ヲ賦課スヘシ

第二百八條 組合員ノ有スル表決權ハ其ノ全員ノ同意ヲ以テ定メタル場合ヲ除クノ外組合債務ノ分擔關係ニ依リテ之ヲ定ムヘシ但シ各組合債務分擔義務者ニハ少クモ一票ヲ有セシムルコトヲ要ス

第二百九條 排水工事又ハ灌漑工事カ組合員ニ何等ノ利益ヲ生セサルトキハ組合員ハ此ノ狀態ノ繼續スル期間組合費負擔ノ免除ヲ請求スルコトヲ得但シ第二百條ノ異議申立ノ方法ニ依リ之ヲ請求スルニ非サレハ組合費ノ徵收ニ對抗スルコトヲ得ス

第二百十條 組合員カ起業ノ成就ニ依リ繼續的ニ不利益ヲ受クルモノナルトキハ脱退ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ組合ハ其ノ目的ノ遂行上必要アルトキハ第九十五條乃至第九十七條ノ規定ニ依リ脱退者ニ對シ土地若ハ設備ノ利用若ハ變更ヲ請求シ又ハ公用徵收手續ヲ以テ第二百五十五條乃至第二百六十三條ノ規定ニ依リ土地又ハ設備ヲ取得スルコトヲ得

第二百十一條 組合ハ其ノ目的ノ遂行ニ障害アルトキハ組合員ノ意思ニ反シテ其ノ所有スル組合ノ地區内ノ土地又ハ設備ノ除斥ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ脱退者ニ對シテハ其ノ損害ヲ賠償スヘシ但シ組合ノ起業ノ結果生シタル土地又ハ設備ノ價格ノ増加額ヲ差引クコトヲ得

第二百十二條 組合地區ノ隣地ノ所有者カ組合ノ設備ヲ使用スルニ依リ最モ能ク其ノ排水又ハ灌漑ノ目的ヲ達スルコトヲ得且ツ相當ノ施設ヲ爲ストキハ既存組合員モ亦之カ爲不利益ヲ受クルコトナクシテ組合ノ設備ヲ利用スルコトヲ得ル場合ニ於テ隣地ノ所有者ヨリ組合ニ加入ノ請求ヲ爲シタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

前項ニ依リ加入シタル者ハ相當ノ修理費及維持費ヲ分擔シ且ツ組合設備ノ共同使用ニ依リ特ニ生シタル特別ノ費用ヲ負擔スヘシ

第二百十三條 組合ニ加入セサル第八十九條ニ掲ケタル所有者又ハ組合カ組合ノ設備ニ依リ利益ヲ享受スル場合ニ於テハ組合ノ理事ハ其ノ意見ヲ徵シタル後組合費用ノ分擔ヲ請求スルコトヲ得但シ其ノ享受スル利益ヲ超ユルコトヲ得ス

第二百十四條 第二百九條乃至前條ノ場合ニ於ケル爭議ニ關シテハ行政訴訟手續ニ依リ郡(市)參事會之ヲ決定ス

第三節 營業上ノ設備ニ供スル貯水池設置組合

第二百十五條 營業上ノ設備ニ供スル爲貯水池ノ設置、使用又ハ維持ヲ目的トスル組合ヲ設立セムトスル者ハ左ノ場合ニ於テハ起業ニ使用スヘキ土地ノ所有者ヲ強制シテ加入セシムルコトヲ得

一 起業ノ目的カ流水ヲ營業上ノ原動力其ノ他ノ利用ニ有利ナラシムルモノナルトキ

二 加入反對者ノ所有ニ屬スル營業設備ヲモ編入スルニ非サレハ起業ノ目的ヲ十分ニ遂行シ得サル
トキ

三 關係人ノ多數カ第二百二十三條第五號ノ規定ニ依ル利益ヲ算定シテ起業ニ賛同シタルトキ
前項第三號ノ場合ニ於テ起業ニ使用セラルヘキ營業設備ノ所有者カ其ノ施行ヲ不利益ナリト認ムル
トキハ可否ノ數ニ加ハルコトヲ得

起業ノ種類ニ依リ收益ヲ増加スル見込ナキ營業設備ニ關シテハ強制シテ加入セシムルコトヲ得ス
第二百十六條 第二百七條乃至第二百十二條及第二百十三條第一項ノ規定ハ本節ニ之ヲ適用ス

第二百十七條 營業設備ノ所有者カ組合ノ設立後貯水池又ハ貯水池ヨリ流ルル流水ヲ利用シテ其ノ設
備ヲ運轉セムトスル場合ニ於テ組合ノ起業カ設備ノ使用ニ利益ヲ及ホシタルモノナルトキハ組合ニ
加入スルニ非サレハ水ノ利用ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ規定ノ遂行ハ水警察官廳之ヲ監督ス

第二百十八條 組合ノ設備カ相當ノ施設ヲ爲ストキハ既存組合員ニ不利益ヲ及ホスコトナク第二百十
三條第一項及第二百十七條ニ掲ケタル設備ノ所有者ト共同ニ利用シ得ルモノナル場合ニ於テ其ノ所
有者カ組合ニ加入ノ請求ヲ爲シタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

前項ニ依リ加入シタル者ハ相當ノ修理費及維持費ヲ分擔シ且組合設備ノ共同使用ニ依リ特ニ生シタ

ル特別ノ費用ヲ負擔スヘシ

第二百十九條 組合員カ既存設備ノ擴張若ハ改良ニ依リ又ハ新設備ノ設置ニ依リ貯水池又ハ貯水池ヨ
リ流ルル流水ノ利用ヲ増加シタル場合ニ於テ其ノ増加シタル利用ノ全部又ハ一部カ組合ノ設備ニ依
リ生シタルモノナルトキハ組合員ハ其ノ利益ニ相當スル組合ノ債務ヲ負擔スヘシ

第二百二十條 第二百十四條ノ規定ハ本節ニ之ヲ適用ス但シ其ノ權限ハ縣參事會ニ屬ス

第四節 組合設立ノ手續

第二百二十一條 組合設立ノ手續ハ其ノ區域一縣内ニ止マルトキハ縣知事其ノ他ノ場合ハ州知事之ヲ
管轄ス

第二百二十二條 組合設立ノ許可ハ關係人又ハ官廳ニ於テ之ヲ申請スヘシ

第二百二十三條 組合設立ノ許可申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 起業説明書及附圖
- 二 起業ニ要スル費用ノ豫算
- 三 起業區域ノ土地及設備並參加組合員ニ關スル事項
- 四 手續ニ依リ生スル費用ノ一時的補充ニ關スル説明
- 五 第二百六條ノ場合又ハ營業上ノ目的ヲ以テ貯水池ノ設置、使用若ハ維持ヲ爲ス場合ニ於テハ起

業ニ依リ生スル利益ノ見積及起業ニ與リタル土地、鑛山、組合及營業上ノ設備ニ利益ヲ分布スヘキ標準

申請書カ申請ノ提起ニ必要ナル要件ヲ具備セシムルコト能ハサルトキハ其ノ申請ニ依リ第二百二十四條ノ管轄權ヲ有スル官廳ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

第二百二十四條 水利組合ノ擴張ニ必要ナル事項ニ付テハ千八百七十四年六月十一日公布公用徵收法

第五條ノ規定ヲ適用ス但シ郡(市)參事會ノ權限ニ屬シ其ノ意見ニ依リ公告ヲ中止スルコトヲ得

第二百二十五條 組合設立ノ申請カ許可スヘカラサルモノナルトキハ主務官廳ハ直ニ理由ヲ示シテ其ノ申請書ヲ却下スルコトヲ得

其ノ他ノ場合ニ在リテハ主務官廳ハ手續管理ノ爲又ハ第二百二十三條第二項ノ規定ニ依リ申請要件ヲ具備セシムル爲委員ヲ選任スヘシ

第二百二十六條 委員ハ設立ノ申請ニ具備セシムヘキ要件ニ付組合員タルヘキ者ノ表決ヲ爲サシメ其ノ要件ニ異議ナキトキハ更ニ其ノ起草ニ係ル組合ノ定款ヲ表決セシメタル後其ノ定款ヲ認證スヘシ

前項ノ規定ニ依リ關係人ヲ招集スル場合ニ於テハ未決定者又ハ不表決者ハ組合ノ設立ニ同意シタルモノト看做スヘキ旨及定款ニ關シテハ多數ノ表決スル所ニ從フモノト看做スヘキ旨ヲ警告スヘシ

第二百二十七條 新ニ設立セラルヘキ組合ニ對シ加入反對者ノ強制加入ヲ許スヘキ場合ニ於テハ(第

二百五條、第二百六條及第二百五條)委員ハ關與土地ノ面積及價格竝見積書ニ照ラシ關與土地、

鑛山、組合及營業上ノ設備ノ利益ヲ査定スルコトヲ要ス

土地ノ價格ハ地租ノ純收入ニ依ル但シ整理手續中ニシテ地租純收入ノ未タ決定セサル土地ニ在リテハ此ノ手續ニ依リテ調査シ得ヘキ評定價格ニ依ル

第二百二十八條 前條ノ場合ニ於テハ委員ハ起業ニ對シ提起セラレタル異議竝強制加入ノ適用ニ關スル法定要件、組合設立ノ申請要件、組合ノ定款及申請者ノ設立費用支辨ニ對スル申請ニ付關係人ニ協議スヘシ尙必要アルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ又ハ之ヲ協議ニ與ラシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ關係人ヲ招集スル場合ニ於テハ未決定者又ハ不表決者ハ多數ノ表決スル所ニ從フモノト看做スヘキ旨ヲ警告スヘシ

第二百二十九條 關係人カ第二百二十七條ノ規定ニ依リ委員ノ利益査定ニ對シ異議ノ申立ヲ爲シタルトキハ第二百二十一條ノ管轄官廳之ヲ決定ス但シ此ノ決定ハ組合ノ定款カ許可セラル、迄之ヲ以テ組合ノ表決ト看做ス

第二百三十條 第二百二十八條ノ規定ニ依ル協議ニ於テハ委員ハ總テノ協議事項ニ付關係人ノ表決ヲ徵スヘシ

多數決ニ依ル場合ニ於テ土地ノ排水灌溉組合ノ設立ニ關スル表決ニ付テハ第二百五條第一項第三號又ハ第二百六條第三號ノ規定ニ依リテ之ヲ計算シ其ノ定款ノ許可前ニ表決ヲ要スル必要ノ事項ニ付テハ第二百六條ノ場合ニ在リテハ同第二項第三號ノ規定ニ依リ第二百五條ノ場合ニ在リテハ單ニ關與シタル土地ノ價格ニ依リテ之ヲ計算スヘシ

營業上ノ設備ニ供スル爲貯水池ノ設置、使用又ハ維持ヲ目的トスル組合ノ設立ニ關スル表決ニ付テハ定款ノ許可前ニ於テハ見積書ニ査定セラレタル利益ニ依リテ之ヲ計算スヘシ

第二百三十一條 土地ノ共有者ハ共同シテ其ノ表決權ヲ行フヘシ其ノ共有者ノ全員カ表決ニ參加セサルトキハ不參者又ハ不表決者ハ參加者ノ表決ニ同意シタルモノト看做ス

第二百三十二條 本法中別ニ規定アル場合ヲ除クノ外關係人ノ招集、其ノ代理人及委員ノ議事手續ニ關シテハ土地整理手續ノ規定ヲ適用ス

委員總會ノ管理ノ下ニ執行セラレタル場合ノ外(第二百五十四條)手續違法ナリシトキハ最上級行政裁判所ハ最高農事改良裁判所ニ代リ秩序罰ヲ確定ス

第二百三十三條 組合ノ設立ニ付關係人ノ同意アリタルトキ又ハ第二百二十七條ノ場合ニ於テ多數ノ同意アリタルトキハ委員ハ關係人又ハ第二百二十七條ノ場合ニ於テハ同意者及反對者ニ代理人ヲ選舉セシムヘシ此ノ場合ニ於テ關係人ヲ招集スルニハ第二百二十八條第二項ニ掲ケタル法律上ノ不利

益ヲ受クヘキ旨ヲ豫告スヘシ

組合ノ設立カ異議ナク決定セラレタルトキハ組合ノ事業ニ付組合員ノ決定ヲ必要トスル場合ハ關係土地所有者ノ多數決ニ依ル

代理人ノ選舉ハ關係人ノ數五人以上ニ達セサルトキハ之ヲ中止スルコトヲ得

第二百三十四條 代理人ハ組合ノ設立ニ付選舉人ノ共同利害ヲ代表シ且其ノ選舉人ヨリ計畫ノ必要ナル變更及定款ニ關スル意見ノ陳述ヲ委任セララルコトヲ得

同意者ノ代理人ハ委員ノ認許ヲ以テ設立セラルヘキ組合ニ關シ縣參事會ニ申請ヲ爲シ又ハ特許手續ニ付關係人ノ全部ヲ代表スルノ權限ヲ有ス

第二百三十五條 委員ハ決議セル議事ヲ管轄官廳(第二百二十一條)ニ提出シ管轄官廳ハ之ヲ主務大臣ニ提出スヘシ

第二百三十六條 定款ニ於テ強制加入(第二百五條、第二百六條及二百十五條)ヲ規定セル場合ニ在リテハ勅令ニ依ル認可ヲ受ケ其ノ他ノ場合ニ在リテハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

認可ヲ受ケタル定款ハ官報ニ依ル勅令ノ公布ニ關スル千八百七十二年四月十日公布ノ法律ノ規定ニ依リテ之ヲ告示スヘシ但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル定款ニ在リテハ定款ノ日附竝第百九十三條第一號、第二號、第九號、第十三號及第十四號ニ掲ケタル規定ノ範圍内ニ限リテ之ヲ告示シ法律彙纂

ニ於ケル定款ノ掲載ハ之ヲ中止スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ定款ノ變更ニ之ヲ適用ス但シ一國ニ於テ認可セラレタル定款ノ變更カ組合ノ目的、住所又ハ代理ニ關スル規定ニ非サルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第二百三十七條 組合ノ設立アリタルトキハ監督官廳ハ遲滯ナク定款ノ規定ニ依リ理事ノ選舉及決定ヲ爲サシムヘシ

第二百三十八條 手續中ニ生スル議事竝裁判其ノ他官廳ノ行爲ニ付テハ手数料又ハ印紙ヲ要セス其ノ之ニ要シタル現金ノ費用カ國庫ノ支出ト爲ラサル場合ニ於テ申請カ却下又ハ取消ノ處分ヲ受ケタルトキハ申請人ノ負擔トシ其ノ他ノ場合ハ組合ノ負擔トス但シ異議訴訟ノ費用ハ敗訴者ノ負擔トス組合設立後委員會ノ議事ノ決定前ニ於テ申請人カ組合ノ設立ニ必要ナル豫備工事ヲ爲シ支出シタル費用ヲ組合ニ負擔セシムヘキコトヲ請求スルトキハ監督官廳ハ其ノ負擔ヲ命スルコトヲ得

第二百三十九條 組合ノ設立ニ對スル申請提起竝手續ノ管理ニ關シ費用ノ支出ヲ要スルトキハ官廳(第二百二十一條)ハ申請人ヨリ相當費用ノ前拂ヲ請求スルコトヲ得

第二百四十條 手續ノ管理ニ關スル異議ニ付テハ委員ヲ選任シタル縣知事又ハ州知事ニ於テ終局決定ヲ爲ス

第五節 組合ノ解散及清算

第二百四十一條 左ノ事由アルトキハ主務大臣ハ組合ノ解散ヲ言渡スコトヲ得

一 組合員數二名ニ達シタルトキ其ノ一人ヨリ解散ノ申請アリタルトキ

二 定款ノ許可アリタルトキヨリ一箇年以内ニ起業ニ著手セサルトキ又ハ起業ニ著手シタル後組合員ノ過失ニ基キ一箇年停止シ若ハ之カ爲定款許可ノ根本要件變更シタルトキ

第二百四十二條 組合ハ組合員ノ決議ニ依リ解散スルコトヲ得但シ總投票三分ノ二以上ノ多數ニシテ主務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第二百四十三條 勅令ニ依リ成立シタル組合ニ於テハ主務大臣ハ組合ノ解散ニ付勅許ヲ求ムヘシ

第二百四十四條 組合ノ解散ハ主務大臣ノ許可カ組合ノ理事ニ送達セラレタルトキヨリ其ノ效力ヲ生ス

組合ノ解散ハ其ノ費用ヲ以テ監督官廳之ヲ其ノ公報ニ告示シ清算手續ノ管理ハ組合ノ公告紙ヲ以テ組合ノ理事之ヲ公告ス

第二百四十五條 組合解散シタルトキハ組合ノ理事又ハ定款ノ規定ニ依リ清算人ト爲リタル者ハ其ノ清算ヲ爲スヘシ

理事ハ清算人タルヘキ者ヲ公告シ且ツ債權者ニ對シテハ清算人ニ申出ツヘキ旨ヲ催告スヘシ此ノ場合ニ於テ一箇年以内ニ申出ナキ債權ハ組合財産ノ分配ヨリ除外セラル

第二百四十六條 清算人ノ選任ハ理事ヨリ、其ノ改任又ハ代理權ノ終了ハ清算人ヨリ二週間以内ニ監督官廳ニ届出ツヘシ其ノ選任、解任又ハ代理權ノ終了ハ監督官廳ニ於テ公報ニ之ヲ公告スヘシ
第二百四十七條 清算人ノ選任、解任又ハ代理權ノ終了ハ前條ノ規定ニ依ル公告アリ且第三者カ之ヲ知リタルトキヨリ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二百四十八條 清算人ハ現務ノ終了、債務ノ辨濟、債權ノ取立及組合財産ノ換價ヲ爲スノ職務ヲ有シ裁判上及裁判外ニ於テ組合ヲ代表スルノ權限ヲ有ス且其ノ決定ニ至ラサル現務ノ終了ノ爲新ナル法律行爲ヲ爲シ定款又ハ組合ノ決議ニ別段ノ定アル場合ノ外公賣方法ニ依リ組合ノ不動産ヲ讓渡スルコトヲ得

清算人ニ加ヘタル代理權ノ制限ハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第二百四十九條 清算人數人アルトキハ別段ノ定アル場合ノ外清算ニ屬スル事務ノ執行ハ其ノ共同ニ依ル

第二百五十條 清算人ハ事務ノ執行ニ付組合ノ決議ニ從フコトヲ要ス若シ之ニ違反シタル爲組合ニ損害ヲ生シタルトキハ共同債務者トシテ各之ヲ賠償スルノ義務ヲ負フ

第二百五十一條 組合財産ノ配分ハ第二百四十五條第二項ニ定メタル期間ノ滿了前及組合債務ノ辨濟前ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百五十二條 清算終了スル迄ハ官ノ監督竝組合員間及組合若ハ組合員ト第三者トノ法律關係ニ關シテハ本法及定款ノ規定ヲ適用ス但シ清算ノ性質上他ノ規定ニ從フヘキモノナルトキハ此ノ限ニ在ラス

解散セル組合ハ清算終了スル迄ハ解散當時ノ裁判籍ヲ存續ス

第二百五十三條 清算終了シタルトキハ解散セル組合ノ書類ハ監督官廳之ヲ保管ス

組合員又ハ其ノ權利承繼人ハ前項書類ノ閱覽又ハ謄寫ヲ求ムルコトヲ得

第六節 土地整理局ノ權限

第二百五十四條 土地整理局ノ構成及手續ニ關シ新ニ規定ヲ爲ス迄左ノ規定ニ依ル

一 豫定ノ組起業ニ使用セララルル總テノ土地カ土地整理局ノ管理ニ屬スル土地集合手續、分割手續又ハ地代設定手續ニ從フモノナルトキハ土地整理局ハ第二百二十一條ニ掲ケタル官廳ニ代ル但シ其ノ他ノ土地カ組合ノ起業ニ參加セル場合ト雖州知事ノ決定ニ依リ適當ナリト認メタルトキハ土地整理局ノ管轄トス

第百八十四條第四號第五號ニ掲ケタル組合ノ設立ニ關シテハ第二百二十一條ニ於テ指定シタル官廳ノ權限ニ屬ス

二 第百八十四條第一號乃至第三號ニ掲ケタル組合ノ起業カ關與土地ヲ整理スルニ非サレハ其ノ目

的ヲ有效ニ遂行スルコト能ハサルトキハ之カ編入ノ決定ハ州知事ニ於テ之ヲ爲ス比ノ場合ニ於テハ組合ノ設立ニ關スル手續ノ管理ハ之ヲ土地整理局ニ委任スヘシ

三 前二號ノ規定ニ依リ手續ノ管理カ土地整理局ノ義務ニ屬スルトキハ決定事項ノ實施ニ至ル迄ハ土地整理局ニ於テ之ヲ監督スルノ權限ヲ有ス

四 第一號第二號ノ場合ニ於テハ土地整理局ハ其ノ管理スル手續ニ關與セサル土地ニ付テモ之ニ關與セル土地ト同シク強制權限ノ實行竝爭議及異議ノ決定ニ付テハ通常官廳ニ代ル

第四章 公用徵收法

第二百五十五條 水利起業ノ爲公用徵收ノ方法ニ依リ請求シ得ヘキ事項左ノ如シ

一 土地所有權又ハ土地所有權上ノ權利ノ剝奪若ハ制限

二 流水(水源及下水流ヲ含ム)ノ使用權又ハ變更權ノ排除又ハ侵害

前項ノ規定ハ鹽泉ニ之ヲ適用セス

第二百五十六條 公用徵收ニ付テハ千八百七十四年六月十一日公布公用徵收法第一條、第四條乃至第

十四條、第十六條乃至第二十二條、第二十四條乃至第四十九條竝千八百八十三年八月一日公布ノ權

限法第五十條ノ規定ヲ適用ス但シ次條以下ノ制限ニ依ル

第二百五十七條 公用徵收權ノ附與ハ縣參事會ノ決定ニ依ル決定ニハ其ノ理由ヲ示シ起業者及起業ノ

性質ヲ記載スヘシ

千八百八十三年七月三十日公布聯邦行政法第一百七條ノ規定ニ依ル理事長ノ土地收用權ノ附與ハ之ヲ適用セス

第二百五十八條 第四十七條ノ規定ニ依リ流水ノ所有者ニ屬スル權利ヲ剝奪又ハ制限シタル爲負擔ス

ヘキ損害賠償ハ其ノ所有者カ繼續的ニ實行シタル使用方法ヲ侵害シタルトキ又ハ所有者カ其ノ權利ノ行使ニ付設備ヲ設置シタルトキ若ハ其ノ設置ニ著手シタルトキニ限ル

第二百五十九條 前條ノ場合ニ於テ起業ノ結果カ土地排水灌漑ノ設備又ハ給水設備ノ維持義務ヲ輕減スルニ依リ其ノ所有者ノ土地ノ價格ヲ增加セシメタルトキハ特別損害賠償(公用徵收法第八條第二項)ヲ差引キ之ヲ計算スヘシ

第二百六十條 豫備工事許可ノ公告、計畫ノ説明、關係人ノ招集又ハ鑑定人ノ出頭ハ縣參事會カ其ノ必要ナシト認メタルトキハ之ヲ中止スルコトヲ得

第二百六十一條 計畫ノ確定ニ關スル手續ハ損害賠償ノ決定ト同時ニ之ヲ決定スルコトヲ得

第二百六十二條 排水灌漑又ハ給水ノ起業ニ付公用徵收ノ申請アリタル場合ニ於テ其ノ起業カ被請求者ノ土地ヲ編入スルニ非サレハ有效ニ其ノ目的ヲ達スルコト能ハサルモノナルトキハ被請求者ハ相當ノ費用ヲ負擔シテ起業ニ參加ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ爭議ヲ生スルトキハ縣參事會ハ損害賠償ノ確定ト同時ニ之ヲ決定スヘシ

第二百六十三條 縣參事會ノ決定ニ對スル異議（權限法第五十條第三項）ハ決定ニ示サレタル主務大臣ニ之ヲ提出スヘシ此ノ場合ニ於テ損害賠償ニ關スル異議ノ決定ニ不服アルトキハ其ノ決定アリタル日ヨリ三箇月以内ニ之カ取消ノ訴訟ヲ提起スルコトヲ得若シ異議カ損害賠償以外ノ事項ナルトキハ出訴期間ハ異議ニ對スル處分ノ送達アリタル日ヨリ之ヲ起算ス

第二百六十四條 流水ノ維持其ノ他公益上政府ニ於テ施行シタル又ハ政府ノ命令若ハ特許ニ基ク流水ノ變更ニ必要ナル工事ノ遂行ニ關シテハ建築材料ノ取去ニ付公用徵收法第五十條乃至第五十三條ノ規定ヲ適用ス但シ第五十三條第一項ニ依リ郡長（ハノーブアーニ於テハ當該官廳）ニ指定セラレタル決定ハ郡（市）參事會ノ決議ニ從フコトヲ要ス

第五章 官 廳

第二百六十五條 本法ニ於ケル水警察官廳ノ意義左ノ如シ

- 一 河及運河ニ付テハ縣知事
- 二 高水川、川及水路ニ付テハ郡ニ在リテハ郡長、市ニ在リテハ地方警察官廳
- 三 小川、溝渠及滯水ニ付テハ地方警察官廳

第二百六十六條 勅令ニ依リ水警察事務ヲ委任セララル、者左ノ如シ

- 一 河及運河ニ付テハ特別規定ニ依リ其ノ管理ヲ委任セラレタル州知事又ハ縣知事
- 二 高水川、川及水路ニ付テハ郡ニ在リテハ郡長、市ニ在リテハ隣接スル郡ノ地方警察官廳

前項ト同一ノ方法ニ依リ河及運河ノ地方的水警察事務ハ之ヲ郡長又ハ地方建築官吏ニ委任スルコトヲ得

第二百六十七條 大貯水池ニ付第五十一條乃至第六十條ノ場合ニ於テ水警察官廳ト稱スルハ前條第一項第一號ノ規定ニ依リ水警察事務ヲ委任セラレタル州知事又ハ縣知事ヲ謂フ但シ特ニ委任セラレタルモノナキトキハ縣知事トス

第二百六十八條 州知事ハ州ノ水警察官廳ヲ監督ス

第二百六十九條 州知事ハ其ノ管轄州以外ノ水域ニ關スル場合ト雖第二百六十六條第一項第一號ノ規定ニ依リ水警察事務ノ委任ヲ受ケタル縣知事ヲ監督ス

水警察權ヲ有スル縣知事又ハ州知事ハ第二百六十六條第二項ノ規定ニ依リ水警察事務ノ委任ヲ受ケタル郡長又ハ地方建築官吏ヲ監督ス

第二百七十條 水警察事務ヲ管掌スル官廳ハ水ヲ調査シ航行シ又ハ沿岸ヲ踏査スルコトヲ得

第二百七十一條 第三十條、第三十一條、第五十二條、第四百十二條、第七十八條及第八十條ノ場合ニ於テ警察官廳ト稱スルハ水警察官廳又ハ水警察官廳カ其ノ權限内ノ事項ニ付警察權ヲ付與シ

タル官廳ヲ謂フ

第二百七十二條 州知事ハ本法ノ規定ニ依リ官ノ權力ヲ行使シ其ノ法律上ノ權限ニ基ク命令ヲ遂行スル爲縣知事ニ對シ強制手段ノ適用ヲ命スルコトヲ得

第二百六十六條第二項ノ規定ニ依リ水警察事務ノ委任ヲ受ケタル地方建築官吏ハ前項ノ命令ヲ遂行スル爲強制手段ヲ適用スルニ付テハ郡長ト同一ノ地位ニ立ツ

第二百七十三條 州知事ノ水警察ノ處分ニ對シテハ二週間以内ニ最高行政裁判所ニ起訴スルコトヲ得但シ第二百六十六條第一項第一號ノ場合ニ於テハ地方行政法第三百十條ノ規定ヲ適用ス

其ノ他ノ處分ニ對シテハ本法中別段ノ定アル場合ノ外警察處分ノ不服申立ニ關スル一般規定ニ依ル但シ地方警察官廳ノ處分ニ對スル訴權ニ付テハ地方區域ニ屬スル人口一萬以上ノ市ニ在リテモ千八百八十三年七月三十日公布聯邦行政法第二百二十七條第一項第一號及第二百二十八條第一項第一號ノ規定ヲ適用ス

第二百六十六條第二項ノ規定ニ依リ水警察事務ノ委任ヲ受ケタル地方建築官吏ノ處分ニ對シテハ郡長ノ處分ニ對スルト同一ノ訴權アルモノトス

第二百六十九條ノ規定ニ依リ監督權カ他ノ行政區劃ノ州知事又ハ縣知事ニ屬スルトキハ其ノ州知事又ハ縣知事ハ異議ノ手續ニ關シテモ當該主務州知事又ハ縣知事ニ代ル

聯邦行政法第二百二十八條第一項第二號ノ規定ニ依ル訴訟ハ監督州知事ノ任地ニ於ケル縣知事ノ管轄トス

第二百七十四條 第二百六十五條第一號及第二百六十六條第一項第一號ノ規定ニ依リ警察事務カ州知事又ハ縣知事ニ屬スルトキハ州知事又ハ縣知事ハ其ノ管轄區域ノ全部若ハ一部ニ對シ又ハ其ノ管轄區域以外ノ縣郡ニ對シ警察命令ヲ發スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ州會又ハ縣參事會ノ同意ヲ必要トスルモノナルトキハ多數ノ州又ハ縣ニ亘ル警察命令ニ對シテハ關係各州會又ハ各縣參事會ノ同意アルコトヲ要ス

郡長ハ水警察官トシテ郡ノ各地方警察區域ノ全部又ハ一部ニ對シ千八百八十三年七月三十日公布聯邦行政法第四百十三條ノ規定ニ依リ警察命令ヲ發スルコトヲ得

其ノ他警察命令ノ發布權限ニ關シテハ現行法ノ規定ニ依ル

第二百七十五條 第二百六十六條第一項第一號ノ規定ニ依リ水警察事務ノ委任ヲ受ケタル州知事ハ地方、郡又ハ縣ノ警察規定ヲ廢止スルコトヲ得但シ急施ヲ要スル場合ノ外關係州會ノ同意ヲ經ヘシ主務大臣ハ其ノ職權ヲ以テ水警察規定ヲ廢止スルコトヲ得

第二百七十六條 本法ニ於テ認ムル訴訟ノ提起期間ハ別段ノ定アルモノノ外二週間トス

第二百七十七條 郡長又ハ市警察署長ニハ水利事件ノ技術顧問トシテ政府技師ノ資格ヲ有スル建築官

吏ヲ附シ郡(市)參事會又ハ其ノ議長ノ請求ニ依リ會議ニ參與セシムルコトヲ得其ノ會議參與權ノ範圍ハ執行細則ニ之ヲ規定ス

第二百七十八條 郡長又ハ市ノ地方警察官ハ郡參事會ノ同意ヲ經テ尙必要アルトキハ市町村長ノ同意ヲ經テ其ノ監督ニ屬スル高水川、川又ハ水路並其ノ行政區域ニ屬スル小川又ハ溝渠ニ付警察命令ヲ以テ監査規定ヲ發シ流水監督ノ爲次條乃至第二百八十一條ノ規定ニ依リ監査委員會ヲ組織シ且ツ法定ノ維持義務ノ履行ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得

第二百七十九條 監査委員會ハ左ノ事項ノ監督ノ委任ヲ受クルコトヲ得

一 吐水口ノ維持

二 流水ノ使用、變更又ハ維持

三 堰水設備ノ所有者カ法律上負擔スル義務ノ履行

第二百八十條 監査委員會ノ會長又ハ其ノ代理人ハ監査規定ニ定メタル水警察官廳ヲ以テ主務警察官廳ニ代フルコトヲ得又自ラ水警察ノ處分ヲ發スル權限ヲ委任セラル、コトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ發シタル處分ニ付千八百八十三年七月三十日公布聯邦行政法第三百三十二條ノ規定ニ依リ委任官廳ニ屬スル強制手段ヲ適用スコトヲ得但シ其ノ處分ニ對スル異議ニ付テハ主務水警察官廳ノ規定ヲ適用ス

第二百八十一條 監査委員會ノ會員ハ名譽職トシ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ要ス

第六章 罰 則

第二百八十二條 本法ニ依リ設立又ハ變更ノ認可ヲ要シ又ハ第六十二條ノ特許ヲ要スル設備ヲ認可又ハ特許ヲ受ケスシテ設立若ハ變更シタル者又ハ認可若ハ特許ノ條件ヲ遵守セサル者ハ三百マーク以下ノ罰金ニ處シ無資力ナルトキハ拘留ニ處ス但シ他ノ刑罰法令ニ依リ重キ刑ヲ科スヘキモノナルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二百八十三條 左ニ掲クル者ハ他ノ刑罰法令ニ依リ重キ刑ヲ科スヘキモノニ非サルトキハ百五十マーク以下ノ罰金ニ處シ無資力ナルトキハ四週間以下ノ拘留ニ處ス

一 第三十四條、第二百二十八條、第二百七十三條、第二百七十五條、第二百七十七條、第二百七十八條若ハ第二百八十條ノ規定ニ違反シ又ハ第二百二十三條ノ規定ニ基ク禁止ニ違反シタル者

二 本法ニ基キ州知事又ハ縣知事ノ發シタル警察命令ニ違反シタル者

第二百八十四條 左ノ場合ニ於テハ本法ノ規定ニ依リ議事ニ參與セル鑑定人ヲ處罰ス

一 鑑定人カ其ノ業務上知り得タル營業上ノ秘密ヲ不當ニ漏洩シタルトキハ千五百マーク以下ノ罰金又ハ三箇月以下ノ禁錮ニ處ス

二 鑑定人カ其ノ業務上知り得タル營業上ノ秘密ヲ故意ニ漏洩シ又ハ秘密ヲ保ツヘキ營業上ノ設備

若ハ方法ヲ模倣シタルトキハ禁錮ニ處ス此ノ場合ニ於テハ公民名譽權ヲ喪失シ其ノ行爲カ自己又
ハ他人ノ財産上ノ利益ヲ目的トシタルモノナルトキハ禁錮ノ外三千マーク以下ノ罰金ニ處ス
第一號ノ場合ニ於ケル訴追ハ起業者ノ請求アルコトヲ要ス

第七章 附 則

第二百八十五條 從來法律上存セス且公ノ船運ニ供セラレサル流水ノ所有權ハ第二十條ノ適用ヲ受ク
ルニ至ル迄勅令ニ依リ州議會（ヘツセンナツサウ及ホーエンツオルレン州ニ於テハ地方議會）ノ
意見ヲ徵シ之ヲ公共團體ニ付與スルコトヲ得

前項ノ付與ハ次條ノ規定ニ依リ適當ノ時期ニ申出テタル第三者ノ特別私法上ノ所有權ヲ侵害スルコ
トヲ得ス

第二百八十六條 縣知事ハ特別私法上ノ所有權ヲ有スル者ニシテ流水所有權排除ノ忌避ヲ爲サムトス
ル者アルトキハ郡ニ在リテハ郡長市ニ在リテハ地方警察官廳ニ對シ其ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ附記シ
豫定ノ面積及流水ノ明細書ヲ告示スヘシ
申出ノ期間ハ告示中ニ之ヲ明記スヘシ但シ四週間以上三箇月以下トス
告示ハ官報又ハ公報ヲ以テ之ヲ爲シ且關係市町村ノ揭示場ニ之ヲ揭示スヘシ
揭示ノ場所及期間ハ當該土地慣例ノ方法ニ依リテ之ヲ爲スヘシ

第二百八十七條 本法ニ依リ土地所有者ノ有スル權利義務ハ相續シ得ヘキ使用權ノ存スル土地ニ付テ
ハ使用權者ニ歸ス

第二百八十八條 本法施行ノ際本法ト異リテ存スル流水ノ所有、使用其ノ他ノ權利ハ本法施行後ニ於
テモ仍存續ス但シ之ニ對シテハ本法ノ規定ヲ適用ス

法律ニ基キ直接存スル權利ハ其ノ行使ニ關スル適法ノ設備ノ存續スル期間仍存續ス但シ五箇年以上
存在セル設備ニシテ其ノ存續期間内ニ異議ノ申立ナキ限りハ之ヲ適法ノモノト看做ス

第二百八十九條 前條ノ規定ニ依リ存續スル權利ハ之ヲ水簿ニ登記スルコトヲ要シ本法施行後十箇年
以内ニ之カ登記ヲ申出テサルトキハ消滅ス但シ土地臺帳ノ登記又ハ公正證書ノ作成ヲ以テ之ニ代フ
ルコトヲ得

前項ノ權利ノ存否ニ關スル爭議ハ行政訴訟手續ニ依リ郡（市）參事會ニ於テ之ヲ決定ス

第二百九十條 本法施行ノ際存在シ第五十一條ノ規定ニ依リ認可ヲ受クヘキ設備ニ付之カ變更ヲ爲サ
ムトスルトキハ第五十三條ノ規定ニ依リ認可ヲ受クヘシ

第二百九十一條 本法施行ノ際存在シ第六十二條ノ規定ニ依リ特許ヲ受クヘキ起業ニ付之カ變更ヲ爲
サムトスルトキハ第九十二條ノ規定ニ依リ特許ヲ受クヘシ

第二百九十二條 本法施行前特別ノ法律ニ基キ設定セラレタル流水維持ノ私法上ノ義務ニシテ其ノ維

持費ノ負擔カ當時ニ限り効力ヲ有スル法規ニ依リ決定セラレルモノナルトキハ之ヲ廢止ス
前項ノ規定ニ依リ廢止セラレサル私法上ノ義務ハ本法ニ基ク流水維持ノ公法上ノ義務ニ影響ヲ及ホ
サス

第二百九十三條 本法施行ノ際官廳ノ手續又ハ起訴中ノ事件ニシテ未決定ノモノニ付テハ仍從前ノ規
定ニ依ル

第二百九十四條 千八百四十三年二月二十八日公布私川ノ使用ニ關スル法律第五十六條乃至第五十九
條、千八百五十三年五月十一日公布補充法第一條第二條、千八百六十七年五月二十八日公布ノ命令
ノ規定ニ依リ設立シタル組合ニ付テハ現行法第三章ノ規定ヲ適用ス

前項ノ規定ハ千八百七十九年四月一日公布水利組合ノ設立ニ關スル法律第四十五條以下ノ規定又ハ
ウツバー河及其ノ支流ノ區域内ニ關スル千八百九十一年五月十九日公布ノ法律ノ規定及同年十二月
三十日公布ノ附屬命令並同年五月十九日公布ノ法律ヲウオルメ河、其ノ支流及ルール河ノ區域ニ適
用スル爲千八百九十三年八月十四日及千九百年四月十八日公布ノ法律ノ規定ニ依リ設立セラレタル
組合ニ付亦同シ

前二項ニ該當セサル組合ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

第二百九十五條 水利事件ニ關スル土地整理局ノ權限ハ第二百五十四條ノ規定ヲ除クノ外本法ニ依リ

之ヲ變更スルコトヲ得

第二百九十六條 第二百五十七條ノ規定ハ市町村及私領區カ聯合シテ水利ニ關スル起業ヲ目的トシテ設
立セル組合ニ之ヲ適用ス

第二百九十七條 千八百四十六年十月二十八日公布ジイゲン郡牧場規定及ジイゲン郡ニ關スル千八百
八十三年八月一日公布權限法第十二節第一款第一項ノ規定ハ仍存續ス千八百四十三年二月二十八日
公布私川ノ使用ニ關スル法律及千八百四十一年十一月十五日公布水車用堰水及吐水口ノ築造ニ關スル
法律ノ規定亦同シ但シ牧場規定ハ第十二條及第二十七條ノ規定ニ於テ之ヲ指示シタル場合ニ限ル

第二百九十八條 本法ノ規定ハ鑛泉ノ保護ニ關スル千八百六十年七月七日公布ナツサウノ命令ノ規定
及鹽泉ニ關スル千八百六十五年六月二十四日公布普通鑛山法ノ適用ヲ妨ケス

第二百九十九條 他ノ法律中本法ノ規定ノ結果其ノ効力ヲ失フヘキ旨ヲ規定シタルモノニ對シテハ本
法ノ相當規定ヲ以テ之ニ代フ

第三百條 本法ニ牴觸スル法令ノ規定ハ總テ之ヲ廢止ス但シ左ノ規定中本法ニ規定セサル事項ニ關ス
ル部分ハ仍其ノ効力ヲ有ス

- 一 普通州法、ライオン州民法及獨逸普通法中用法ニ屬セサル規定
- 二 水車用堰水及吐水口ノ築造ニ關スル千八百四十一年十一月十五日公布ノ法律

- 三 私川ノ使用ニ關スル千八百四十三年二月二十八日公布ノ法律及ケル控訴裁判所管轄區域ニ於ケル其ノ施行ニ關スル千八百四十五年一月九日公布ノ命令
- 四 排水設備ニ付執行スヘキ公告及催告ノ手續ニ關スル千八百四十六年一月二十三日公布ノ命令
- 五 千八百四十三年二月二十八日公布私川ノ使用ニ關スル法律第三章ノホーエンツォレルン州ニ於ケル施行ノ命令竝排水組合ノ設立及地下水道ニ對スル吐水口法ノ適用ニ關スル千八百五十三年五月十一日公布ノ法律
- 六 水利組合ノ設立ニ關スル千八百七十九年四月一日公布ノ法律
- 七 公川ノ沿岸地所有者ニ對スル河川工事管理ノ權限ニ關スル千八百八十三年八月二十日公布ノ法律
- 八 行政官廳及行政裁判所ノ權限ニ關スル千八百八十三年八月一日公布ノ法律第六十五條乃至第九十五條
- 九 千八百九十九年十一月十三日公布土地登記制度ニ對スル命令第一條但シ公水ニ關スル場合ニ限ル
- 十 千九百五年八月十六日公布高水川危險ノ豫備ニ關スル法律第九條第三項
- 十一 千八百一一年八月四日公布東普魯西州法追錄

- 十二 千八百四年二月十日公布ビーセック河流水及河岸法
- 十三 千八百六年四月十四日公布東部普魯西及リットハウエンノ普通流水、堤防及河岸法
- 十四 千八百四十四年四月十九日公布西部西部普魯西州法第四條及第六十九條
- 十五 千七百七十六年八月二十八日公布改正ラントウ検査法
- 十六 千七百九十四年六月三十日公布カルターネ河流水及検査法
- 十七 千八百六十七年二月九日公布ノインホルボンメルン及リユーゲン吐水口法
- 十八 千七百四十六年十二月二十日公布シユレージエン吐水口ニ關スル告示
- 十九 千七百七十七年八月二十八日公布シユレージエン水車法
- 二十 千五百六十一年九月十一日公布シユワルツエエルステル水車法
- 二十一 千五百六十八年十月二十五日公布ザーレン、ルツペン、エルステル及ブライセン川ニ設置セル水車ニ對スル水車法
- 二十二 千六百五十三年四月二十九日公布ウンストルトノ水車ニ對スルヨハンゲヲルグ選舉候領水利及水車法
- 二十三 千八百一十一年七月七日公布選舉候命令
- 二十四 千八百一十一年五月八日公布新設水車ノ据置及之ニ必要ナル認可ニ關スル普通法

- 二十五 千八百五十七年五月二十二日公布ラウエンブルグ公爵領疏水法
- 二十六 千八百五十七年七月十六日公布ホルスタイン公爵領ゲースト縣疏水法
- 二十七 千八百六十三年九月六日公布土地改良ニ要スル水ノ導引及利用ニ關スルシユレーヌウイツヒ公爵領ゲースト縣ノ假命令
- 二十八 千八百二十六年十月二十日公布ランドロスタイ縣管轄ノ沼地殖民ニ對スル普通堤塘、溝渠及橋梁法
- 二十九 千八百三十年二月十六日公布内地流水警察命令
- 三十 千八百四十六年九月十六日公布航行運河等ノ設備ニ要スル讓渡義務ニ關スルハノーブアー法律
- 三十一 千八百四十七年八月二十二日發布土地ノ灌溉排水竝堰水設備ニ關スルハノーブアー法律
- 三十二 千八百五十二年九月一日公布ハノーブアー水利工事法
- 三十三 千八百六十七年五月二十八日公布新開地ノ灌溉排水組合設立法
- 三十四 千七百七十一年五月十一日公布ミュンステル河流水及溝渠法
- 三十五 千八百四十九年十二月二十八日公布ミンデン公爵領ノウエゼル河岸法
- 三十六 千八百七十九年五月一日公布ウツペル河及其ノ支流區域ノ法律ヲ訂正スル爲更ニ公布シタ

- ル千八百九十一年五月十九日ノ法律及之ヲ補充セル千八百九十一年十二月三十日公布ノ命令
- 三十七 千八百九十一年五月十九日公布ノ法律ヲフォルム河及其ノ支流區域ニ適用スル爲千八百九十三年八月十四日公布ノ法律
- 三十八 千八百九十一年五月十九日公布ノ法律ヲルール河區域ニ適用スル爲千九百年四月十八日公布ノ法律
- 三十九 村會議長、村長、戶籍吏、町村公金取立吏、村役場小使、積荷人夫、消防夫、田舎巡查及夜番ノ職務其ノ他町村ニ必要ナル者ニ關シ千七百三十九年十月六日公布ノクールヘッセン法第十四條、第十五條及第三十八條
- 四十 千七百四十七年二月九日公布吐水口及排水溝渠ノ掃除竝川中工事ノ禁止ニ關スルクールヘッセン布告
- 四十一 千七百八十六年十二月一日公布シヤウムブルグ伯爵領ニ於ケルウエーザー河戰爭工事ニ關スルクールヘッセン命令竝其ノ變更ノ爲千八百七十五年四月三日公布リントテルン郡ウエーザー河岸工事法
- 四十二 千七百八十九年十二月二十九日公布クールヘッセン水利工事法
- 四十三 千八百二十年十二月二十九日公布クールヘッセン水車法

四十四 千八百二十三年四月十六日公布河岸栽植其ノ他ノ水利工事ニ關スルクルヘツセン命令
四十五 千八百二十四年十二月三十一日公布クルヘツセン水利工事法
四十六 千八百三十四年十一月二十八日公布耕地及牧地耕作改良ノ障害物排除ニ關スルクルヘツ

セシ法律

四十七 千八百三十八年八月三十一日發布クルヘツセン命令
四十八 千八百五十七年十二月十七日公布クルヘツセン暗渠排水設備施行法
四十九 千八百二十九年九月十二日公布ナツサウ御領地整理法第一條及第二條
五十 千八百五十八年七月二十七日公布灌溉排水設備及小河ニ於ケル水利機械設置手續ニ關スルナ

ツサウ命令

五十一 千八百三十年十一月七日公布ヘツセン大公爵領牧地開墾法
五十二 千八百五十三年二月十八日公布ヘツセン大公爵領小河ニ關スル維持管理法
五十三 千八百五十三年二月十九日公布牧地開墾ニ伴フ小河改修ニ關スルヘツセン大公爵領法律
五十四 千八百五十三年二月二十日公布小河水利機械設置及監督ニ關スルヘツセン大公爵領法律
五十五 千八百五十八年一月二日公布ヘツセン大公爵領土地排水法
五十六 千八百六十二年七月一日公布ヘツセン伯爵領牧地開墾法

五十七 千八百六十二年七月十五日公布ヘツセン伯爵領土地排水法
五十八 千八百六十二年七月十五日公布水利機械等ノ設置監督ニ關スルヘツセン伯爵領法律
五十九 千八百五十二年五月二十八日公布バイエルン水利法
六十 千八百五十二年五月二十八日公布バイエルン灌溉排水法
六十一 千八百五十二年五月二十八日公布バイエルン堤塘及溢水防禦法
六十二 千七百六十九年三月七日公布ニール命令
六十三 千七百六十九年四月十六日公布ゲルデルン溝渠法
六十四 千八百六十九年八月公布ノ河川及森林法竝千七百九十一年九月二十八日及同年十一月六日
公布ノ水利權ニ關スル規定
六十五 千七百九十年十二月二十六日及千七百九十一年一月五日公布沼澤乾燥法
六十六 千七百五十三年十二月四日公布沿池乾燥法
六十七 千七百九十八年三月九日公布河川及運河改修ニ關スル行政官廳ノ告示
六十八 千八百三年五月四日公布航行スルコト能ハサル河川及運河ノ浚渫並之ニ適當ナル維持管理
法
六十九 千八百七年九月十六日公布沼澤等ノ乾燥法

七十 千八百十八年七月二十日公布ライオン條例第二條第三項及第四項

七十一 ケルン控訴院及エーレンブライトスタイン司法部ノ區域内並ホーヘンツォルレン州内ノ吐水口ニ關スル千八百五十九年六月十四日公布ノ法律

七十二 千八百四十五年十月八日公布ホーヘンツォルレン州水車法

第三百一條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム但シ第三條乃至第九條、第十一條、第十二條、第

二百八十五條及第二百八十六條ノ規定ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三百二條 本法ノ施行ニ必要ナル規定ハ主務大臣之ヲ發ス

バイエルン王國水法

バイエルン王国水法

バイエルン王国水法

(千九百七年三月二十三日公布)

天祐ヲ保有セルバイエルン國王ルイトポルド陛下ノ名ニ於テ内閣員ノ諮詢竝上院及下院ノ協賛ヲ經タル水法ヲ制定シ茲ニ之ヲ公布ス

第一章 水及其ノ附近ノ所有關係

第一節 公水

第一條 舟筏ノ通航ニ供セラルル河川及其ノ一部竝縱令舟筏ノ通航ニ供セラレサルモノト雖其ノ支川ハ之ヲ公水(公河川)トス國ニ於テ設置シタル運河ハ政府力之ヲ舟筏ノ通航ニ開放スル範圍ニ限リ公水トス

湖水其ノ他ノ滯水ヲ公水ト認ムヘキカ否カハ既ニ存スル法律關係ニ依リテ之ヲ判斷スヘシ

第二條 公水ハ國ノ所有トス

第三條 河川及其ノ一部竝其ノ支川ハ舟筏ノ通航ニ供セラル、コトナキニ至リタル後ニ於テモ公河川タル性質ヲ失ハス

第四條 河川及其ノ一部ニ付國又ハ第三者カ舟筏ノ通航ニ適スル修理ヲ爲シタル場合ニ於テハ政府ハ公河川タル旨ヲ告示スルコトヲ得公河川タル性質ハ其ノ告示ノ時ニ始マル

所有關係
公河川
公河川ニ
變更スル
コト

公河川ト爲ス爲土地ノ讓渡又ハ地稅ノ負擔ヲ必要トスル場合ニ於テハ第五百十四條乃至第五百十六條ノ規定ヲ適用ス

河床ノ收用ニ對シテハ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス但シ河川又ハ其ノ一部ヲ公河川ト爲シタル結界河水、河床又ハ其ノ一部ノ從來ノ利用ヲ廢止又ハ侵害シタルニ依リ權利者ノ受ケタル損害アルトキハ其ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

沿岸

第五條 公河川ノ沿岸ハ接續地ノ所有者ノ所有トス

沿岸地所有者ハ監視員ノ沿岸巡視、確定標識又ハ河川區分標ノ設置、舟筏ノ陸揚、繫留及已ムヲ得サル場合ニ於テハ必要ナル時間積荷ノ揚置ヲ爲スコトヲ禁スルコトヲ得ス
確定標識又ハ河川區分標ノ設置、舟筏ノ陸揚、繫留又ハ積荷ノ揚置ニ依リテ生シタル損害アルトキハ其ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

沿岸地所有者ハ水力機械所有者又ハ其ノ補助員カ水ノ利用設備ノ普通ノ經營ヲ爲ス爲其ノ沿岸ニ立入ラムトスル場合ニ於テ之ヲ禁スルコトヲ得ス但シ水力機械所有者又ハ其ノ補助員ハ立入ルニ際シ損害ヲ避クル爲必要ナル注意ヲ爲スコトヲ要シ損害ヲ生シタルトキハ本人及水力機械所有者其ノ責ニ任ス建築物及之ニ屬スル庭園、塀壁其ノ他固定セル塙圍ヲ以テ圍マレタル土地ニハ立入ルコトヲ得ス

境界線

第六條 公河川ノ境界線ハ平均水位ヲ標準トシ特ニ植物ノ生育セル境界ヲ參照シテ行政官廳之ヲ定メ必要ナル場所ニ於テハ適當ノ方法ヲ以テ之ヲ表示ス

曳船道

第七條 沿岸地ノ所有者及必要ナル場合ニ於テハ沿岸ヨリ隔離セル土地ノ所有者ハ公河川ニ沿ヒテ適當ナル方向及幅員ヲ有スル曳船道ヲ設置スルコトヲ禁スルコトヲ得ス曳船道ノ方向及幅員ニ關スル細則ハ行政官廳ニ於テ之ヲ定ム

既存ノ法律關係アルモノノ外現在ノ公河川ニ沿ヒテ曳船道ヲ設置スルニハ無償ニテ之ヲ爲スコトヲ得但シ第四條ノ場合若ハ河川ノ河床カ新設セラレタル場合ニ於テ曳船道ニ關シ沿岸地ノ負擔アルトキ又ハ建築物其ノ他ノ除去ヲ必要トスルトキハ其ノ負擔又ハ損害ニ對シ賠償ヲ爲スコトヲ要ス
特別ノ法律關係アルモノノ外曳船道ノ敷設及使用ニ適スル狀態ノ維持ハ國ニ於テ之ヲ爲ス公道カ曳船道ニ利用セラルル場合ニ於テ曳船道タル爲必要ナル特別ノ設備ノ設置及維持モ亦同シ尙國ハ曳船道ニ利用セラルル公道ノ敷設及維持ニ要スル費用ニ對シテハ公道トシテ要スルモノヲ除キ曳船道トシテ要スヘキ費用ヲ限り之ヲ補助ス

新地

第八條 他ノ土地ヨリノ土砂ノ漸次ノ堆積又ハ河水ノ退去ニ依リテ生シタル沿岸ノ新地ハ公河川ニ於テハ沿岸地所有者ノ所有トス但シ曳船道ニ關スル負擔ヲ免ルルコトヲ得ス
前項ノ新地ハ其ノ土地カ平均水位ノトキ從來ノ沿岸ト連絡ヲ保チ且其ノ上ニ植物ノ發生シタルトキ

ニ於テ成立シタルモノト看做ス

沿岸地所有者ハ千八百五十二年五月二十八日ノ水ノ利用ニ關スル法律ノ施行前新地ノ上ニ存セシ第三者ノ權利ヲ賠償シテ之ヲ消滅セシムルコトヲ得

第九條 舟筏ノ通航又ハ河水ノ維持(第七十四條)ノ爲必要アルトキハ行政官廳ハ命令ヲ以テ成立シタル新地ヲ除去又ハ掘鑿スルコトヲ得但シ之ニ依リテ生シタル損害アルトキハ正則ノ耕作ヲ施シタル場合ニ限り所有者ニ於テ其ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

第十條 公河川ノ整理又ハ護岸ノ目的ヲ以テ人工的設備ヲ施シタル結果生シタル新地ハ企業者ノ所有トス掘鑿ノ結果舊河床ニ生シタル新地モ亦同シ

第十一條 前條ニ依リ國ノ所有ニ歸シタル新地ニシテ設備ノ目的其ノ他公益上國ノ所有ニ存スルノ必要ナシト認メタルトキハ政府ハ損害ヲ受ケタル土地所有者其ノ他ノ權利者ノ爲ニ之ヲ處分スルコトヲ得

政府ノ處分ニ依ル讓渡ハ新地カ完全ニ成立シタルトキニ於テ之ヲ爲スヘキモノトシ讓渡ニ付テハ設備ノ效果ヲ安全ナラシムル爲其ノ使用ニ關シテ必要ナル規定ヲ定ムヘシ

政府ノ處分ニ依リ新地ノ讓渡ヲ受ケタル者ハ其ノ處分ト同時ニ新地ノ所有權ヲ取得ス

河流ノ自

第十二條 公河川カ久シキニ亘リテ自然ニ其ノ河床ヲ廢シ新河床又ハ支川ヲ生シタル場合ニ於テハ國

然的變動

家ハ舊河床ノ所有權ヲ留保シ且新河床又ハ支川ノ所有權ヲ取得ス新河床又ハ支川ノ一部ニ從來抵當、地債又ハ定期金債務其ノ他物權ノ存シタルモノハ其ノ義務ヲ免ルルモノトス

政府ハ河流ノ變動ニ依リテ損害ヲ受ケシ土地所有者ノ利益ノ爲ニ舊河床ヲ處分スルコトヲ得第十一條第三項ノ規定ハ此ノ場合ニ之ヲ準用ス

島

第十三條 公河川中ニ於テ陸地ト連絡ヲ保タス平均水位以上ニ隆起セル島ハ反對ノ慣習又ハ特別ノ法律關係ナキトキ國ノ所有トス

第十一條ノ規定ハ前項ノ土地ニ之ヲ準用ス

第一項ノ規定ハ水力ニ依リテ沿岸ヨリ分離(斷絶)セラレタル土地ニ之ヲ適用セス

第十四條 或ル土地ヨリ分離シタルモノナルコトヲ認識シ得ル土地カ水力ニ依リ他ノ沿岸ニ轉置セラ

レタル場合ニ於テ所有者又ハ其ノ他ノ權利者カ其ノ土地ヲ管轄スル行政官廳ニ對シ一箇年内ニ其ノ土地ヲ沿岸地ヨリ取去シ得ヘキ自己ノ權利ヲ主張セス又ハ其ノ權利ニ對スル沿岸地所有者ノ承認ヲ得ス若ハ承認ヲ得サルノ理由ヲ以テ訴訟ヲ提起セサルトキハ其ノ土地ハ土地分離ノ生シタル年ノ終了ノ時ヨリ沿岸地所有者ノ所有ニ歸ス

分離シタル土地ニシテ陸地ト連絡ナク河中ニ定着シタルモノハ前項ト同様ノ條件ヲ以テ國ノ所有ニ歸ス

分離

第十五條 河ノ沿岸ニ關スル前各條ノ規定ハ公河川中ニ在ル島ノ沿岸ニ之ヲ適用ス

○所有關係

第二節 私水
第一款 滯水

第十六條 特別ノ法律關係アルモノノ外土地ノ所有權ハ左ニ掲ケタルモノニ及フ

一 其ノ土地ニ在ル湖、貯水池、井其ノ他ノ水溜中ノ水又ハ人工的ニ設ケタル水道、運河及溝渠中ノ水

二 地下ニ存スル水(地下水)

三 其ノ土地ニ於テ湧出シ(泉)又ハ自然ニ集溜シタルモノニシテ土地外ニ流出セサル水

鹽泉及鑛水ニ付テハ鑛山條例ノ規定ヲ適用ス

○水ニ關スル處分權ノ制限

第十七條 土地ノ所有者ハ自己ノ土地ニ於テ湧出シ又ハ自然ニ集溜シタル水ニ對シ土地ノ狀況ニ依ル

自然ノ流路以外ニ甚シキ害ヲ生スヘキ方向ヲ與ヘ又ハ自然ニ流出スル水量以上ニ甚シキ害ヲ生スヘキ水量ヲ加ヘテ之ヲ他人ノ土地ニ流出セシムルコトヲ得ス

抵地ノ所有者ハ高地ヨリノ水ノ自然ノ流下ニ對シ高地ノ所有者ノ不利益トナルヘキ妨害ヲ爲スコトヲ得ス

第三者ノ行爲又ハ事變ニ依リ自然ニ非サル方向若ハ自然ノ流出量以上ニ水ヲ流出シ低地ヲ害スル障

○地下水ノ引出スルハ之ノ引又ハ之ノ引出テ導クニ付テハ之ノ制限

碍若ハ變化ヲ生シタル場合又ハ低地ヘノ水ノ自然ノ流下ヲ妨ケテ高地ヲ害スル障碍若ハ變化ヲ生シタル場合ニ於テ被害地ノ所有者カ其ノ障害又ハ變化ノ除去ヲ爲ス爲之ニ依リテ生スル損害ヲ補償スルトキハ障害又ハ變化ノ生シタル土地ノ所有者ハ其ノ除去ヲ爲サムトスルヲ拒ムコトヲ得ス

地役ノ設定ニ依リ前三項ノ規定ト異ル關係ヲ定ムルハ之ヲ妨ケス

第十八條 公益ノ目的ヲ有スル設備若ハ工事ノ爲其ノ他公益上必要アルトキハ行政官廳ハ前條ノ規定ニ反シテ水ヲ流通セシムルコトヲ命シ又ハ之ヲ許可スルコトヲ得此ノ命令ヲ實行スル爲土地ノ讓渡又ハ地役ノ負擔ヲ要スル場合ニ於テハ第五百五十四條乃至第五百五十六條ノ規定ヲ適用ス命令ノ結果水ノ從來ノ利用ニ不利益ヲ生シタルトキハ權利者ハ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

第十九條 地下水若ハ泉水ヲ引用シ又ハ湖水若ハ池水ノ流出ニ變更ヲ加ヘムトスルトキハ行政官廳ノ許可ヲ受クヘシ但シ一時ノ目的ノ爲又ハ家事、耕作若ハ農業ノ副業ニ必要ナル井ノ設置ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

公益上必要アルトキハ許可ヲ拒ミ又ハ之ニ制限ヲ附スルコトヲ得
水ノ利用設備若ハ土地ノ所有者トシテ自身ニ若ハ前權利者ヲ通シテ少クモ三十年以來引續キ水ヲ利用シタル者又ハ同一ノ條件ノ下ニ漁獵ニ從事シタル者カ第一項ノ事項ニ依リ著シキ損害ヲ受クヘキ場合ニ於テハ公益ニ關係ナキトキト雖他ニ適當ノ救濟方法ナキ限り請願者ニ對シ各被害者ニ相當ノ

鑽泉

賠償ヲ爲スヘキ條件ヲシテ許可ヲ與フヘキモノトス
 第二項又ハ第三項ニ依リ賠償ヲ爲スヘキ條件ヲ付シテ許可ヲ與ヘタル場合ニ於テハ其ノ額ハ訴訟方
 法ニ依ルコトナク公平ナル判斷ニ依リ行政官廳ニ於テ之ヲ定ム行政官廳ハ許可ヲ與フルニ付請願者
 ニ對シ賠償義務ノ履行ニ對スル擔保ヲ供セシムルコトヲ得
 從來ノ狀態ノ存續ヲ目的トスル私法上ノ請求權ハ許可ニ依リ影響ヲ受クルコトナシ
 第二十條 公ノ用ニ供セラルル鑽泉地域又ハ鹽泉地域ニ於テ土地ノ掘鑿又ハ穿鑽ヲ爲スニハ行政官廳
 ノ許可ヲ受クヘシ鑽泉所有者ハ許可前異議ヲ述フルコトヲ得
 土地ノ掘鑿又ハ穿鑽カ鑽泉ノ存續又ハ性質ニ危險ヲ及ホス虞アルトキハ許可ヲ拒ミ又ハ之ニ條件及
 制限ヲ付スルコトヲ得
 許可ヲ受ケタル掘鑿又ハ穿鑽ノ工事ニ依リ鑽泉ノ存續又ハ性質ヲ害シタル場合ニ於テ鑽泉所有者ノ
 請求アルトキハ行政官廳ハ工事ノ中止及舊狀態ノ恢復ニ付必要ナル處置ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ
 於テハ鑽泉所有者ハ工事ノ中止及舊狀態ノ恢復ノ爲ニ要シタル費用ヲ補償スヘシ
 公ノ用ニ供セラル、鑽泉及其ノ地域ハ政府ニ於テ之ヲ指定ス

第二款 私河川

沿岸地所

第二十一條 別段ノ法律關係アルモノノ外(第二十三條、第二十四條)私河川ハ其ノ貫流スル土地ノ一

有者ノ所
有ニ於ケル
私河川

部ヲ成ス

沿岸カ異レル所有者ニ屬スルトキハ特ニ他ノ方法ヲ以テ確定スヘキ場合ノ外私河川ニ於ケル所有限
 界ハ次ノ如ク之ヲ定ム

- 一 對岸地間ニ在リテハ平均水位ヲ標準トシ水流ノ中央ヲ通シテ引カルヘキ線
 - 二 相隣地間ニ在リテハ土地境界線ノ終點ヨリ前號ノ水流ノ中央線ニ直角ニ交ハルヘキ線
- 第五條第四項、第八條、第九條、第十四條第一項及第十五條ノ規定ハ私河川ニ之ヲ準用ス
 沿岸地所有者ハ監視員ノ沿岸巡視ヲ拒ムコトヲ得ス

島

國家ノ所
有ニ於ケル
私河川

第二十二條 私河川(第二十一條)ニ生シタル島ハ其ノ存在スル側ノ沿岸地所有者ノ所有トス

島カ水流ノ中央ニ介在スルトキハ前條第二項ノ規定ニ依リ所有限界ヲ定ム

水力ニ依リ沿岸ヨリ分離セラレタル些細ノ土地ニ付テハ前二項ノ規定ヲ適用セス

私人ノ所
有ニ於ケル
私河川

第二十三條 國ノ所有ニ屬スル私河川ニ付テハ第五條第一項第四項、第六條、第八條乃至第十五條及
 第二十一條第四項ノ規定ヲ準用ス
 第二十四條 私人ノ所有ニ屬スル私河川ニ付テハ第五條第四項、第八條、第九條、第十四條第一項、
 第十五條、第二十一條第四項及第二十五條ノ規定ヲ準用ス
 第二十五條 私河川(第二十一條、第二十四條)カ從來ノ河床ヲ變更シタルトキハ關係人ハ共同又ハ單

獨ニ其ノ費用ヲ以テ舊狀態ノ恢復ヲ爲スコトヲ得
關係人カ一箇年内ニ行政官廳ニ申出ヲ爲サス又ハ申出ニ依リ行政官廳ノ定メタル期間内ニ申出テタル恢復ヲ成就スルコト能ハサルトキハ恢復ヲ爲シ得ヘキ權限ハ消滅ス申出ノ期間ハ水流ノ變更アリタル年ノ終了シタル時ヨリ始マル

第二章 水ノ利用

第一節 共同使用

第二十六條 何人ト雖他人ノ土地ヲ不法ニ使用セサル範圍内ニ於テハ沐浴、洗濯、人畜ノ飲料又ハ氷上滑走戲場用ニ供スル爲容器ヲ以テ公水又ハ私河川ノ水ヲ汲取り使用スルコトヲ得其ノ使用ニ付テハ警察法規ヲ以テ之ヲ規定シ又ハ制限スルコトヲ得

公水又ハ國ノ所有ニ屬スル私河川ノ河床ヨリ氷塊、砂礫、岩石、泥濘、土塊若ハ植物ヲ取去リ又ハ洗金ヲ爲スニハ特別ノ權限ヲ有スルモノノ外行政官廳ノ許可ヲ受クヘシ其ノ他ノ私河川ニ在リテハ河川ノ水深及河岸ノ安全ヲ害セス其ノ他他人ニ不利益ヲ及ホササル場合ニ於テハ之ヲ爲スニ付河床所有者ノ許可ヲ受クヘシ

眞珠採集ハ私人ノ權利ノ存セサル限り國ニ留保セラル採集方法ハ警察保護規定ノ定ムル所ニ依ル

第二十七條 共同利用ハ之ニ依リ他人ノ使用又ハ特別ノ權利ヲ侵害又ハ廢止スル方法ヲ以テ爲スコト

公水及私川ニ付テ共同利用

○共同利用

ノ實行

ヲ得

緊急ノ場合ニ於ケル水ニ對スル要求

第二十八條 共同危難ノ場合ニ於テハ賠償ヲ爲サスシテ公水又ハ私水ヨリ水ヲ汲出スコトヲ得但シ之ニ依リテ土地又ハ設備ニ損害ヲ生シタルトキハ被害者ハ市町村ニ對シ之カ賠償ヲ請求スルコトヲ得

水ノ汲出ニ依リ非常ナル損害ヲ惹起シタルトキハ被害者ニ對シテハ事情ニ應シ公平ナル賠償ヲ爲スヘシ

第二節 舟筏ノ通航及木材流送

第一款 舟筏ノ通航

第二十九條 國際條約、舟筏條例又ハ運河條例ニ別段ノ規定アル場合ノ外公河川又ハ國ノ運河（第一條第一項）ハ何人ト雖自由ニ舟筏ノ通航ニ利用スルコトヲ得

舟筏ノ通航ニ適セシメタル私水ノ利用ニ付テハ舟筏條例ヲ以テ之ヲ規定スルコトヲ得
舟筏通航ノ爲公河川ニ鐵鎖其ノ他之ニ類スルモノヲ裝置スルニハ政府ノ認可ヲ受クヘシ

第三十條 汽船其ノ他動力ニ依リ運航スル船ニテ國ノ所有タル湖ヲ通航スルニハ特別ノ許可ヲ受クヘシ動力ニ依ラサル船又ハ筏ニテ爲ス通航ニ付テハ既存ノ法律關係ニ依ル舟筏ニ依ル水ノ利用ニ關シテハ舟筏條例ヲ以テ之ヲ規定スルコトヲ得

湖水ニ於ケル舟筏ノ通航

舟筏ノ通航

許可ヲ與フル權限ヲ有スル官廳ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

ポーデン湖ニ於ケル緝航ニ付テハ國際條約及其ノ執行規程ニ依ル

第二款 木材流送

第三十一條 組マサル木材ノ流送ニ供セラルル河川ヲ流材水トス

從來既ニ流材水トシテ利用セラレ又ハ將來政府ニ於テ流材水タルヘキコトヲ指定スル河川ハ木材ノ流送ニ利用スルコトヲ得政府カ流材水タルヘキコトヲ指定シタル場合ニ於テハ第四條第二項、第三項ノ規定ヲ準用ス

第三十二條 何人ト雖流材水ノ利用ニ關シテ他人ヲ排除スル權利在ラサルトキ又ハ流送ニ付地方命令慣習又ハ特別ノ法律關係ニ依ル制限存セサルトキハ流送條例ノ定ムル所ニ依リ木材ノ流送ヲ爲スコトヲ得

流送ノ目的ノ爲ニ設ケタル設備ノ使用ニ對シテハ料金ヲ徵收スルコトヲ得但シ既得ノ權利ニ對抗スルコトヲ得ス

設備使用ニ對スル料金、水力機械運轉ノ停止ニ對スル賠償及流送ニ付流送企業者ニ與ヘタル助力ニ對スル賠償ハ流送條例ノ定ムル所ニ依ル

特別ノ法律關係ニ基キ流送條例ノ定ムル料金及賠償以上ノ請求ヲ爲サムトスル關係人ハ流送經營者

ニ對シ訴訟ノ方法ヲ用フルコトヲ得

第三十三條 流材水ノ河岸ノ所有者ハ左ノ義務ヲ負フ

一 總テ木材ノ流送ニ危険ヲ及ホシ又ハ之ヲ妨クヘキ水ノ使用ヲ爲ササルコト

二 木材ノ流送ニ必要ナル沿岸通行ヲ爲シ竝普通ノ幅員ヲ有スル曳材道及流送期間ノ増水ニ際シ必要ト認ムヘキ一時的ノ木材抑留設備(欄柵)ヲ設クルコトヲ無償ニテ認容スルコト但シ既ニ賠償請求權ヲ有スル場合ヲ除ク

三 已ムコトヲ得サル場合ニ於テ土地ニ對スル損害ヲ賠償スルトキハ必要ナル時間木材ノ陸揚ヲ認容スルコト

第三十四條 流送ノ目的ニ供スル爲政府ノ施行シタル水設備ノ維持ハ流送ノ行ハルル期間國ニ於テ之ヲ爲ス政府ノ許可ヲ得テ同様ノ設備ヲ爲シタル私人ハ其ノ維持ヲ爲スヘキ義務ヲ負フ

第三十五條 流送企業者ハ流送ヲ行フニ依リ直接ニ沿岸地所有者、水力機械所有者其ノ他ノ權利者ニ與ヘタル損害ヲ賠償スヘキ義務ヲ負フ但シ流送企業者カ流送ノ權利ヲ有シタルトキ又ハ損害カ沿岸若ハ水力機械ノ維持ヲ怠リタル結果ナルトキハ此ノ限ニ在ラス

護岸工作物ノ損害ニ對シテ賠償ヲ受ケタル者ハ之ヲ其ノ工作物ノ恢復ニ用フヘキ義務ヲ負フ各關係人ハ義務ノ擔保ニ供スル爲義務者ノ受ケタル賠償ヲ行政官廳ニ供託スヘキコトヲ請求スルコトヲ

得

第三十六條 流材水ニ於ケル木材ノ流送ヲ廢止シタル場合ニ於テ流送設備ニ依リ水ノ自由ニ流通スルコトヲ妨クルトキハ其ノ河川ニ關係ヲ有スル者ハ行政官廳ニ對シ國又ハ設備設置ノ許可ヲ受ケタル者ノ費用ヲ以テ之ヲ除去スヘキコトヲ請求スルコトヲ得

第三節 水ノ清潔

第三十七條 行政官廳ノ許可ヲ受ケスシテ水ノ性質ヲ損スヘキ液體其ノ他固形體ニ非サル物質ヲ公水、私河川又ハ他人ト共ニ權利ヲ有シ若ハ他人ノ漁獵權ヲ有スル滯水中ニ流込ムコトヲ得ス流込ノ許可ヲ受ケタル者ト雖流込ム流動體ノ種類又ハ量ニ變更ヲ生シテ水ノ性質ヲ損スヘキモノナルトキハ更ニ許可ヲ受クルコトヲ要ス
許可ハ之ヲ取消スコトヲ得

流込ニ依リ衛生上若ハ甚シキ耕作上ノ害ヲ生スル虞アルトキ又ハ流込ニ依リテ得ラルヘキ利益力之ニ依リテ生スル害ヨリモ經濟上少ナキ價值ヲ有スルトキハ許可ヲ拒ミ又ハ之ニ制限ヲ付スルコトヲ得

行政官廳ハ何時タリトモ流込ヲ爲ス者ニ對シ之ヨリ生スル害ヲ除去シ又ハ成ルヘク少カラシムル裝置ヲ爲サシムルコトヲ得但シ其ノ裝置カ設備ノ普通ノ使用ヲ廢スヘキモノナルトキハ此ノ限ニ在ラ

流動體ノ流込

固形物質ノ持込

ス

流込ヲ爲ス者ハ之ニ依リテ水ニ付權利ヲ有スル者ニ與ヘタル損害ヲ賠償スヘシ

第三十八條 水ノ性質ニ有害ナル變化ヲ與ヘ又ハ流通若ハ水位ニ影響シテ損害ヲ惹起スヘキ廢物塵芥若ハ動物ノ死骸其他ノ固形物質ヲ投入スルコトヲ得ス又前條第一項ニ掲ケタル種類ノ水ノ中ニ亞麻大麻ヲ浸シ置クコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス許可ハ之ヲ取消スコトヲ得

他ノ停水ニ付テノ適用

第三十九條 行政官廳ハ公益上必要アルトキハ第三十七條第一項ノ種類ニ屬セサル滯水ニ付テモ第三十七條及前條ニ掲ケタル行爲ヲ禁スルコトヲ得

既存ノ設備ニ關スル適用

第四十條 行政官廳ハ本法施行ノ際既ニ存在シ且其ノ經營ニ依リテ公水又ハ私水ノ性質ニ有害ナル變化(第三十七條乃至前條)ヲ及ホス設備ノ所有者ニ對シ公益上ノ理由ニ基キ斯ノ如キ變化ヲ生セシムル液體其ノ他非固形體ノ流込又ハ固形物質ノ投入ヲ爲ス權限ヲ剝奪シ又ハ制限スルコトヲ得

公水又ハ私水カ設備ノ經營ニ依リ性質上有害ナル變化ヲ受ケ其ノ水ニ付權利ヲ有スル者ニ著シキ損害ヲ與フル場合ニ於テ被害者又ハ其ノ一人ノ申請アリタルトキハ行政官廳ハ其ノ設備企業者ニ對シ液體其ノ他ノ固形體ニ非サル物質ノ流込又ハ固形物質ノ投入ニ依リテ生スル害ヲ除去シ又ハ成ル可ク少カラシムヘキ裝置ヲ爲サシムルコトヲ得但シ其ノ裝置カ設備ノ普通ノ經營ヲ廢スヘキモノナル

監督

トキハ此ノ限ニ在ラス既ニ存スル法律關係ニ基キテ設ケラレタル設備ニ關スルモノナルトキハ申請者ハ設備企業者ニ對シ裝置ニ要スル費用ヲ賠償スヘシ此ノ場合ト雖モ設備企業者ニ對シテ生シ得ヘキ私法上ノ損害賠償ノ請求權ハ何等ノ影響ヲ受クルコトナシ

第四十一條 行政官廳ハ液體其ノ他ノ固形體ニ非サル物質ノ流込又ハ固形物質ノ投入ノ許可ニ付シタル條件ノ實行其ノ他水ノ清潔ニ關シ之ヲ監督ス

第四節 特別利用

第一款 堰水設備ニ依ラサル特別利用

第一項 公水ニ付テノ特別利用

第四十二條 公水又ハ其ノ近傍ニ於テ共同ノ利用ニ非サル又ハ堰ヲ設ケサル水勢ニ依ル水力機械、灌溉排水用水汲機械若ハ沐浴場、洗濯場其ノ他類似ノ設備等特別ノ設備ニ依ル水ノ利用ヲ爲スニハ行政官廳ノ許可ヲ受クヘシ其ノ設備ノ變更ヲ爲スニ付亦同シ

第四十三條 前條ノ許可ハ通常一定ノ期間ヲ限り又ハ取消シ得ヘキモノトシテ之ヲ與フ利用ノ程度及方法ハ行政官廳ニ於テ之ヲ定ム

行政官廳ハ許可ヲ與フルニ付農業、林業、土地改良、漁獵、工業及商業上ノ利害關係ヨリ設備企業者ニ對シ一定ノ制限ヲ付スルコトヲ得水ノ利用ニ關シ各種ノ企業競合シタルトキハ公益上ノ見地ヨ

許可

リ選擇シテ許可ヲ與ヘ又ハ經營ノ目的及企業者ヲ制限シテ許可ヲ與フルコトヲ得

取消シ得ヘカラサル許可ニ依ル水ノ利用ハ第五十四條乃至第五十六條ノ規定ニ從ヒ公用徵收ノ方法ニ依ルニ非サレハ之ヲ剝奪又ハ制限スルコトヲ得ス一定ノ期間ヲ限りテ許可シタル水ノ利用ヲ期間經過前ニ剝奪又ハ制限セムトスルトキ亦同シ

權利者ハ第八十二條ノ場合ヲ除クノ外損害賠償ヲ支拂フ者アルトキハ之ニ對シ水ノ利用ニ付一時ノ剝奪又ハ制限ヲ爲スヲ認容スルコトヲ要ス但シ之ニ反スル法律關係アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二項 私河川ニ付テノ特別利用

第一目 沿岸地所有者ノ所有ニ屬スル私河川(第二十一條)

ニ於ケル特別利用

第四十四條 沿岸地所有者ハ他ノ沿岸地所有者其ノ他水ニ付權利ヲ有スル者ノ權利ヲ重シシ以下定ムル所ニ依リ水ヲ利用スルコトヲ得

第四十五條 地方命令、慣習又ハ特別ノ法律關係ニ依ル例外ナキトキハ沿岸地所有者ハ左ノ制限ニ依リ其ノ所有地ヲ過クル水ヲ利用スルコトヲ得

一 水ヲ堰キ又ハ他人ノ土地若ハ設備ニ對シ氾濫、浸濕、乾燥其ノ他ノ侵害ヲ生セシメ又ハ水ノ濫用若ハ任意ニ不規則ナル使用ヲ爲スニ依リ他人ニ損害ヲ及ホスコトヲ得ス

利用ノ範圍

二 餘水ハ他人ノ土地ノ沿岸ニ達スルニ先チ使用者ノ土地ノ沿岸ニ於テ原河床ニ復セシムヘシ
 前項第一號ノ場合ニ於テ水ノ利用設備ヲ使用スルニ依リテ受クヘキ利益カ之ニ依リテ生ズヘキ損害
 ニ比シテ著シク大ニシテ且其ノ損害ヲ賠償スルトキ竝第二號ノ場合ニ於テ水ヲ流出セシムルニ依リ
 他ノ關係人ニ不利益ヲ及ホササルトキハ行政官廳ハ前項ト異ル權利ヲ與フルコトヲ得
 相隣地ノ所有者カ互ニ水ノ利用設備又ハ水ノ利用ニ付共同シタルトキハ第一項ノ制限ノ適用ニ關シ
 テハ其ノ土地ヲ一人ノ所有ト看做ス
 對岸カ異ナレル所有者ニ屬スルトキハ各所有者ハ水ノ利用ニ付同等ノ權利ヲ有ス

第二目 國ノ所有ニ屬スル私河川(第二十三條)ニ於ケル特
 別利用

第四十六條 國ノ所有ニ屬スル私河川(第二十三條)ニ於テ國以外ノ者ノ爲ス特別利用ハ第四十二條及
 第四十三條ノ規定ニ依ル

第三目 私人ノ所有ニ屬スル私河川(第二十四條)ニ於ケル
 特別利用

第四十七條 地方命令、慣習又ハ特別ノ法律關係ニ依ル例外ナキトキハ私河川(第二十四條)ノ所有者
 ハ左ノ制限ニ依リ其ノ水ヲ利用スルコトヲ得

- 一 水ヲ堰キ又ハ他人ノ土地若ハ設備ニ對シ氾濫、浸濕、乾燥其ノ他ノ侵害ヲ生セシメ又ハ水ノ濫
 用若ハ任意ニ不規則ナル使用ヲ爲スニ依リ他人ニ損害ヲ及ホスコトヲ得ス
- 二 從來ノ進路以外ニ水ノ進路ヲ變更スルコトヲ得ス但シ私河川ノ所有者カ同時ニ沿岸地ノ所有者
 ナルトキ又ハ沿岸地所有者ニ水ノ利用ヲ爲サシメタルトキハ第四十五條第一項第二號ノ規定ヲ適
 用ス

第四十五條第二項ノ規定ハ本條ノ利用ニ付之ヲ適用ス

第四目 監督

第四十八條 行政官廳ハ私河川ニ於ケル水ノ利用ヲ監督シ氾濫若ハ浸濕ノ豫防、交通ノ安全其ノ他公
 益ニ關スル衛生警察ノ趣旨ニ基キ一般又ハ特別ノ命令ヲ發スルコトヲ得
 水ニ付權利ヲ有スル者カ私河川又ハ其ノ附近ニ於テ永久的ノ設備ヲ爲シ又ハ其ノ變更ヲ爲サムトス
 ルトキハ豫メ行政官廳ニ通知スヘシ此場合ニ於テハ行政官廳ハ其ノ設備カ前項ノ命令又ハ趣旨ニ反
 セサルカ否カラ調査スヘシ

第四十九條 許可ニ基ク水ノ利用カ住民ノ家事、農業又ハ消防用ニ缺クヘカラサル水ヲ供給スルコト
 能ハサル虞アルトキハ行政官廳ハ適當ナル方法ニ於テ其ノ利用ヲ制限スルコトヲ得

第二款 堰水設備

第五十條 左ノ事項ニ付テハ豫メ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

一 營業條例第十六條ノ場合ニ該當セスト雖總テ公河川、私河川ニ於テ堰水設備又ハ堰ヲ設ケタル水勢ニ依ル水力機械ヲ設クルコト

二 水ノ消費、水量、消費ノ方法、落水又ハ高水ノ水位ニ影響ヲ及ホスヘキ前號ノ設備ノ變更

三 前號ニ掲ケタル影響ナシト雖總テ堰水設備又ハ水力機械ノ主要部ヲ變更シ又ハ取換ヘルコト

第五十一條 公河川又ハ國ノ所有ニ屬スル私河川ニ於ケル設備ニ付許可申請アリタルトキニハ行政官廳ハ之ニ對シテ發スヘキ決定中ニ特ニ左ノ二項ヲ明言スルコトヲ要ス

一 第四十三條第一項、第二項及第四十六條ノ規定ニ依リ水ノ利用ニ對スル許可ヲ與ヘ又ハ之ヲ制限若ハ拒絶スルモノナルコト

二 營業條例第十八條ノ前三項及第十九條ニ依リ堰水設備ノ許可ヲ與ヘ又ハ之ヲ制限若ハ拒絶スルモノナルコト

其ノ他ノ私河川ニ於ケル設備ニ付テハ行政官廳ハ本法第四十四條、第四十五條及第四十七條並營業條例第十八條ノ前三項及第十九條ノ規定其ノ他公益上ノ理由ニ依リ許可ヲ拒絶スヘキカ否カ又ハ之ニ制限ヲ附スヘキカ否カヲ審査スルコトヲ要ス

第五十二條 堰水設備又ハ水勢機械ノ除去ヲ爲スニハ行政官廳ノ許可ヲ受クヘシ但シ公益ニ反スル

トキ又ハ公益ノ保持ニ必要ナル手段(第六十條第二項)ヲ履行セサル間ハ之カ許可ヲ拒ムコトヲ得

第五十三條 堰水設備ヲ設置シ又ハ堰ヲ設ケタル水勢ニ依ル水力機械ヲ設置シタルトキハ行政官廳ノ指揮ニ依リ企業者ノ費用ニ於テ永久的水位計(量定標、量定材水測)ヲ設置スヘシ水位計ニハ確定水位若シ一定ノ最低限度ニ水位ヲ保ツ必要アルトキハ其ノ水位ノ最低限度ヲ顯著ナル方法ニ於テ示スヘシ

本法施行ノ際既ニ存スル設備ニ付テモ前項ノ規定ニ依ル

水位計ノ設置ニ關スル手續及其ノ性質ハ政府ノ執行規程ヲ以テ之ヲ定ム政府ハ其ノ執行規程ニ於テ本條ノ除外例ヲ必要トスル場合ヲ明記スルコトヲ得

第五十四條 設備工事ノ著手及水位計ノ設置ニ付テハ行政官廳ハ關係人及鑑定人ヲ立會ハシメテ其ノ臨檢ヲ爲スヘシ

第五十五條 水カ確定水位以上ニ昇リ又ハ昇ル虞アルトキハ堰水設備ノ所有者ハ之ニ依リテ生スル損害ヲ賠償セスシテ堰水又ハ水面ヲ低下セシムル裝置ヲ開放シ又ハ水ノ流通ヲ妨クル氷、移石等ヲ除去シテ其ノ流通ヲ圖ルコトヲ得

第五十六條 營業條例第二十六條及第五十一條ノ規定ハ營業ノ目的ヲ有セサル本法第五十條ノ設備ニ

之ヲ適用ス

第五十七條 第五十條乃至前條ノ規定ハ滯水ニ於ケル堰水設備及堰ヲ設ケタル水勢ニ依ル水力機械ニ之ヲ適用ス

第五十八條 公河川又ハ國家ノ所有タル私河川ニ於テ堰水設備及又ハ堰ヲ設ケタル水勢ニ依ル水力機械ヲ以テ爲ス水ノ利用ニ關スル許可ハ第四十三條第三項、第四項ノ規定ニ依ルニ非サレハ永久的又ハ一時的ニ之ヲ剝奪又ハ制限スルコトヲ得ス

第四十八條第一項及第四十九條ノ規定ハ私河川ニ於ケル堰水設備又ハ堰ヲ設ケタル水勢ニ依ル水力機械ニ之ヲ適用ス

第三款 共通規定

第五十九條 水ノ利用設備ヲ設置シタル者ハ其ノ利用期間許可又ハ認可ノ條件ニ從ヒテ其ノ設備ヲ維持スヘシ

第六十條 水ノ利用設備カ使用スヘカラサルニ至リタルトキハ行政官廳ハ公益上ノ理由ニ基キ企業者ヲシテ其ノ費用ヲ以テ之ヲ除去シ原狀ニ恢復セシムルコトヲ得若シ其ノ企業者資力ナキトキハ設備ノ除去、原狀ノ恢復ニ依リテ利益ヲ受クヘキ國、市町村又ハ區ニ於テ其ノ費用ヲ負擔スヘシ國、市町村又ハ區ハ除去及恢復ニ依リテ利益ヲ受クヘキ關係者ヲシテ其ノ利益ニ應スル費用ノ分擔ヲ爲サシ

ムルコトヲ得

既ニ使用セラレサルニ至リタル水ノ利用設備ノ保持カ公益上必要ナルトキハ其ノ保持ニ依リテ利益ヲ受クヘキ國、市町村又ハ區ニ於テ其ノ維持ヲ爲スコトヲ要シ且必要アルトキハ設備ヲ委附スヘキコトヲ其ノ企業者ニ請求スルノ權利ヲ有ス此ノ場合ニ於ケル公用徵收ニ關シテハ第一百五十四條乃至第一百五十六條ヲ適用ス前項ノ末文ハ本項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十一條 總テノ水ニ於ケル利用設備工事ノ實行期間並之ニ對スル許可又ハ認可ノ消滅ニ付テハ營業條例第四十九條及第五十條ノ規定ヲ適用ス

第六十二條 一定ノ期間ヲ限リ又ハ取消シ得ヘキモノトシテ與ヘタル許可又ハ認可ハ其ノ期間ノ經過又ハ取消(第四十三條第一項第五十一條第一項)ニ依リテ消滅ス

公益上即時ニ取消ス必要ナキ損害又ハ危險ノ場合ニ於テハ適當ナル期間ノ經過後之ヲ取消スヘキモノトス

第六十三條 前二條ノ場合ヲ除クノ外一旦與ヘタル許可又ハ認可ハ營業條例第二十五條ニ該當セサルトキト雖一般ニ設備ノ狀況又ハ性質ニ重大ナル變化ヲ生セサル限リ其ノ效力ヲ有ス

第六十四條 第六十條第一項ノ規定ハ許可又ハ認可ノ消滅アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第四款 私河川ニ於ケル利用ニ關スル調和處分

第六十五條 水量ノ減少其ノ他ノ原因ニ依リ現在ノ水カ權利者ノ需要ヲ充スコト能ハサル場合ニ於テ 地方命令、慣習又ハ特別ノ法律關係ニ何等ノ救濟方法ナキトキハ行政官廳ハ關係者ノ請求ニ依リ調和處分ヲ以テ水ノ利用ヲ定ムヘシ但シ成ルヘク既存ノ法律關係ニ反セサルコトヲ要ス

第六十六條 行政官廳ハ權利者カ水ノ濫用又ハ任意ニ不規則ナル使用ヲ爲スニ依リ他ノ關係人ニ損害ヲ及ホスコトナキヤ否ヤヲ監督スヘシ

水ノ濫用又ハ任意ニ不規則ナル使用カ堰水設備又ハ水力機械設備等ノ利用設備ニ依ルモノナルトキハ其ノ所有者ニ對シ適當ナル方法ニ依リ之ヲ變更又ハ維持セシムルコトヲ得

第六十七條 權利者ニ甚シキ損害ヲ及ホサスシテ他ノ關係人ニ重大ナル利益ヲ生スルモノナルトキハ行政官廳ハ適當ナル調和ヲ爲ス爲關係人ヲシテ權利者ニ屬スル水又ハ其ノ一部ノ一時的利用ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ行政官廳ハ利用ノ期間及水量ヲ定ムヘシ

第六十八條 權利者ニ甚シキ損害ヲ及ホサスシテ他ノ關係人ニ重大ナル利益ヲ生スルモノナル場合ニ於テ調和ヲ爲ス爲必要アルトキハ行政官廳ハ第四十五條第一項第二號ノ規定ニ拘ハラス利用設備ノ整理、變更、改築又ハ新設ヲ命スルコトヲ得

第六十九條 第六十五條乃至第六十八條ノ場合ニ於テ調和處分命令ニ依リ權利ヲ侵害セラレタル者ニ

對シ之ニ依リテ生シタル損害カ生シタル利益ヲ超過セサル限度ニ於テ之ヲ賠償スヘキモノトス

第七十條 行政官廳ハ調命處分ヲ以テ他人ニ屬スル水ヲ利用スヘキ旨ノ指定(第五十七條)、對岸地ニ於ル設備ノ取附(第五十八條)、既存ノ設備ノ共同利用(第五十九條、第六十二條)、地表地下ニ於ケル引水排水ニ關スル他人ノ土地ノ使用(第六十條)及既存ノ設備ノ變更等ニ付處分ヲ爲スコトヲ得第六十九條ノ規定ハ本條ノ處分アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第七十一條 調和處分ニ依リ生シタル費用ハ之ニ依リテ受ケタル利益ニ應シ關係人ノ負擔トス

第六十九條ニ依リテ爲スヘキ損害賠償ニ付亦同シ

第七十二條 水ノ利用權利者ニ必要缺クヘカラサル最少限度ノ水量ハ最低水位ヲ標準トシテ之ヲ決ス水力機械ニ付テハ之ニ必要ナル貯水ヲ標準トス

第五節 料 金

第七十三條 舟筏條例、運河條例及流送條例ニ依リテ認ムル料金ノ外(第二十九條、第三十二條)公河川及國ノ所有スル私河川ニ於ケル特別利用ノ許可(第四十二條、第四十六條、第五十一條第一項)流動體ノ流込(第三十七條)及第二十六條第二項ノ前文ニ掲ケタル物ノ取去ニ對シ國庫ニ歸スヘキ料金を徴收スルコトヲ得

料金ニ關スル詳細ナル規定ハ政府ノ執行規程ヲ以テ定ム

義務

第三章 水ノ維持

第一節 公水及私河川ニ對スル一般規定

第七十四條 水ノ維持ハ國又ハ郡ニ於テ爲スモノノ外之ヲ公法上ノ義務トス此ノ義務ハ水ノ普通狀態ノ維持(河底ノ清潔、沈滯物ノ清潔掃除、沿岸ノ保護及維持)及公益上必要ナル場合ニ於ケル河川改修、堤防工事及溪留工事ノ實行及維持ヨリ成ル

關係人及義務ノ範圍ハ本章ノ規定ニ依ル

私法上ノ事實ニ基ク水ノ維持ニ關スル義務ハ前二項ノ規定ニ依リテ影響サルルコトナシ

第七十五條 水ノ維持ノ爲行政官廳ハ特定ノ河川ノ低水、常水、高水ノ標準縱斷圖ヲ定メ尙必要アル場合ニハ之カ標準線ヲ確定スルコトヲ得

第七十六條 行政官廳ハ總テノ公河川又ハ甚シキ増水ノ虞アル私河川(第九十七條)竝必要ナル場合ニ

標準縱斷圖標準線
氾濫區域

ハ他ノ私河川ニ付其ノ氾濫區域ヲ確定スルコトヲ要ス
此ノ區域ニ於テハ郡ヲ除ク外私人、組合及市町村ハ行政官廳ノ許可ナクシテ水ノ流通又ハ水量ニ影響スヘキ設備、工事若ハ其ノ變更ヲ爲スコトヲ得ス

許可ノ必要

第七十七條 前條第二項ノ場合ニ該當セスト雖郡ヲ除ク外私人、組合及市町村カ爲ス護岸工事、改修工事及堤防工事若クハ其ノ變更ニ付テハ總テ豫メ行政官廳ノ許可ヲ得ルコトヲ要ス

第七十八條 公水、國ノ所有スル私河川(第二十三條)又ハ甚シキ増水ノ虞アル私河川ニ架スル橋梁、

定着木橋、及渡水設備又ハ之等ノ水上若ハ水中ヲ通スル水管、瓦斯管及導線ノ布設及變更ハ總テ行政官廳ノ許可ヲ得テ之ヲ爲スコトヲ要ス但シ國ノ官廳カ爲ス場合ヲ除ク

行政官廳ハ他ノ私河川若ハ其ノ一部ニ於ケル橋梁、定着木橋及渡水設備ノ施設及變更ニシテ國ノ官

廳カ爲スモノノ外總テ其ノ許可ヲ以テ之ヲ爲スヘキモノト定ムルコトヲ得

第七十九條 第七十六條乃至第七十八條ノ許可ハ一定ノ期間又ハ取消シ得ヘキコトヲ必要ナル條件ト

シテ之ヲ與フルコトヲ得

行政官廳ハ一定期間ノ經過若ハ取消ノ場合ニ於テ公益上ノ理由ニ基キ設備所有者ニ其ノ費用ヲ以テ原狀恢復ヲ命スルコトヲ得

前項ノ命令ハ許可カ取消ヲ許サレサル場合ト雖公益上ノ理由ニ基キ之ヲ爲スコトヲ得設備所有者ハ命令ニ依リテ利益ヲ受クヘキ國家、市町村又ハ區ニ對シ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得第六十條第一項ノ末文ハ之ヲ準用ス

第八十條 沿岸地所有者ハ土地ノ保護及水ノ普通狀態ノ維持(沈滯物ノ清潔掃除、沿岸ノ保護及維持)ニ必要ナル工事及建築ヲ其ノ土地ノ上若ハ之ニ接シテ爲スコト及此目的ノ爲ニ沿岸ニ立入ルコト竝材料ノ運搬、貯藏、準備及徵發貯藏ノ爲一時沿岸ヲ使用スルコトヲ拒ムコトヲ得ス徵發ハ水ノ

沿岸地所有者及水力機械所有者ノ特別義務

維持工事企業者ノ所有トス行政官廳ハ沿岸地ヨリスル徵發ノ收去ニ關シ關係人ノ請求ニ依リ適當ノ期間ヲ定ムヘシ

沿岸地所有者ハ前項ノ場合ノ外河川改修堤防工事及溪留工事ノ際ニ其ノ沿岸ニ立入ルコト竝材料ノ運搬、貯藏及準備ノ爲一時之ヲ使用スルコトヲ之ニ依リテ生スル損害ヲ補償スルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

沿岸地所有者ハ前二項ニ掲ケタル工事ニ必要ニシテ且其ノ沿岸地及河床ニ在ル砂礫、泥土、土塊、石塊、樹木、糾草、束柴等ヲ賠償ヲ受ケテ讓渡スヘシ

第八十一條 標準縱斷面ヲ恢復スル爲島及寄洲ノ除去、沿岸地及島ノ地角等ノ除去ヲ必要トスル場合ニ於テハ沿岸地所有者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

沿岸地所有者カ土地ニ普通ノ改修ヲ施シタルトキハ島及地角等ノ除去ニ關シテハ第五百五十四條乃至第五百五十六條ノ規定ニ依ル公用徵收ヲ又寄洲ノ除去ニ關シテハ第九條第二項ノ規定ヲ適用ス

第八十二條 水ノ利用設備所有者ハ水ノ維持工事(第七十四條)ノ爲ニ其ノ經營ヲ一時的制限若ハ中止スルコトヲ拒ムコトヲ得ス久シキニ亘ル制限若ハ中止ニ依リテ生シタル損害ニ付テハ賠償ヲ請求スルコトヲ得但シ特約アルトキハ此ノ限ニアラス

第八十三條 第七十八條ノ設備所有者ハ河川改修及堤防工事ニ對シ異議ヲ述フルコトヲ得ス

道路、鐵道等ノ所有者ノ義務
水流ノ自由及沿岸ノ安全

關係人ノ範圍

特別ノ權限ニ基ク損害賠償請求權ハ之ヲ留保ス

第八十四條 沿岸道路及鐵道ノ維持者竝水力工業若ハ灌溉排水ノ設備ノ所有者ハ道路、鐵道及設備ノ爲ニ必要ナル護岸手段ヲ爲シ且之ヲ維持スルコトヲ要ス

第八十五條 行政官廳ハ一定河川ノ氾濫區域ヲ定メ其ノ區域内ニ於テ水流ノ障礙(樹木、灌木、沈澱物、閉塞、垣牆等)ヲ除去竝窪處ノ埋充ヲ命スルコトヲ得土地ノ所有者ハ之ヲ爲ス義務ヲ負フ

洪水ノ爲堤防ニ樹木灌木ヲ植付ケ又ハ垣牆ヲ設クルニハ行政官廳ノ許可ヲ受クヘシ
第八十六條 沿岸地所有者ハ其ノ附近ニ於テ總テ沿岸ノ安全及保護ニ危險ヲ及ホスヘキ行爲ヲ爲スコトヲ得ス私有河川ニアリテハ其ノ河床所有者亦同シ

第八十七條 護岸工事、改修工事、堤防工事、及溪留工事ノ傷害豫防ニ關シテハ警察法規及命令ヲ發スルコトヲ得

第八十八條 本法ニ於テ水ノ維持ニ對スル關係人若ハ其ノ共同事業ノ關係人トシテ義務アリト認メラルルモノハ次ノ如シ

一 公水及私河川ノ堤防工事ニ於テハ其ノ工事ニ依リテ氾濫、浸濕及崩潰ヨリ保護サルル土地若ハ設備ノ所有者(相隣地、隔離地ノ所有者)

二 總テノ私河川ニ於ケル其ノ他ノ維持手段ニ關シテハ

(イ) 流水ノ維持ニ依リテ崩潰、浸濕、氾濫ヨリ保護サルル土地又ハ設備ノ所有者(相隣地、隔離地ノ所有者)及水力機械若ハ他ノ利用設備ノ所有者竝橋梁、渡水設備、流送装置、及灌溉排水設備ノ所有者

(ロ) 河床ノ所有者

費用ノ分賦

第八十九條 各關係人間ニ於ケル水ノ維持費用ノ分賦ハ其ノ出捐額カ他ノ方法ニ於テ正當ニ決セラレサルトキハ維持手段ニ依リテ得タル利益、除カレタル損害ニ應シ且維持ニ關シ或設備カ與ヘタル特別ノ影響ニ留意シ行政官廳之ヲ決ス行政官廳ノ定メラレタル出捐額ハ市町村稅徵收ノ規定ニ從ヒ市町村ヲシテ徵收セシム

補助金

第九十條 國若ハ郡ノ財産ヨリノ補助金ノ給與及其ノ金額ニ付テハ豫算ニ認メラレタルモノノ外ハ一般ニ企業ノ公益上ノ價值及事態ノ緩急、關係人ノ需要如何ニ依リテ之ヲ決スヘキモノトス給與サレタル補助金中ヨリ適當ナル額ヲ割キ其ノ利子ヲ以テ設備ノ維持ニ當ツルコトヲ得設備ノ維持ニ用ヒラレサル利子額ハ之ヲ積ムヘキモノトス已ムヲ得サル場合ニ於テハ維持ノ目的ニ供セラルル元本ヲ設備ノ全部若ハ一部ノ修繕ニ使用スルコトヲ得但シ後日之ヲ補償スヘキモノトス

第二節 特別規定

第一款 公 水

清潔、除去沿岸ノ自由

第九十一條 河底ノ清潔掃除竝沿岸ノ保護ハ國ノ費用ヲ以テ之ヲ爲ス但シ沿岸ノ保護ニ付テハ第八十

五條第一項ノ場合ヲ除ク

沿岸ノ保護

第九十二條 第八十四條ノ場合ヲ除キ沿岸ノ保護及維持ハ郡ノ負擔トス

河川整理

第九十三條 河川改修ノ施行及維持ハ國ノ費用ヲ以テ爲ス河川改修カ同時ニ沿岸保護ヲ助クルトキト

雖郡ハ之ニ對シ補助ヲ爲スコトヲ要セス從テ護岸設備カ河川改修ノ目的ヲ助クルトキモ亦國ハ之ニ

對シ補助ヲ爲ササルモノトス

増水ニ對スル堤防工事

第九十四條 増水ニ對スル堤防ノ築造及維持ハ國之ヲ爲ス國ハ總費用ノ百分ノ五十ヲ最高限度トシテ關係人(第八十八條ノ第一號)ヲシテ分擔セシムルコトヲ得

既存ノ増水堤防ノ築造及維持ニ對シ從來市町村、區、組合又ハ私人カ義務ヲ負擔セシトキハ其ノ義務ハ存續ス國又ハ郡ノ財産ヨリノ任意ノ補助金給與ハ此ノ場合ニ於テ之ヲ留保ス

前二項ノ規定ハライン河ノ堤防ニハ之ヲ適用セス

實行

第九十五條 水ノ維持ニ必要ナル手段ノ實行及監督ハ國ノ土木行政官廳ニ於テ之ヲ爲ス

第九十六條 國ノ運河(第一條第一項)ノ維持ハ國之ヲ爲スヘシ

第二款 甚シキ増水ノ虞アル私河川

確定

第九十七條 政府ハ甚シキ増水ノ虞アル私河川ヲ指定スルコトヲ要ス但シ指定前ニ郡長ノ意見ヲ徵ス

義務

第九十八條 前條ノ私河川ノ維持(第七十四條)ハ第八十四條及第八十五條第一項ノ場合ヲ除キ郡ノ負擔トス

監督

國ハ其ノ維持費用ニ對シ各年度ノ豫算ニ從ヒ郡ニ任意ノ補助金ヲ給與スルコトアルヘシ
郡ハ總費用ノ百分ノ廿五ヲ最高限度トシテ關係人ニ(第八十八條)分擔セシムルコトヲ得
第九十九條 國ノ土木官廳ハ九十七條ノ私河川ノ監督ヲナスノ義務アルモノトス必要ナル土木工事ノ設計及其ノ工事ノ實行ハ土木官廳之ヲ爲ス

第三款 其他ノ私河川

義務

第一百條 維持(第七十四條)ニ付テハ第八十四條及第八十五條第一項ノ場合ヲ除キ關係人(第八十八條)義務ヲ負フ

補助金

第一百一條 國ハ維持ニ對シ各年度ノ豫算ニ從ヒ任意ノ補助金ヲ給與スルコトアルヘシ
郡ハ關係人ニ對シ維持ノ爲其ノ財産ヨリ補助金ヲ給與スルノ義務アルモノトス

任意若ハ私法上ノ事實(第七十四條第三項)ニ基キテ水ノ維持手段ヲ行ヒタル市町村、區又ハ組合ハ關係人ト同シ

組合

第一百二條 關係人ハ水ノ維持ヲ目的トスル公法上ノ組合ヲ組織スルコトヲ得組合ノ設立其ノ他ノ法律

市町村ノ義務

關係ハ第五章ノ規定ニ依ル

第一百三條 關係人カ前條ノ權限ヲ行使セサルトキハ強制組合ヲ組織セシメラルルコトアルヘシ

第一百四條 組合ノ設立ナク且關係人カ維持ノ義務ヲ十分ニ行ハサル場合ニ於テ市町村ハ其ノ境界内ノ河流ニ付テ何時ニテモ必要ナル維持手段ヲ施シ得ル權限ヲ有シ又行政官廳ノ命令ニ依リテ此ノ義務ヲ負フ

監督

前項ノ費用ハ市町村ニ於テ支出後關係人(第八十八條第八十九條)ヲシテ補償セシムヘシ

第一百五條 行政官廳ハ維持ニ付常ニ監督スヘシ

國又ハ郡カ補助金ノ給與ヲ爲ス間ハ政府ハ關係人ニ代ハリテ自ラ維持手段ヲ實行シ又ハ政府ノ技術機關ニ託シテ實行ノ管理ヲ爲サシムルコトヲ得

第一百六條 企業カ公益上價值ヲ有シ且關係人ノ需要ニ適シタルモノト認メラルヘキトキハ政府ハ設計費用ヲ國庫ヨリ支出スルコトヲ得

第四款 滯水

第一百七條 行政官廳ハ公益上必要ナル場合ニ於テハ滯水ノ所有者ヲシテ其ノ維持又若シ滯水トシテノ存在ヲ失フヘキトキニ於テハ公益上適當ナル狀態ノ設定ヲ強制スルコトヲ得公益上滯水ノ舊狀態ノ恢復ヲ必要トスル場合ニ於テハ其ノ所有者之ニ依リテ利益ヲ受クル國、市町村又ハ區ニ對シテ賠償

ヲ請求スルコトヲ得
滯水ニ隣接スル土地所有者ハ賠償ヲ受ケタルトキハ前項命令ヲ遂行スル爲其ノ土地ニ付若ハ之ニ付
テ爲ス勞役及工事ノ賠償ヲ許可スルコトヲ要ス

第三節 非常水難ニ對スル豫防

市町村ノ
義務

第百八條 水難ノ緊急豫防ヲ必要トスルトキニ於テ沿岸市町村ハ夫役又ハ牛馬役ヲ以テ其ノ救濟ヲ爲
スヘキ義務ヲ負フ

市町村ハ尙豫防手段實行ノ必要上命令ニ應シテ勞役者、材料、器具及道具ヲ供給スヘシ
水難ノ虞アル市町村ハ水難ニ對スル適當ナル救濟方法ヲ定メ且此ノ場合ニ對シテ必要ナル救濟材料
(第二項)ヲ豫メ備ヘ置クコトヲ要ス

第四章 漁 獵

第百九條 公水及私水ニ於ケル水ノ利用設備、流動物若ハ其ノ他ノ非固形體及固形物質ノ流込竝改修
工事(第七十七條)ニ對スル許可又ハ認可ヲ與フルニ先タチ漁獵權利者ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス許可
又ハ認可ヲ與フルニハ成ルヘク漁獵權利者ノ利益ヲ害セサルコトヲ要ス
水ノ利用設備、流込又ハ改修工事ニ依リテ漁獵權カ侵害セラレタルトキハ企業者ハ其ノ損害ヲ賠償
スヘシ改修工事ノ企業者トシテ國及郡モ同様ノ義務ヲ負フ

第五章 公設水利組合

第一節 一般規定

目的

第百十條 公設水利組合ハ左ノ目的ノ爲メニ之ヲ設立スルコトヲ得

- 一 水ノ利用特ニ灌溉排水設備、堰水及水力機械設備、貯水池ノ設置及維持
- 二 水ノ維持(水ノ清潔及掃除、河岸ノ保護及維持、河川改修、堤防工事及溪留工事ノ實行及維持)
- 三 水道ノ布設及維持

成立

第百十一條 組合ハ左ノ原因ニ依リテ成立ス

- 一 關係人ノ任意ノ結合(任意組合)
- 二 各關係人ノ加入ヲ強制シ得ル關係人ノ多數決(強制加入組合)
- 三 管轄郡廳ノ處分(強制組合)

一般要件

第百十二條 組合(第百十條)ノ設立ハ之ニ依リ公共ノ利益若ハ一般農業上ノ實益ヲ生セシメ得ヘキト
キニ限リ之ヲナスコトヲ得
強制加入組合ノ設立ニハ前項ノ要件ノ外尙加入反對者ノ土地ニ關係スルニアラサレハ企業ヲ經濟及
技術ニ適合スヘキ方法ニ於テ實行シ得サルコト竝企業ニ依リテ期待サルル利益カ生スヘキ損害ヨリ
モ大ナルコトヲ要ス

組合費

水ノ維持ヲ目的トスル強制組合ノ設立ニハ公益上ノ理由ニ基キテ特ニ沿岸崩潰ノ防禦及氾濫ノ防禦若ハ侵濕及地潰ヲ豫防シ除去スル爲ニ企業カ強制的ニ命令セラレタルコトヲ要件トス

第十三條 組合員ノ數ハ三名ヲ下ルコトヲ得ス

組合ニ收容セラレタル土地及設備ノ所有者ハ總テ之ヲ組合員トス

第十四條 世襲財團ニ屬スル土地又ハ設備カ企業ノ實益上必要ナリト認メラルルトキハ高級地方裁判所ハ之カ組合收容ノ許可ヲ拒ムコトヲ得ス此ノ場合ニ於テハ財産承諾者ノ了知ヲ必要トセス

總テ組合ニ加入スル爲父又ハ母ハ親權者、後見人又ハ管財人トシテ後見裁判所又ハ親族會議ノ同意、遺產管理人ハ遺產裁判所ノ同意、公法上ノ社團財團及營造物又ハ官廳ノ管理ニ屬スル財團ノ法定代理人ハ其ノ監督官廳ノ同意ヲ得ルコトヲ要セス

權利能力

第十五條 組合ハ獨立ニ權利義務ヲ有シ、土地ニ付テ所有權其ノ他ノ物權ヲ取得シ又ハ訴訟當事者トナルコトヲ得

組合ハ其ノ財産ヲ限度トシテ其ノ債務ニ對シ責ヲ負フ組合員ハ定款ニ定メタル出資ニ付テノ義務ヲ負フ

第十六條 組合ハバイエルン王國內ニ其ノ事務所ヲ有スヘシ

第十七條 組合及組合員ノ法律關係ハ本法ニ規定ナキトキハ定款ノ定ムル處ニ依ル

定款記載事項左ノ如シ

- 一 名稱及事務所
- 二 目的トスル主要ナル工及企業ノ目的
- 三 組合員ノ權利義務、即組合ノ利益及負擔ニ干與スル割合並組合事務ニ付テノ分擔
- 四 理事及其ノ監督機關ノ組織、選舉及權限並其ノ他ノ組合機關ノ設置
- 五 組合總會ノ招集、組織、權限及其ノ決議ノ形式効力及公告
- 六 組合事務ニ關スル仲裁裁判ノ構成及其ノ裁決ニ屬スヘキ爭議
- 七 組合ノ會計事務(豫算編成、會計検査)
- 八 定款變更ノ要件
- 九 公告ノ形式及公告ニ選ハレタル新聞紙

定款ノ認可

理事

第十八條 定款及其ノ變更ハ組合ノ事務所所在地ノ管轄郡廳ノ認可ヲ要ス

定款ノ認可ヲ以テ組合ハ權利能力ヲ取得ス認可サレタル定款ハ又加入ヲ強制サレタル者ヲモ羈束ス
第十九條 組合ニハ理事ヲ置ク理事ハ數人ヲ置クコトヲ得理事及其ノ監督機關ハ總テ組合ノ事務ニ付定款ノ定ムル處ニ從ヒ組合ヲ代表ス理事及其ノ監督機關ハ組合企業ノ爲ニ收容シタル土地及設備ノ目錄(組合臺帳)ヲ作り且之ヲ整理スルコトヲ要シ又設計ノ謄本及企業ニ關スル記録ノ保管ヲナス

ヘシ

理事ノ設置及組織ノ變更ハ一週間以内ニ監督官廳(第三十二條)ニ届出ツヘシ
理事ノ一人ニ對シテ爲シタル意思表示ハ直接組合ニ對シテ效力ヲ生ス

第二十條 理事ハ組合員タルコトヲ要セス

第二十一條 理事ハ其ノ權限ニ依リ或組合員ノ意思ニ反シテ發シタル指圖ヲ其ノ組合員ノ費用ヲ以テ之ヲ實行セシメ若ハ五十マルク迄ノ秩序罰ノ警告及沒收ヲ以テ之カ實行ヲ強制スルコトヲ得理事カ爲シタル命令、秩序罰ノ警告及決定ニ對シテハ二週間内ニ監督官廳ニ訴願ヲ爲スコトヲ得訴願ヲ爲スコトニ依リ命令ノ實行ヲ拒ムコトヲ得ス

罰金ハ組合金庫ニ歸ス

第二十二條 各理事ハ自己ノ責任ニ基ク義務違反ニ依リテ生シタル損害ニ付組合ニ對シテ責ヲ負フ損害ニ付數人カ責ヲ負フヘキトキハ連帶債務者トシテ之ニ任ス

前項ノ規定ニ基ク請求權ハ五年間之ヲ行ハサルトキハ消滅ス

第二十三條 定款ニ定メタル最小數以上ノ組合員カ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ請求シタルトキハ理事ハ總會ヲ招集スルコトヲ要ス

出資義務

第二十四條 組合ノ費用ニ對スル出資義務ハ企業ニ干與セル土地及設備ノ公法上ノ負擔トス此義務ハ

土地及設備カ分離又ハ滅失シタルトキニ消滅ス

土地カ分配セラレタルトキハ出資義務ハ各分配地ニ付一定ノ割合ヲ以テ定メラル

第二十五條 組合ニ屬スル土地又ハ設備ノ所有者ハ自己ノ所有權ノ存續期間内ニ於テ辨濟期ニ達シタル給付ニ付テハ移轉後尙債務ヲ負フ

遲滞給付

第二十六條 遲滞給付ハ市町村稅督促ニ關スル規定ニ從ヒ市町村之ヲ徵收シテ組合金庫ニ交付スヘシ

解散

第二十七條 總會ハ組合ノ解散ヲ決議スルコトヲ得

總組合員ノ四分ノ三以上ノ同意並監督官廳(第卅二條)ノ認可アルニ非サレハ前項ノ決議ハ其ノ效力ヲ生セス

表決ヲ爲ササル組合員ハ同意ヲ爲ササル者ト看做ス

第二十八條 組合解散ノ場合ニハ清算ヲ行フ定款又ハ總會ノ決議ニ於テ他人ニ委任セラレサル限りハ

清算ハ理事之ヲ行フ

理事ハ清算人ノ任命及其ノ氏名ヲ二週間内ニ監督官廳ニ届出ツヘシ

第二十九條 清算人ハ法律上組合理事ノ地位ヲ取得ス

清算人數人有ル場合ニ於テ別段ノ規定ナキトキハ決議ハ全員ノ同意ヲ必要トス

清算

組合ノ清算人ニ付テハ尙民法第四十九條乃至第五十三條ノ規定ヲ準用ス

第三百十條 清算人ハ清算結了後直ニ監督官廳ニ届出ヲ爲シ且解散セラレタル組合ノ帳簿及文書ヲ交付スヘシ

第三百卅一條 組合ノ費用ニ對スル出資義務ハ精算結了ヲ以テ消滅ス

第三百卅二條 組合ハ國ノ監督ニ屬ス國ハ組合ニ屬スル設備ノ秩序的經營及維持並會計事務ニ付監督及

検査ヲ爲シ且組合ノ事務カ本法及定款ニ從ヒテ管理セラルルコトニ付之ヲ監督ス

組合ノ事務所所在地ノ管轄行政官廳ヲ以テ監督官廳トス

第三百卅三條 監督官廳ハ其ノ權限(第三百卅二條)ニ依リ第三百卅三條ニ依ル請求ヲ拒ミタル理事ニ對シ五

十マルク迄ノ秩序罰ヲ科シ、理事カ曠缺セル場合ニハ之ニ代ハリテ總會ヲ招集シ組合ノ費用ヲ以テ

組合職務ノ視察委員ヲ置キ又ハ組合ニ代ハリ且其ノ費用ヲ以テ組合ノ目的ニ適合スル手段ヲ爲スコ

トヲ得

罰金ハ組合金庫ニ歸ス

第三百卅四條 組合ハ精算手續ノ繼續スル間尙國ノ監督ニ服ス

第三百卅五條 強制組合(第十二條第三項)ハ管轄郡廳ノ命令ニ依リテ設定セラル郡廳ハ同時ニ組合定

款ヲ公布スヘシ定款ノ公布ト同時ニ組合ハ權利能力ヲ取得ス強制組合ノ設定後ニ於テハ本章ノ規定

國ノ監督

強制組合

ヲ適用ス

第二節 特別規定

第一款 水ノ利用ヲ目的トスル組合(第十條第一號)

第三百卅六條 水ノ利用ヲ目的トスル組合ハ其ノ企業ニ利益ヲ有スル土地ノ所有者ヲ以テ組織セラル

其ノ他ノ土地所有者ハ之ヲ強制加入セシムルコトヲ得ス

第三百卅七條 組合ハ其ノ企業ニ依リテ相隣地カ明カニ重大ナル利益ヲ受ケ且從來ノ組合員カ加入ニ依

リ不利益ヲ受ケサルトキニ於テ其ノ相隣地ノ所有者ヲ其ノ請求ニ依リテ組合ニ加入セシムヘキモノ

トス

組合ハ新ニ加入シタル土地所有者ヲシテ企業ニ支出シタル從來ノ費用ニ對シ適當ナル分擔ヲ爲サシ

メ且其ノ加入ニ依リ特ニ生シタル組合ノ費用ヲ前拂セシムルコトヲ得

第三百卅八條 組合ノ企業カ土地所有者ノ責任ナクシテ其ノ土地ニ明カニ何等ノ利益ヲ及ホササルト

キ、他ノ設備ヲ爲スニ依リ大ナル利益ヲ得ヘキトキ若ハ企業ニ依リテ損害ヲ受クヘキトキニシテ且

總テ脱退カ組合目的ノ遂行ニ何等重大ノ妨害ヲ與ヘサルトキニ於テハ請求ニ依リ組合ハ土地ト共ニ

其ノ所有者ヲ組合ヨリ脱退セシムルコトヲ要ス

組合目的ノ遂行ニ重大ナル妨害ヲ與フルノ理由ニ基キ脱退カ拒マレタルトキハ土地所有者ハ組合ニ

組合員ノ範圍

事後編入

土地ノ分離

對シ賠償トシテ其ノ土地ノ讓受ヲ請求スルコトヲ得
強制的ニ加入セシメラレタル者ハ前二項ノ場合ニ於テ既ニ爲シタル出資ノ償還及損害ノ賠償ヲ組合
金庫ニ請求スルコトヲ得但シ企業ニ依リテ利益ヲ得タル期間ノ出資ノ償還ヲ請求スルコトヲ得ス
第百卅九條 總會ハ全設備ノ利益ノ爲或土地ノ分離スルコトヲ必要トスル場合ニ於テ之ヲ決議スルコ
トヲ得

多數決
(第百十
一條第二
號)

總會ノ決議ハ監督官廳ノ認可ヲ經ルコトヲ要ス
組合ハ分離シタル土地所有者ニ依リテ生シタル損害ノ賠償ヲ爲スコトヲ要ス
第百四十條 第百十一條第二號ニ於ケル多數トハ次ノ場合ヲ謂フ
一 灌溉排水企業ニ於テハ同意者カ關係土地總面積ノ過半數ヲ有シ且少クトモ全關係者ノ五分ノ一
以上カ企業ニ賛成シタル場合
二 其ノ他ノ水ノ利用設備ニ於テハ全關係者ノ過半數カ企業ニ同意シ且企業ニ依リテ得ラルヘキ利
益ノ大部分カ同意者ニ歸スヘキコトノ明カナル場合
第百四十一條 多數決ノ計算ニ於テ一個ノ土地ノ共有者ハ之ヲ一人ト看做ス相續團體ニ屬スル封地、
世襲財産及家族財産ノ各所有者ハ各完全ナル所有者ト看做ス
一個ノ土地ノ共有者間ニ意見カ一致セサル場合ニ於テ少クトモ半分ノ持分ヲ有スル所有者カ同意シ

出資割合
表決關係

設備費用
ノ徵收

事後編入

タルトキハ企業ニ同意シタルモノト看做ス
一個ノ土地ノ所有權若ハ境界ニ付法律上ノ爭アリテ且關係人カ表決ヲ爲ス能ハサル場合ニ於テハ先
ツ占有者ヲ以テ表決權アルモノト看做ス占有ニ付爭アル場合ニ於テ爭ノ當事者ノ一方カ企業ニ同意
シタルトキハ同意アリタルモノト看做ス
第百四十二條 組合ノ負擔ニ對スル各組合員ノ分擔ハ好意的ノ一致ナキ限りハ企業ニ依リテ各土地カ
受クヘキ利益ノ割合ニ從ヒテ之ヲ定ム
第百四十三條 組合ノ負擔辨濟ニ關スル決議ニ於ケル組合員ノ表決關係ハ次ノ標準ニ依ル
一 灌溉排水企業ニ於テハ關係土地ノ面積ニ從フ
二 其ノ他ノ水ノ利用設備ニ於テハ企業ニ依リ土地又ハ設備カ受クル利益ニ從フ
此ノ場合ニ於テハ何レノ組合員ト雖全表決權ノ五分ノ二以上ヲ有スルコトヲ得ス
他ノ組合事務ニ付テハ各組合員ハ一個ノ表決權ヲ有ス
第百四十四條 強制的ニ加入セシメラレタル土地所有者カ異議ヲ唱ヘタル場合ニ於テハ設備費用ニ對
スル其ノ分擔ノ徵收ニ付之ニ依リテ其ノ生計狀態ヲ害スル虞ナキトキハ一回ノ出資ヲ以テ之ヲ果ス
コトヲ得
第百四十五條 監督官廳ハ組合理事ノ請求ニ依リ組合ニ屬セサル土地所有者ニシテ且企業ニ依リ明カ

ニ重大ナル利益ヲ受クル者ヲ組合ニ加入セシムルコトヲ得
設立後加入セシメラレタル土地所有者ヲシテ其ノ利益ニ應シテ從來ノ組合企業費用ニ對シ分擔ヲ爲
サシムルコトヲ得

第二款 水ノ維持ヲ目的トスル組合(第一百十條第二號)

組合員ノ
範圍

第四百十六條 組合ハ組合企業ニ依リテ利益ヲ受クヘキ關係人(第八十八條)ヲ以テ組織ス

脱退

第四百十七條 組合ハ組合員カ關係人(第八十八條)タル要件ヲ失ヒタル場合ニ於テ其ノ請求ニ依リ其
ノ土地若ハ設備ト共ニ組合ヨリ脱退スルコトヲ許可スルコトヲ要ス

事後編入

第四百十八條 監督官廳ハ組合設立後ニ於テ關係人タル法律上ノ要件ヲ發生シ又ハ此ノ要件カ確定シ
タル者ノ加入ヲ命スルコトヲ得第四百十五條第二項ノ規定ハ此ノ場合ニ準用ス

多數決
(第一百十
一條第二
號)

第四百十九條 第一百十一條第二號ノ意味ニ於ケル多數決ニ付テハ關係人ノ過半数企業ニ同意シタルコ
トヲ要件トス

第四百十一條及第四百十三條第二項ノ規定ハ此場合ニ準用ス

第三款 水道ノ布設及維持ヲ目的トスル組合(第一百十條第三號)

組合員ノ
範圍

第五十條 組合ハ組合企業ニ於テ豫メ水ノ供給設備ヲ行ヒタル土地ノ所有者ヲ以テ組織セラル但シ
汲水、送水、集水、導水ノ爲ニ使用セラルル土地ヲ含マス

多數決
(第一百十
一條第二
號)

第五十一條 第十一條第二號ノ意味ニ於ケル多數決ハ關係人ノ過半数企業ニ同意シ且企業ニ依
リテ生スル利益ノ大部分カ同意者ニ歸スヘキモノト認メラルルトキニ存在ス

第五十二條 第三十六條第二項、第三十七條、第四十一條、第四十二條、第四十三條第
一項第二號、同條第二項及第四十四條ノ規定ヲ準用ス

第六章 水ノ利用及維持ノ進捗ヲ目的トスル強制權

公用徵收

第五十三條 千八百三十七年十一月十七日ノ土地公用徵收法第一條A第四號、第六號乃至十號及第
十三號並同條Bノ場合、本法第四條、第十八條、第三十一條第二項、第四十三條第三項、第六十條

第二項及第八十一條第二項ノ場合ノ外次ニ掲クル目的ノ爲收用ヲ爲スコトヲ得

一 本法第九十一條乃至第九十四條、第九十八條及第百條ノ場合ニ於ケル水ノ維持(第七十四條)ヲ
實行スル爲

二 公河川若ハ私川ノ常態ノ恢復及維持ニ必要ナル場合ニ於テ其ノ支川タル私河川及小川ニ裝置及
工作物ヲ設クル爲

三 水ノ利用特ニ貯水池、堰水設備、水力機械設備ノ設置及維持ヲ目的トスル國カ爲ス企業ノ爲

四 水ノ利用特ニ灌溉排水設備、堰水設備、水力機械設備及貯水池ノ設置及維持ヲ目的トスル組合
ノ企業ノ爲

五 組合ノ水道ノ設置及維持ノ爲
六 公共ノ目的特ニ市町村若ハ區ノ缺クヘカラサル家事上ノ需要ヲ充スニ必要ナル地下水及井水ヲ要求スル爲

第五百五十四條 強制收用ニ付テハ千八百三十七年十一月十七日ノ土地公用徵收法ノ規定、千八百七十六年二月二十三日ノ帝國民事訴訟法及破産法ノ施行規則第十六條乃至第二十六條第一項ノ規定ヲ千八百九十九年六月二十六日ノ告示ニ從ヒテ準用ス但シ第五百五十五條及第五百五十六條ニ別段ノ定メアルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五百五十五條 負擔ノ爲土地ヲ一層有利ニ利用スルコト能ハサルニ至ルトキハ收用ニ付義務ヲ負フ者ハ負擔ノ代ハリニ其ノ土地ヲ讓渡スヘキ旨ヲ主張スルコトヲ得

第五百五十六條 強制收用カ許可セラレタル場合ニ於テハ土地占有者ハ行政官廳ノ命令ニ依リ其ノ土地ノ上ニ爲サルル企業準備ニ必要ナル總テノ行爲ヲ賠償ヲ得テ許容スルコトヲ要ス

行政官廳ハ土地所有者ノ請求ニ依リ國以外ノ企業者ヲシテ豫メ適當ナル擔保ヲ供セシムルコトヲ得
第五百五十七條 私河水カ權利者ニ利用セラレサルニ至リタルトキニ於テハ第四十五條ニ依リ利用權ヲ有セサル沿岸地所有者及沿岸ヨリ隔離セル土地ノ占有者ト雖左ニ掲クル場合ニ限り豫メ十分ノ賠償ヲ爲シテ之カ權利ヲ主張スルコトヲ得又行政官廳ヨリシテ之カ利用ヲ爲スヘキコトヲ指定セラルル

其他ノ強
制權

コトヲ得

一 目的トスル利用カ土地改良、魚池經營若ハ工業ニ大ナル利益ヲ來スヘキモノタルコトカ確實ニ期セラルル場合

二 管轄官廳カ催告ヲ爲シタルニ係ラス權利者カ適當ナル期間内ニ水ノ利用ヲ爲サス若ハ水ノ利用ヲ妨ケタル事情ヲ證明セサル場合

第五百五十八條 沿岸地所有者ハ其ノ所有スル私河川ノ水ヲ利用センカ爲堰水設備ヲ設ケントスルトキハ豫メ十分ナル賠償ヲ爲シテ對岸地所有者ニ對シ對岸ノ使用及必要ナル場合ニ於テハ又其ノ河床ノ使用ヲ爲サシムヘキコトヲ要求スルコトヲ得

水力工場、建築物及之ニ屬スル庭園ハ前項ノ要求ヲ受クルコトナシ

第五百五十七條ノ規定ニ依リ水ノ指定ヲ受ケタル者モ同様ノ要求權ヲ有ス

第五百五十九條 堰ノ取附ニ付要求ヲ受ケタル沿岸地所有者カ同時ニ河床ノ所有者タルトキハ堰ノ共同使用ヲ請求スルコトヲ得但シ其ノ設置ニ要シタル費用及將來ノ維持ニ要セラルヘキ費用ヲ其ノ要求シタル水量ニ應シテ分擔スルコトヲ要ス

此ノ場合ニ於テハ第五百五十八條ニ依リテ爲スヘキ賠償中ヨリ要求サレタル水量ニ應シテ計算セラルヘキ金額ヲ差引クコトヲ得ルモノトス

共同使用ニ依リテ生スル堰ノ變更ニ要スル費用ハ共同使用ヲ要求シタル沿岸地所有者ノ負擔トス
前三項ノ規定ハ沿岸地所有者カ行政官廳ノ催告アリタルニ係ラス共同使用ヲ爲ササル場合ニ於テ第
百五十七條ニ依リ水ノ指定ヲ受ケタル者ノ爲ニ之ヲ準用ス

第六十條 灌漑、排水及魚池經營ノ爲又ハ堰水設備及水力機械設備ノ爲地上又ハ地下ヲ通スル引水
又ハ排水設備ノ設定ノ認容ヲ要求セラレタルトキハ他ノ土地所有者ハ左ニ掲クル凡テノ條件ヲ具備
スル場合ニ限り之ヲ拒ムコトヲ得ス

一 其ノ設備カ公共ノ需要ニ適シ且土地改良、魚池經營又ハ工業ニ大ナル利益ヲ來スヘキコトノ確
實ニ期セラルトキ

二 他人ノ土地ヲ要求スルニ非サレハ其ノ設備ヲ企業ノ利益及價值ニ比例スル方法ニ於テ設クルコ
ト能ハサルトキ又ハ他人ヲシテ自己同等又ハ同等以上ノ負擔ヲ爲サシムルニアラサレハ其ノ設備
ヲ設クルコト能ハサルトキ

三 其ノ設備カ土地ノ特別ノ利用若ハ耕作ニ關シ一般ニ甚シキ害ヲ其ノ土地ノ所有者ニ及ホササル
トキ

四 引水又ハ排水カ建築物又ハ其ノ周圍ニ附屬スル庭園ヲ通シテ爲サレサルトキ

五 負擔ニ對シテ充分ナル賠償カ爲サルトキ

第六十一條 低地ノ所有者ハ高地ニ湧出シ又ハ自然ニ集溜シタル水(第十七條第一項)ノ流下カ自然
ノ流下水量以上ニシテ且損害ヲ及ホスモノナルトキハ賠償ヲ得テ之ヲ認容スルコトヲ要ス

第六十二條 他人ノ堰水設備若ハ引水排水設備ノ共同使用ヲ爲スニ依リテ權利者カ舟筏ノ通路ノ爲
ニスル公河川ノ利用及土地改良又ハ工業ノ爲ニスル公河川及私河川ノ利用ヲ最モ有效ニ實行シ得ヘ
キトキニ於テハ其ノ他人ヲシテ共同使用ヲ許容セシムルコトヲ得但シ權利者ハ此等ノ設備ノ設置及
維持ノ費用ヲ適當ナル割合ヲ以テ分擔シ且共同使用ヲ許シタル爲設備ノ所有者ニ生シタル損害ヲ賠
償スヘキコトヲ條件トス

設備所有者カ爲ス水ノ利用カ共同使用ニ依リテ困難ニ陥ルヘキ場合若ハ設備所有者ノ蒙ムル害カ強
制ニ依リテ得ラルル利益ヨリモ著シク大ナリト認メラルヘキ場合ニ於テハ強制スルコトヲ得ス

第六十三條 既設ノ法律關係ニ基ク堰水設備ニ依リ他人ノ土地カ水害ヲ受クルトキハ其ノ設備ノ所
有者ハ賠償ヲ得テ確定セル高水位ノ低下ヲ爲シ又ハ之ヲ認容スルコトヲ要ス但シ之ニ依リテ自己ニ
甚シキ損害ヲ受クヘキ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 既設ノ法律關係ニ基ク堰水設備カ水ノ停滯、浸濕、氾濫其ノ他ノ損害ヲ生セシメ又ハ
生セシムル虞アリ且此等ノ状態カ堰水設備ノ變更ニ依リ其ノ從來ノ經營ヲ甚シク害スルコトナクシ
テ除去セラレ得ヘキ場合ニ於テハ設備所有者ハ行政官廳ノ命令ニ依リ被害者ノ費用ヲ以テ自ら變更

ヲ爲シ若ハ之ヲ爲スコトヲ認容スヘキモノトス但シ之ニ依リテ生シタル損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

賠償ノ責任

第六十五條 第七條第二項第二文、第三十七條第五項、第四十五條第二項、第四十七條第二項、第六十九條、第七十九條第三項第二文、第八十二條、第一百七條第一項第二文、同條第二項、第九條第二項、第三十八條第三項、第五十七條、第五十八條第一項及第六十條乃至第六十四條ニ規定シタル損害賠償ノ義務ハ之ヲ爲スヘキ目的物カ物上負擔、抵當、地債及定期金債務ヲ負ハサレタル場合ニ於テハ此等ノ權利ノ爲ニ之ヲ負フ

賠償カ本來ノ賠償權利者ニ對シテ支拂ハレタルトキニ於テ前項ノ權利者カ一ヶ月以内ニ異議ヲ支拂義務者ニ爲ササルトキハ權利者ニ對スル賠償ハ之ヲ免カル此ノ期間ハ賠償ノ辨濟期ヲ以テ始マル然トモ權利者カ此ノ期限前ニ支拂義務者ニ自己ノ權利ノ通知ヲ爲シタルトキニ於テハ支拂義務者カ賠償義務ノ到來ヲ通知シタルトキニ始マル此ノ通知ハ不能場合ニ於テハ之ヲ爲スコトヲ要セス
權利者カ本來賠償サルヘキ者ニ賠償ヲ支拂フコトニ對シ異議ヲ期間内ニ爲シタルトキハ本來賠償サルヘキ者若ハ權利者ハ強制競賣ノ場合ニ於ケル利得金配當ニ關スル規定ニ從ヒテ配當手續ノ開始ヲ爲スヘキコトヲ申出ルコトヲ得此ノ場合ニ於ケル賠償支拂ハ配當手續ニ關シテ權利ヲ有スル裁判所ニ於テ爲サル

總則

第七章 管轄權限及手續

第一節 管轄權限

第六十六條 本法ノ執行ハ裁判所カ權限ヲ有スル場合ヲ除キ内務行政官廳ノ權限ニ屬ス
内務行政官廳ノ權限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

管轄官廳ノ決定

第六十七條 同一ノ事項ニ付數多ノ官廳カ第一次ノ權限ヲ有スルトキハ直近上級官廳ハ事務ノ處理及裁決ヲ其ノ中ノ一ニ委任スルコトヲ得

數多ノ官廳カ同一ノ郡廳ニ屬セサルトキハ前項ノ委任ハ内閣ヨリ發セラレ

第二節 手續

第一款 一般規定

事態査定

第六十八條 行政官廳カ本法ニ依リ決定ヲ爲スヘキトキニ於テハ其ノ職權ニ基キ事實ノ調査ヲ爲ス前項ノ場合ニ於テハ成ルヘク關係人ノ意見ヲ徵スヘシ

同一ノ利害關係ヲ有スル者數人アルトキハ代理人ヲ選定スルコトヲ得若シ之カ選定ヲ爲ササルトキハ職權ヲ以テ之ヲ任命スヘシ

關係人トハ通常口頭ヲ以テ商議スヘシ商議ト共ニ臨檢ヲ爲スコトヲ得商議ニ於テ關係人ハ代理人ヲシテ自己ヲ代表セシメ又辯護士若ハ鑑定人ヲシテ自己ヲ補佐セシムルコトヲ得

關係人ハ證人又ハ鑑定人ノ召喚ヲ發議スルコトヲ得證人及鑑定人ノ選擇及誓言ハ官廳ノ自由裁量ニ依ル

行政官廳ハ調査スヘキ關係人ヲ書面ニテ、其ノ他ノ關係人ヲ官報ニ於ケル公告ニテ商議ニ召喚スルコトヲ得但シ損害ヲ避クルコトニ付テノ企業ニ對スル異議ハ遅クトモ商議中ニ爲スヘキコトヲ書面及公告ニ附記スヘシ

裁決、費用

第六十九條 申請者及異議ヲ爲シタル關係人ニ對シテハ書面ヲ以テ決定ヲ與フヘシ決定ハ許可又ハ認可ノ拒絕若ハ條件附與申請ノ却下若ハ異議ヲ理由ナシトスルノトキニ於テ與ヘラルルモノトス主要ナル事項ノ決定ト共ニ又其ノ費用ニ付決定ヲ與フヘシ手續ノ費用ハ申請者之ヲ負擔スヘシ理由ナキ異議ニ依リテ生シタル特別ノ費用ハ異議ヲ爲シタル者ヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

第七十條 申請ニ對シ私法上ノ法律關係ニ基キテ異議カ爲サレタル場合ニ於テ行政官廳ハ此ノ異議ノ別途決定ヲ留保シテ決定ヲ與ヘ若ハ異議ノ決定スル迄手續ヲ停止スルコトヲ得

擔保、給付

第七十一條 許可又ハ許可ヲ與フルニ當リ必要ト認メタル此場合ニ於テハ申請者ヲシテ擔保ヲ提供セシムルコトヲ得擔保提供ノ方法及範圍ハ行政官廳ノ自由裁量ニ依ル擔保ハ條件及負擔ノ履行、普通ノ設備維持又ハ後日ニ至リ設備ヲ除去スル場合ノ費用ノ爲ニ之ヲ供セシム

訴願

七十二條 地方行政官廳及道路河川土木官廳ノ決定及命令ヲ對シテハ第二審即終審ノ決定ヲ爲ス

管轄郡廳ニ訴願ヲ爲スコトヲ得

郡廳カ第一審ノ決定ヲナシタルトキハ内閣ニ訴願ヲ爲スコトヲ得

第七十三條 訴願期間ハ十四日間トス期間ハ決定又ハ命令ノ交付ノ翌日ヲ以テ始マル期間ノ末日カ日曜日又ハ大祭日ナルトキハ其次ノ仕事日ノ經過ヲ以テ滿了ス訴願ハ期間内ニ審判官廳ノ一ニ提起サルルヲ以テ足ル

執行 豫備命令

第七十四條 行政官廳ハ其ノ命令及決定ノ違反ニ對シ百マルク迄ノ秩序罰ヲ科スヘキ旨ヲ警告シ、警告ニ從ハサル場合ニシテ實際必要ナル時ハ警告ヲ反復シテ違犯者ニ説明シ又ハ執行ニ必要ナル手段特ニ違法ノ設備ノ除去ヲ義務者ノ費用ヲ以テ爲サシムルコトヲ得

第七十五條 權限ヲ有スル地方行政官廳ハ公益上必要ナル場合ニ於テハ緊急ノ必要ニ應スヘキ豫備命令ヲ發シ且訴願ノ提起アリタル場合ト雖直ニ之ヲ執行スルコトヲ得

第七十六條 內務行政官廳ニ依ル本法ノ執行ハ内閣ノ監督ニ屬ス

第二款 所政法上ノ手續

第七十七條 行政裁判所ノ設備及行政法律事項ニ於ケル手續ニ關スル千八百七十八年八月八日ノ法律第八條第八號及第十號ノ外次ニ掲クル事項ハ之ヲ行政法律事項トス

政府ノ最高監督權

一 水カ公水ナルカ否カニ關スル争

二 本法第七條第三項第三文、第十九條第一項乃至第三項、第二十五條、第四十條、第四十五條、第四十七條、第四十九條、第五十條第一號及第二號、第五十一條乃至第五十三條、第五十七條、第五十九條乃至第六十一條、第六十三條、第七十條、第七十九條第三項、第八十四條、第八十八條、第八十九條、第九十四條第一項第二文及第二項第一文、第九十八條第三項、第一百條、第一百七條、第一百十二條第三項ノ場合ニ於ケル權利義務ノ争、干與(第八十八條)ニ付争ハルル範圍ニ於テハ第九十四條第一項ノ末文及第九十八條第三項ノ場合ニ於ケル干與(第八十八條)ニ關スル權利義務ノ争、竝第百二十四條乃至第百二十六條、第百三十六條乃至第百三十九條、第百四十二條、第百四十五條乃至第百四十八條、第百五十條、第百五十七條乃至第百六十四條ノ場合ニ於ケル權利義務ノ争但シ第四十條、第四十五條、第四十七條、第七十九條第三項、第一百七條、第百三十八條、第百三十九條、第五十七條乃至第百六十四條ニ於ケル損害賠償ハ第百九十五條ノ特別處分ニ於テ決セラル

第百七十八條 營業上ノ堰水設備ニ關スル營業法ノ規定ハ總テノ種類ノ堰水設備ニ之ヲ適用ス

第三款 組合ノ設立ニ關スル手續

第百七十九條 組合設立ノ申請ハ必要ナル明細書ト共ニ目的トスル企業ノ行ハルル區域ノ行政官廳ニ

口頭又ハ書面ニテ届出ツヘシ

行政官廳ハ必要ナル場合ニ於テハ申請又ハ發案ノ増補ヲ爲スヘシ

第百八十條 申請カ查察ノ結果不許可トセラレタルトキハ直ニ之ヲ却下スヘシ

第百八十一條 申請カ許スヘキモノナルトキハ口頭ニテ事件ヲ查察スヘシ此ノ目的ノ爲行政官廳ハ申請及發案ニ基キ測量局、租稅局、不動産抵當局及土地臺帳局等ノ助力ヲ以テ關係人ヲ決定シ且設計ヲ企業文書ト共ニ官廳若ハ他ノ適當ナル場所ニ商議カ開カルトキ迄備ヘ置クヘシ

查察スヘキ關係人ハ書面ニテ又其ノ他ノ關係人ハ官報ニ於ケル公告ニテ商議ニ召喚セラル但シ次ノ事項ヲ附記スヘシ

一 設計及文書ハ商議ノトキ迄檢閲ニ備ヘラルコト及其ノ場所

二 加入及企業ニ對スル異議ハ遅クトモ商議中ニ於テ主張セラルヘキコト

三 申請者ハ自己ノ不參若ハ代理者ニ依ル不完全ナル代表ノ場合ニ於テハ費用及損失ニ對シ出席者ニ賠償ヲ爲スヘキコト竝無益トナレル商議ノ費用ヲ負擔スヘキコト

四 自ラ商議ニ出席セス又ハ代理者ニ依リテ代表セラレス又ハ表決ヲ爲ササル其ノ他ノ關係人ハ縱令異議ヲ爲シタル場合ト雖之ヲ阻却シ以テ多數決ニ依リテ決セラレタル形式ニ於テ企業ニ同意シタルモノト看做スヘキコト

商議

召喚ヲ公告セル官報ノ發送後少クトモ三週間後ニ商議ヲ開クヘシ

收用カ申請サレタル場合ニ於テハ千八百三十七年十一月十七日ノ土地收用法第十六條ノ規定ヲ適用ス

第百八十二條 商議及必要ナル場合ニ之ト關聯スル臨檢ニ於テ地方行政官廳ハ企業ヲ調査シ組合加入

及組合企業ニ對スル異議特ニ收用ノ申請ニ關シテ討議ヲ爲スヘシ

官廳ヨリ任セラレタル鑑定人ノ外關係人モ亦商議ニ鑑定人ヲ伴フコトヲ得事件ヲ闡明ナラシムルニ

必要ナルトキニ限り關係人ノ伴ヘル鑑定人ノ意見ヲ得ルコトヲ要ス

前二項ノ處分ヲ爲シタル後組合設立ノ法律上ノ要件ヲ商議ノ結果ニ依リテ調査シ次テ必要ナル議決

ヲ爲スヘシ

商議及表決ニ付テハ議事録ヲ作ルヘシ同意ノ表決ハ之ヲ取消スコトヲ得ス又占有繼承者ヲモ羈束ス

第百八十三條 商議ニ出席セス又ハ代理人ヲシテ代表セシメサリシ關係人ニハ第百八十一條第二項第

三號及第四號ニ示シタル結果ノ發生ヲ公告スヘシ

關係人カ自己ニ責任ナクシテ商議ヲ知ラス又ハ出席ニ付自然事變若ハ他ノ避クヘカラサル事變ニ依

リテ妨ケラレタルコトヲ證明シタルトキハ開會ノ後十四日以内ニ於テハ行政官廳ニ對シ恢復ヲ請求

スルコトヲ得

第百八十四條 組合加入ニ對シ何人モ異議ヲ主張セサル場合ニハ出席セル同意者ハ即時ニ組合ノ設立

及定款ニ關スル決議ヲ爲スコトヲ得定款ノ確定ニ付テハ單ニ決議者ノ多數決ニ依リテ決ス次ニ組合
理事ノ選舉ヲ爲ス理事ハ企業ニ對スル第三者ノ異議ヲ聞クヘシ

第百八十五條 決議ニ於テ組合加入ニ對スル異議提起サレタリト雖第百四十條、第百四十九條及第百

五十一條ノ多數決ノ要件カ存スル場合ニ於テハ同ク第百八十四條ニ從テ處分スヘシ

出席同意者ヨリ選ハレタル組合理事ハ尙企業及加入ニ對スル異議ノ表示特ニ少數者ノ強制編入請求

ニ關シテ動議ヲ爲スヘシ

組合ノ即時設定カ不能ナルトキハ一人又ハ數人ノ受任者ノ選舉ヲナスヘキモノトス第二項ノ表示及
請求ハ受任者之ヲ受ケ若ハ之ヲ爲シ又組合カ成立スルニ至ル迄ノ爭議ニ於テ同意者ヲ代表ス

第百八十六條 關係人カ證明ヲ爲シタル結果處分ノ増補(鑑定人ノ意見)ヲ必要トスル場合ニ於テ官廳

ハ必要ナル命令ヲ發シ且必要ナルトキハ適當ナル關係人ト更ニ商議ヲ開クヘシ

前項ノ規定ハ商議缺席(第百八十三條)ノ結果ニ對シ關係人カ恢復ヲ得タル場合ニ適用ス

第百八十七條 商議(出席)者ニ於テ多數決ニ對スル要件ヲ具備セスシテ強制組合(第百三條、第百十

二條第三項)ノ設立ニ對スル要件ヲ具備スルトキハ官廳ハ強制組合ノ設立ヲ提議シ且之ニ關シ關係

人ト商議ヲ爲シ又新シキ異議ニ付テ查察ヲナスヘシ

第百八十八條 前條ノ場合ノ外強制組合ノ設立ヲ必要トスル場合ニ於テ官廳ハ其計畫ヲ爲サシムヘシ

強制組合

處分ノ増補

設計ヲ爲スコト及企業ノ書類、商議ノ期日確定及關係人ノ召喚ニ關シテハ、第八十一條、第八十二條第一項、第二項、第四項及第八十六條ヲ準用ス。但シ召喚ニ應セサルモノニ對シテハ、法律上ノ不利益トシテ一旦爲サレタル異議ト雖專ラ阻却サルヘキ旨ノ警告ヲ與フル範圍ニ於テノミ、第八十一條ヲ準用ス。

郡廳ノ決定

第八十九條 組合設立後(第八十四條)又ハ商議後(第八十五條乃至第八十八條)ニ於テ郡廳ノ處分ハ之ヲ公示スヘシ

郡廳ハ提起サレタル異議、少數者ノ強制編入、公用徵收、主張サレタル強制權(第五十七條乃至第六十四條)竝強制組合設立許可ニ付テ決定ヲ與フヘシ。此ノ決定ハ企業ヲ實行スヘキ一定ノ期間ヲ定ムヘシ。期間内ニ實行サレサルトキハ郡廳ハ其ノ組合ノ解散ヲ宣告スルコトヲ得。堰水設備ト關係アル起業ニ付テハ第六十一條ヲ適用ス。

決定ハ千八百七十八年八月八日ノ行政裁判所ニ關スル法律第二章ノ規定ニ依ル行政法上ノ手續ニ於テ爲スモノトス。決定ニ對シテハ行政裁判所ニ訴願ヲ爲スコトヲ得。

定款ノ審査及認可

第九十條 定款ノ審査及認可(第八十八條)ハ出來得ル限りハ第八十九條ニ依ル決定ヨリ獨立シテ遲滯ナク爲サルヘキモノトス。

定款審査ノ際牴觸ヲ發見シタルトキハ不要ナル部分ノ除去ヲナスヘキコトヲ組合ニ通知スヘシ。一定

ノ期間内ニ之カ除去ヲ爲ササルトキニ於テハ郡廳ハ其儘ニテ定款ヲ確定ス。

第九十一條 收用處分ニ關シテハ本法第七十九條乃至第九十四條ノ規定ヲ以テ千八百三十七年

十一月十七日ノ土地收用法第八條乃至第十五條、第十七條及第十八條ノ規定ニ代フ。

競合スル企業

第九十二條 後ノ組合起業ハ既存ノ起業設備ノ存續ヲ甚シク侵害スルコトヲ得ス。

前次ノ侵害カ證明セラレ且調和處分(第六十五條乃至第七十二條)又ハ其ノ他ノ方法ニ依リテ之ヲ

除去スルコト能ハサル場合ニ於テハ組合設立ニ關スル申請ハ直ニ之ヲ却下スヘキモノトス。

若シ後ノ企業カ既存ノ組合ニ侵害ヲ及ホスコトナクシテ實行サルル場合ニ於テハ第七十九條及第九

十四條ニ從ヒテ處分ヲ爲スヘシ。

第九十三條 多數ノ時ヲ異ニシテ實行サルヘキ組合設立ノ申請カ提起サレタル場合ニ於テ行政官廳

ハ公益上ノ見地ヨリシテ申請ノ選擇ヲ爲スヘシ。

選擇後ノ處分ニ於テ選擇ニ洩レタル申請者ハ關係人トシテ取扱フ。

第九十四條 第一次ノ審査ニ於ケル凡テノ處分(第七十九條以下)竝地方行政官廳ニ於テ爲ス處分ハ手数料ヲ要セス。

臨檢及商議ニ委員ヲ派遣シタル爲ニ生シタル費用ハ國ノ負擔トス。申請者(第八十一條第二項第三號)ノ缺席ノ爲臨檢又ハ商議カ無益トナリタル場合ニ於テハ右ノ負擔ヲ生セス。

其他ノ凡テノ費用ハ組合又ハ組合未タ成立セサルトキハ申請者之ヲ負擔ス

第四款 損害賠償手續

第九十五條 第四條第三項、第五條第三項、第四項、第七條第二項第二文、第九條末文、第十七條第三項、第十八條末文、第二十條第三項、第二十八條第一項末文、第二項、第三十五條第一項、第三十七條第五項、第四十條第二項第二文、第四十三條第四項、第四十五條第二項、第四十七條第二項、第六十九條、第七十一條第二項、第七十九條第三項、第八十條第二項、第三項、第八十二條第二文、第七十七條第一項第二文、第二項、第九十九條第二項、第三百三十八條第二項、第三項、第三百三十九條第三項及第五百五十六條乃至百六十四條ノ場合ニ於テハ權限ヲ有スル地方行政官廳ハ關係人ノ請求ニ依リ損害賠償ヲ評價確定スヘシ

千八百七十九年二月二十三日帝國民事訴訟法及破産法ノ執行ニ關スル法律中第一章第十七條第一項第二文、第三文、第十八條乃至第二十條、第二十一條第一項、第三項及第二十六條ノ規定ハ千八百九十九年六月二十六日ノ告示ニ從ヒテ之ヲ準用ス

行政處分ノ費用竝之ニ依リテ關係人ニ生シタル必要出費ノ賠償ハ第六十九條第二項ノ末文ノ場合ノ外損害賠償義務者ノ負擔トス行政處分ニハ手数料ヲ拂フコトヲ要セス

第八章 水利臺帳

第九十六條 各地方行政官廳ハ公水及私水ニ於ケル堰水設備、堰ヲ設ケタル水勢ニ依ル水力機械設備及流動物質流込ヲ目的トスル設備並灌溉排水設備ニ付總テ此等ノ設備カ官廳ノ許可又ハ認可ヲ以テ存續スル間水利臺帳ヲ設クルコトヲ要ス水利臺帳ニハ此等ノ設備ニ關スル法律關係ニ必要ナル說明ヲ記載スヘシ

第九十七條 水利臺帳ニハ職權ヲ以テ次ノ事項及場合ヲ登記スヘシ

- 一 第九十六條ニ掲ケタル種類ノ設備ニシテ本法施行後ニ設ケラレタルモノ
- 二 本法施行ノトキ既ニ存在スル第九十六條ノ種類ノ設備ニ官廳ノ許可若ハ認可ヲ以テ變更又ハ交換ヲ爲シタル場合及此等ノ設備ニ於テ永久的ノ水位計(第五十三條)ヲ設置シタル場合
- 三 既ニ水利臺帳ニ登録シタル第九十六條ノ種類ノ設備ニ官廳ノ許可又ハ認可ヲ以テ爲シタル變更

右ノ登記ニハ手数料ヲ要セス

第九十八條 水利臺帳ニハ本法施行ノトキ既ニ存在スル第九十六條ノ種類ノ設備ニシテ職權ヲ以テ第九十七條第一項第二號ニ掲ケタル機會ヲ得サリシモノノ登記ヲ關係人ノ申請ニ依リテ爲スヘシ

此ノ目的ノ爲ニ申請者ハ自己ノ權利ノ證明タルニ足ルヘキ證書ヲ官廳ニ提出スヘシ

官廳カ證明ヲ正當ナリト認メ又必要ナル場合ニ於テハ關係人ノ同意ヲ得タル後ニ於テ登記ヲ爲スヘシ官廳カ證明ヲ正當ナリト認メサル場合ニ於テ其申請ヲ適當ナル方法ヲ以テ公示スヘシ公示ニハ申請サレタル權利ノ存在ニ對スル異議ヲ一定ノ期間内ニ行政官廳ニ爲スヘキ旨及其期間内ニ於テ異議ナキ場合ニ於テハ申請セラレタル登記ヲ爲スヘキ旨ヲ示スヘシ行政官廳ニ知ラレタル關係人ニ對シテハ特ニ公示ヲ告知スヘシ
異議ノ申立アリタル場合ニハ登記ヲ中止スヘシ
處分ノ費用ハ申請者ノ負擔トス

第九十九條 水利臺帳ノ調製及保管ニ關スル詳細ナル規定ハ政府ノ執行規程ヲ以テ定ム

第二百條 何人ト雖權利上ノ利害關係ヲ有スル旨ヲ陳述シテ水利臺帳及其附録ノ閱覽ヲ爲スコトヲ得同様に陳述ヲ爲シ且規程ノ手数料ヲ拂ヒテ水利臺帳ノ單純ナル抄本、謄本又ハ證認アル抄本、謄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第九章 水ノ検査

第二百一條 水ノ利用及維持ノ監督ヲ行フ爲規則的ニ繰リ返サルル技術的ノ水ノ検査ヲ爲スヘシ關係人ハ水ノ検査ヲ委任セラレタル者ニ設備及土地ノ検査ヲ許容シ又ハ水ノ検査ノ爲ニ必要ナル報告ヲ爲スヘキモノトス

水ノ検査ヲ實行スルノ方法ニ關スル詳細ナル規定ハ省令ヲ以テ定ム

第十章 罰 則

第二百二條 左ニ掲クル者ハ三百マ^一ク以下ノ罰金又ハ拘留ニ處ス

- 一 第三十七條乃至第四十條ノ規定ニ違反セル行爲ヲ爲シタル者
- 二 營業條例第十六條乃至第四百七條第二號ノ場合ノ外本法第四十二條、第五十條、第五十二條第五十七條、第七十六條第二項、第七十七條及第七十八條ノ規定ニ從ヒテ其設置變更及除去ニ許可又ハ認可ヲ要スル設備ヲ許可又ハ認可ナクシテ設置、變更、除去シ又ハ其許可ニ附シタル制限ヲ遵守セサル者

三 行政官廳カ沿岸線確定ノ爲ニ設ケタル標識(第六條)、第五十三條ニ依リテ設ケラレタル水位計又ハ第五條ニ依リテ設置サレタル確定標識及河川區分標ヲ故意ニ除去、變更又ハ毀損シタル者

四 第八十五條及第八十六條ニ違反セル行爲ヲ爲シタル者

第二百三條 左ニ掲クル者ハ百五十マ^一ク以下ノ罰金又ハ三週間以内ノ拘留ニ處ス

- 一 第四十九條ニ依リテ爲サレタル制限ニ違反セル行爲ヲ爲シタル者
- 二 第十九條ノ許可ナクシテ地下水又ハ井水ヲ引出シ又ハ他處ニ導キ或ハ湖水又ハ魚池ノ流出ニ變更ヲ加ヘタル者

- 三 第二十條ノ許可ナクシテ公用ノ鑛泉地域ニ於テ土地ノ掘鑿又ハ穿鑿工事ヲ爲シ若ハ許可ニ附シタル條件及制限ヲ遵守セヌ又ハ第二十條第三項ニ依ル行政官廳ノ處分ニ從ハサル者
 - 四 第三十條ノ許可ナク又ハ與ヘラレタル許可ニ反シテ汽船又ハ其ノ他ノ自發動力ニ依リテ運航スル船ヲ以テ國ノ湖水ノ通航ヲ爲ス者
 - 五 第四十五條第一項、第四十七條第一項ニ違反シ、第四十五條第二項及第四十七條第三項ニ從ヒテ與ヘラレタル權限ニ違反シ又ハ第六十五條、第六十六條及第六十七條第二項ニ依リテ爲サレタル調和處分ニ於ケル行政官廳ノ命令ニ違反セル行爲ヲ爲シタル者
 - 六 行政官廳ノ催告アリタルニ係ラス許可ニ從ヒテ自己ニ屬スル水ノ利用設備ノ維持(第五十九條)ヲ爲ササル者
 - 七 第五十五條ノ規定ニ違背セル行爲ヲ爲シタル者
 - 八 權利ナクシテ眞珠採集ヲ爲シ又ハ之ニ關スル保護規定ニ違反シタル者
- 第二百四條 左ニ掲クル者ハ五十マーク以下ノ罰金又ハ八日以内ノ拘留ニ處セララル
- 一 第十七條第一項及第二項ノ規定ニ違背セル行爲ヲ爲シタル者
 - 二 第四十八條第二項及第三十條ニ規定セル義務ニ從ハサル者
 - 三 第二十六條第二項ニ依ル必要ナル認可ナク又ハ與ヘラレタル許可ニ反シテ公水又ハ國ノ所有ニ

屬スル私河川ノ河床ヨリ氷塊、砂礫、岩石、泥濘、土塊及植物ヲ採取シ又ハ右ノ水中ニ於テ洗金ヲ爲シタル者

第二百五條 第二百二條乃至第二百四條ニ從ヒテ處罰カ決定セラレタルトキニ於テ行政官廳ハ處罰ノ宣告ヲ下サレタル者ノ費用ヲ以テ秩序ニ反スル經營ノ中止及秩序ニ反スル狀態ノ除去竝法律ノ規定若ハ法律上ノ條件及義務ニ相應スル狀態ノ恢復ヲ爲スコトヲ得

第二百六條 舟筏條例ニ違反シタル場合ニハ百五十マーク以下ノ罰金又ハ四週間以内ノ拘留ニ處セララル

本法ノ規定ノ執行ノ爲行政官廳カ發シタル高等警察上又ハ地方警察上ノ法規若ハ命令ニ違反シタルトキハ百マーク以下ノ罰金又ハ二週間以内ノ拘留ニ處セララル區警察上ノ法規若ハ命令ニ違反シタルトキハ二十マーク以下ノ罰金又ハ三日以内ノ拘留ニ處セララル

第十一章 終結規定

第二百七條 本法施行ノトキ既ニ存在スル私法上ノ事實ニ基キテ成立セル水ニ關スル所有權、使用權及其ノ他ノ權利ハ其ノ存續ヲ保有ス

第二百八條 土地改良ノ爲ニ爲ス灌漑排水起業ニ關スル法律、護岸又ハ氾濫豫防ニ關スル法律等ニ基キテ組織セラレタル組合ハ二年ノ期間内ニ其ノ定款ヲ本法ノ規定ニ適合セシムヘシ變更シタル定款

ハ郡廳ノ認可ヲ經ルコトヲ要ス組合カ右ノ期間内ニ定款ヲ本法ノ規定ニ適合セシメサルトキハ郡廳
ハ職權ヲ以テ定款ノ必要ナル變更ヲ爲ス

郡廳カ變更ヲ認可シ又變更ヲ爲シタルトキヨリ此等ノ組合ニハ本法第五章ノ規定ヲ準用ス

第二百九條 本法施行ノトキ未タ行政官廳カ決定ヲ爲ササル事項ニ付テハ其管轄處分及訴權承認ニ關
シ本法ノ規定ヲ適用ス但シ本法施行ノトキ未タ決定カ爲サレサル範圍ニ限ル

第二百十條 本法カ土地、水力機械及他ノ設備ノ所有者ニ付テ定メタル權利及義務ハ此等ノ物ヲ封地
占有者又ハ世襲財產占有者トシテ占有シ又ハ使用物權ニ依リテ占有スル者ニ之ヲ適用ス

右占有者ト所有者トノ間ニ於ケル法律關係及請求權ニ付テハ民法ノ規定ニ依ル

舊法ノ廢止

第二百十一條 從來效力ヲ有セシ水利法規定ニシテ本法ノ規定セル目的ニ關スルモノ特ニ次ニ掲クル
モノハ本法ノ施行ト共ニ其效力ヲ失フ

一 水ノ利用ニ關スル法律

二 土地改良ノ目的ノ爲ニ爲ス灌溉排水起業ニ關スル法律

三 護岸及氾濫豫防ニ關スル法律

千八百五十二年五月二十八日ノ法規全體

四 水ノ利用ニ關スル千八百五十二年五月二十八日ノ法律、第八十九條ニ關スル千八百七十五年四

月十五日ノ法律

五 千八百七十七年八月八日ノ行政裁判所ノ設置等ニ關スル法律第八條第四十號及第十五號

第二百十二條 國境ニ於ケル河川ノ利用、維持及監督ニ關スル國際條約ノ規定竝ニ國際舟航條約ハ影
響ヲ受クルコトナシ

第二百十三條 他ノ法律ニ於テ第二百十一條第一號乃至第五號ニ掲ケタル法律ノ規定ニ關係ヲ有スル
場合ニ於テハ本法ノ此等ニ相當スル規定ヲ以テ代フルモノトス

第二百十四條 本法ハ千九百八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

奧太利國水法

奧太利國水法

奧太利國水法

(千八百七十年八月二十八日公布)

朕ハ奧太利國議會ノ協賛ヲ經テ千八百六十九年五月三十日公布ノ帝國法律ノ水法ニ關スル規定ニ基キ左ノ法規ヲ定ム

- 一 水ノ利用、引用及防禦ニ關スル次ノ法律ハ公布ノ日ヨリ三十日後ニ於テ其ノ効力ヲ生ス
本法ニ規定セサル本法ノ事項ニ關スル總テノ法律及命令ハ前項ノ日附ヲ以テ其ノ効力ヲ失フ
- 二 舊法ノ規定ニ依リ取得シタル水ノ利用權其ノ他ノ水ニ關スル私權ハ存續ス
前項權利ノ存續及範圍ハ舊法ニ依リ其ノ行使及手續ハ本法ニ依ルモノトス
- 三 農務、司法、內務及大藏ノ諸大臣ハ委任ヲ受ケ本法ヲ執行ス

第一章 水ノ法律上ノ性質

第一條 水ノ法律上ノ性質ハ普通民法及本法第二條乃至第七條ノ規定ニ依リテ之ヲ定ム

(帝國法律第一條)

第二條 川及河ハ舟筏ノ航行ニ利用スル場所ニシテ支流ト共ニ公有トス其ノ一時又ハ全ク利用ヲ爲スコト能ハサル場合ト雖亦同シ

(帝國法律第二條)

第三條 舟筏ヲ航行スルコト能ハサル河、川、小川、海洋其ノ他ノ流水又ハ滯水ノ區域ハ公有トス但

シ法律ノ規定有ル場合又ハ特ニ私人ノ所有ニ屬スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

普通民法ノ所有保護ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ適用セス (帝國法律第三條)

第四條 左ニ掲クル水ハ他ニ反對ノ規定ナキ場合ニ限り土地所有者ノ所有トス

一 自己ノ所有地ニ含有スル地下水及之ヨリ地上ニ湧出スル水但シ鹽專賣局ノ管轄ニ屬スル鹽泉及

鑛山採掘權ニ屬スル「セメント」水ハ此ノ限ニ在ラス

二 自己ノ地上ニ聚集シタル降水

三 泉水、池、貯水池其ノ他土地所有者ノ土地ニ存在スル貯水所又ハ自己ノ爲其ノ貯水所ヨリ水ヲ

引用スル爲設置シタル水路、水管等ノ中ニ存在スル滯水

四 前三項ニ規定セル水ヨリ出ツル水流但シ他ノ私水又ハ公水ニ流入セスシテ土地所有者ノ所有ニ

屬スル場合ニ限ル

(帝國法律第四條)

第五條 小川其ノ他ノ私有水流ハ別段ノ規定ナキ場合ハ其ノ通過スル土地ノ所有者ノ所有ニ歸ス但シ

其ノ區域ハ各土地ノ沿岸ノ長サニ從ヒテ之ヲ決定ス

(帝國法律第五條)

第六條 政府ハ舟筏ノ航行ニ適當ナル私有水流ハ舟筏ノ航行ノ爲法律第三百六十五條ノ規定ニ依リ之

ヲ公有ト看做スコトヲ得

(帝國法律第五條)

第二章 水ノ利用

第七條 公水ヲ舟筏ノ航行ニ利用スルコトニ付テハ條約、舟筏航行法、河川警察命令、運河法其ノ他

之ニ關スル特別法令ノ定ムル所ニ依ル

工業上ノ經營ノ爲私設運搬所ヲ創立セムトスルトキハ私水又ハ公水ノ利用ニ付所管廳ノ認可ヲ受ク

ヘシ

(帝國法律第七條)

第八條 沿岸地所有者ハ所管廳ノ指定シタル場所ニ於テ無償ニテ舟筏ノ陸揚又ハ繋着ヲ爲サシムル義

務ヲ負フ但シ舟筏ノ陸揚又ハ繋着ノ爲指定以外ノ土地ヲ要求セラレタル部分アルトキハ相當ノ賠償

ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ外沿岸地所有者ハ水警察監視員ニ沿岸ヲ步行セシメ又ハ沿岸地ニ曳船道ヲ無償ニテ設置セシ

ムルノ義務ヲ負フ但シ左ノ場合ニ限り賠償ヲ請求スルコトヲ得

一 特ニ法律ニ規定アル場合

二 設置セラルヘキ曳船道ノ維持上其ノ曳船道以外ノ土地ヲ要スル場合

舟筏ノ陸揚若ハ繋着又ハ新設曳船道ノ修繕ニ必要ナル土地ノ收用ハ普通民法ニ依ル

(帝國法律第八條)

第九條 危急ノ場合ニ於テハ各適當ナル場所ニ於テ舟筏ノ陸揚又ハ荷積ヲ爲シ尙必要アルトキハ後日

ノ運搬ニ使用スル迄舟筏ヲ其ノ沿岸ニ繫留スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ生シタル損害ニ對シテハ沿岸地所有者ハ舟筏持主ヨリ相當ノ賠償ヲ受クルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ舟筏ノ持主ハ第三者ニ對シ求償スルコトヲ妨ケス (帝國法律第九條)

第十條 私水所有者ハ特別法ニ基キタル例外ニ牴觸セサル限り自己又ハ他人ノ爲其ノ私水ヲ任意ニ使用又ハ消費スルコトヲ得

流水ニ在リテハ他ノ水利用權者ノ權利竝水ニ關シ又ハ水ヲ必要トスルニ付生シタル公ノ關係ニ依ル利用ノ制限ニ關シテハ法律ノ定ムル所ニ依ル

私水所有者ハ其ノ水ヲ利用スルニ依リ水ヲ汚濁シテ他人ノ權利ヲ侵害シ、水ヲ停滯セシメ、他人ノ土地ニ浸水セシメ又ハ他人ノ土地ヲ沼澤ニ變セシムルコトヲ得ス (帝國法律第十條)

第十一條 土地所有者ハ自然ニ其ノ土地ヲ流ルル水ニ對シ下部ノ土地ニ損害ヲ與フヘキ變更ヲ爲スコトヲ得ス

下部ノ土地所有者ハ自然流水ヲ妨止シテ上部ノ土地ニ損害ヲ與フルコトヲ得ス

(帝國法律第十一條)

第十二條 土地所有者ハ私水ヨリ水ヲ引用シテ使用シタルトキハ他ノ土地ニ入ルニ先チ之ヲ原床ニ復スヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ引用ハ他ノ水利用權者ニ損害ヲ與ヘサルモノト看做ス

(帝國法律第十二條)

第十三條 相境界セル多クノ沿岸地所有者カ水ノ共同利用又ハ引用ニ付共同シタル場合ニ於テハ其ノ土地ハ第三者ニ對シテハ一體トシ取扱ハルルモノトス (帝國法律第十三條)

第十四條 私有水流ノ相對スル兩沿岸地カ多數ノ所有者ニ屬スル場合ニ於テハ兩側沿岸地ノ各占有者ハ他ニ法律上何等ノ關係ナキトキニ限り其ノ所有沿岸地ノ長サニ依リ流水量ノ二分ノ一ノ利用權ヲ有ス (帝國法律第十四條)

第十五條 公水ニ於テハ何人ト雖警察令ニ依リテ定メラレタル場所ニ於テ浴用、洗濯、飲料、飲水場又ハ汲水場ノ爲竝植物、泥、土、砂礫、岩石又ハ水ヲ得ル爲平等利用ニ適當ナル普通ノ方法ニ依リ水ノ使用ヲ爲スコトヲ得但シ水ノ性質ヲ變セス、水流又ハ沿岸地ヲ害セス、他人ノ權利ヲ犯サス且他人ニ損害ヲ與ヘサル場合ニ限ル

第十六條 前條以外ノ公水ノ利用又ハ之ニ必要ナル設備ノ設置若ハ變更カ水ノ性質、水流又ハ水位ニ影響シ又ハ沿岸地ヲ害スル虞アルトキハ所管廳ノ認可ヲ受クヘシ

私水ノ場合ニ於テモ其ノ利用ニ依リテ他人ノ權利ヲ犯シ又ハ公水ノ水質、水流若ハ水位ニ影響アル場合ハ前項ノ認可ヲ要ス

第十七條 前條ノ規定ニ依リ所管廳ノ認可ヲ要スル水利設備中ニハ特ニ機械及堰水設備ヲ包含ス

水利設備ノ變更ニ依リ水流、水落又ハ水ノ使用ニ影響ヲ生スル場合ハ豫メ所管廳ノ認可ヲ受クヘシ
第十八條 所管廳ヨリ下附スヘキ認可證書ニハ水利用ノ場所、水量及其ノ方法ヲ指定スヘシ此ノ場合
ニ於ケル利用水量ハ水ノ引用ニ必要ナル設備(溝渠、放水口、水閘、木樋、水路及導管)ノ明細書及
其ノ使用期間ノ報告書ニ依リ之ヲ決定ス

前項ノ外必要アルトキハ水ノ普通使用ニ關スル條件ヲ確定シ一定ノ利用期間ヲ定メ又ハ認可ノ取下
ヲ爲サシムルコトヲ得

第十九條 所管廳ニ於テ決定スヘキ水ノ利用量ハ申請者ノ需要及變化スヘキ水位ニ於テ後ノ利用ニ供
セラルヘキ殘量ニ依リ之ヲ定ム但シ此ノ場合ニ於ケル水量ニハ町村、部落及莊田カ火災又ハ住民ノ
家事上必要ナル水量ヲ加算セス

第二十條 認可ヲ受ケタル設備ノ所有者ハ左ノ條件ニ依リ之ヲ修復及維持スヘシ

水及氷ノ流去ニ成ルヘク障礙ヲ與ヘス且漁獵其ノ他ノ利用ニ無益ノ困難ト障礙トヲ與ヘサルコト

二 水ヲ濫費セサルコト

所有者カ前項ノ條件ヲ適當ニ施行セサルトキハ關係人ノ請求ニ依リ所管廳ハ一定ノ期間内ニ其ノ變
更ヲ命シ其ノ濫費シタル場合ニ在リテハ過失者ノ費用ヲ以テ之ヲ變更セシム

第二十一條 堰水設備ニ依リ水ノ停滯ヲ來タシ、沼澤ニ變シ其ノ他之ニ依リテ生シタル損害カ設備ノ

變更又ハ他ノ設備ニ依リ除去スルコトヲ得ルモノナルトキハ其ノ設備ノ所有者ハ之ニ適當ナル變更
又ハ他ノ設備ヲ施スヘシ

前項ノ設備ニ要スル費用ノ負擔及設備所有者ノ賠償ニ關スル事項ハ民法ノ原則ニ依ル

第二十二條 各種ノ機械又ハ堰水設備ノ所有者ハ其ノ費用ヲ以テ堰水柱又ハ他ノ固着堰水量標ニ認可
ヲ受ケタル最高水位及最低水位ノ記號ヲ付スヘシ但シ一定ノ高サノ水位ヲ保ツヘキ義務アル場合ハ
最高水位ノ記號ノミヲ付スルヲ以テ足ル前項ノ規定ニ依ル記號ハ本法ニ基キテ設置スヘキ機械、堰
水設備又ハ記號ナキ既存ノ該當設備ニ付本法施行後一年以後ニ之ヲ爲スヘシ

堰水量標ハ觀測シ易ク且關係人ノ接近シ易キ場所ニ於テ之ヲ設置シ且之ヲ維持スヘシ但シ技術上ノ
法則ニ從ヒ故意ノ働作ニ對シ竝自然又ハ事變ニ依ル破毀ニ對シ出來得ル丈ケ堰水量標ヲ安全ニスル
コトヲ要ス

第二十三條 堰水量標ノ形狀及其ノ觀測ニ對スル心得ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十四條 水カ堰水量標ニ確定シタル高サ以上ニ昇リタルトキハ堰水設備ノ所有者ハ普通ノ高サニ
降ルマテ水門ヲ開放シ其ノ他障礙ヲ除去スル爲水ヲ疏通スヘシ

堰水設備ノ所有者前項ノ防備ヲ怠リタルトキハ被害者ハ之ニヨリ生シタル損害ヲ賠償セシメ且地方
警察官廳ニ對シ堰水設備ノ所有者ノ費用ト責任トヲ以テ水ヲ疏通スルコトヲ請求スルコトヲ得

認可シタル最低水位以下ニ下リタルトキハ地方警察官廳ハ前項ニ準シ相當救助法ノ方法ヲ命スルモ
ノトス

第二十五條 官廳ノ認可證書ニ出願者ノ氏名ヲ明瞭ニ記載セスシテ與ヘラレタル水ノ利用權ハ認可ヲ
受ケタル營業設備又ハ土地ノ所有者ニ歸ス

前項ノ權利ヲ根本的ニ分割シ又ハ他ノ營業設備若ハ土地ノ所有者ニ讓渡セムトスルトキハ認可官廳
ノ同意ヲ受クヘシ

第二十六條 私人ノ目的ヲ以テ設置シタル水路、溜池又ハ導管内ニ公水ヨリ水ヲ引導セムトスルトキ
ハ水ノ使用又ハ消費ニ付條件付ノ認可ヲ與フルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外水ノ利用權ノ認可及出願ハ權利者ノ起業ニ依リ
テ生スル需用ニ限定セラレ其ノ殘量アルトキハ之ヲ處分スルコトヲ得

第二十七條 法律第三百六十五條ノ收用要件ヲ具備セサル場合ト雖水ヲ利用シ又ハ其ノ障礙ヲ除去ス
ル爲左ノ行政處分ヲ爲スコトヲ得

一 私有流水ノ所有者ニ於テ其ノ水ヲ必要トセス又ハ官廳ノ定メタル期間内ニ之ヲ利用セサルトキ
ハ一定ノ賠償ヲ支拂ハシメテ第三者ニ利用セシムルコト

二 土地所有者ニ對シ他人ノ所有スル水ヲ一地方ヨリ其ノ所有地ヲ經由シテ他ノ地方ヘ引用セシメ

又ハ其ノ地ニ於テ引用ニ必要ナル工事及設備ヲ爲サシムル爲一定ノ賠償ヲ以テ地役權ヲ需求者ニ
設定セシムルコト但シ土地所有者ハ水ノ引用及其ノ設備ニ必要ナル土地ヲ一定ノ賠償ヲ以テ第三
者ニ讓渡シ地役權ノ設定ヲ免ルルコトヲ得

土地所有者ハ引用ニ設備ノ設置ニ依リテ其ノ所有地ヲ適當ニ利用スルコト能ハサルニ至リタルトキ
ハ其ノ土地ノ全部ノ買上ヲ請求スルコトヲ得 (帝國法律第十五條)

第二十八條 前條ノ規定ニ依リ土地所有者ニ不要ナル水ヲ他人ノ利用ニ供スル場合ニ於テ所管廳カ第
十八條ノ規定ニ依リ認可ヲ與フルニハ認可ノ日ヨリ一定期間之ヲ使用スルトキハ消滅スルノ條件ヲ
付スヘシ

前項ノ利用權ハ其ノ分配權者ニ確定ノ賠償ヲ支拂ハサルトキハ所屬官廳ニ於テ消滅ノ言渡ヲ爲スコ
トヲ得

第二十九條 鑛山採掘起業者ノ坑中ノ流水ニ付有スル權利及之ニ關スル特別水利法ノ適用ノ範圍ハ鑛
業法ニ之ヲ定ム

第三十條 木材ノ流送ヲ目的トスル水ノ利用ハ山林法及木材流送法ニ、魚獵ニ關スル水ノ利用ハ魚獵
法ニ之ヲ規定ス

第三十一條 明渠又ハ運河ヲ開鑿セムトスル起業者ハ法律第四百九十一條ノ義務ヲ負ヒ尙兩沿岸ノ連

絡ニ必要ナル橋渠、高設水道、運河ニ必要ナル通路並人類及所有權ノ保護上必要ナル設備ヲ設ケ且之ヲ維持スヘシ

第三十二條 明渠ノ爲地役權ノ設定ヲ受クヘキ土地所有者ハ設置費及維持費ニ對シ相當ノ出捐ヲ爲ストキハ之ニ依リテ生シタル設備ヲ共用ニ利同スルコトヲ得但シ設備ノ目的ヲ侵害スルコトヲ得ス設備ノ工事着手後又ハ完了後直ニ前項ノ共同利用ヲ請求シタルトキハ土地所有者ハ前項ノ出捐ノ外其ノ變更ニ要シタル費用ニ對シ相當ノ負擔ヲ爲スヘシ

費用ノ負擔ニ付當事者間ニ於テ決定スルコト能ハサルトキハ所管廳之ヲ決定シ其ノ決定ニ不服アルトキハ普通裁判所之ヲ決定ス

明渠ハ木造壁又ハ木造覆タルヘシ

第三十三條 火災其ノ他一時的ノ原因ニ依リ水缺乏シタルトキハ地方警察官廳又ハ被害町村長ハ私水又ハ公水ノ利用ニ關シ必要ナル處置ヲ命スルコトヲ得

第三十四條 水ノ缺乏セル部落又ハ町村ハ其ノ必要水量ニ付一定ノ損害賠償ヲ支拂ヒテ私水及水ノ利用權ヲ收用スルコトヲ得但シ水利權者カ同一ノ目的ノ爲ニ水ヲ利用スル必要アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

(帝國法律第十六條)

第三十五條 第二十七條及第三十四條(帝國法律第十五條及第十六條)ノ賠償額ニ付當事者間ニ於テ決

定スルコト能ハサルトキハ行政廳之ヲ決定シ其ノ決定ニ不服アルトキハ當事者ノ意見ヲ聞キ收用法ヲ準用シテ普通裁判所之ヲ決定ス

(帝國法律第十七條)

第三十六條 第二十七條、第二十八條、第三十一條、第三十二條及第三十五條(帝國法律第十七條)ノ規定ハ町村、部落又ハ獨立セル區ニ於ケル水利ノ設備ニ之ヲ適用ス但シ獨立セル區カ其ノ位置上部落又ハ町村ノ灌溉設備ニ關與スルコト能ハサル場合ハ之ノ限ニ在ラス

第三十七條 魚獵權者ハ水ノ利用權ノ行使ニ對シテ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス但シ其ノ請求ニ係ル損害賠償ニ付テハ行政廳之ヲ決定シ其ノ決定ニ不服アルトキハ普通裁判所之ヲ決定ス

第三章 水ノ引用及防禦

第三十八條 灌溉設備ニ關スル第二十七條、第二十八條、第三十一條、第三十二條及第三十五條(帝國法律第十七條)ノ規定ハ排水設備ニ之ヲ適用ス

第三十九條 國ニ於テ施行セサル公水ニ付防禦又ハ改修ノ工事ヲ爲サムトスルモノハ工事着手前所管廳ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ規定ハ私水ニ付防禦又ハ改修ノ工事ヲ爲ス場合ニ於テモ其ノ工事ニ依リ公水ニ關スル第三者ノ權利又ハ水質、水流若ハ水位ニ影響アル場合ニ之ヲ適用ス

第四十條 流水又ハ之ニ沿ヒテ存在スル川岸、堤防、川床、貯水所並之ニ關スル設備ハ法律第四百十

三條ノ定ムル所ニ依リ他人ノ權利ヲ侵害セス且溢水ヲ成ルヘク防禦スル爲適當ニ之ヲ設置シ且之ヲ維持スヘシ
(帝國法律第十六條及第二十條)

第四十一條 設備ノ所有者ハ本法ニ定メタル義務ノ外運河又ハ溝渠ノ維持及掃除ニ付又ハ水ノ利用設備ノ保持ニ付他ノ法律ノ規定ニ依ル義務ヲ負フ

前項ノ場合ニ於テ所有者不明ナルトキハ設備ノ利用者ニ於テ其ノ義務ヲ負フ但シ利用者數人アルトキ其ノ權利ニ依リ負擔ノ割合ヲ定ムルコト能ハサル場合ニ於テハ利用ノ比例ニ依リ之ヲ決定ス

第四十二條 設備又ハ工作物ノ修繕及維持竝沿岸、土地、建物、街道、鐵道其ノ他ノ水害又ハ水害復舊ノ爲河川又ハ小川ニ設置シタル設備ノ防禦工事ハ法律ノ規定ニ依ル他ノ義務者ナキ限り被害地ノ所有者ニ於テ之ヲ爲スヘシ

前項ノ義務ヲ履行セサル爲他人ノ所有地ニ危害ヲ生セシメタルトキハ如何ナル場合ト雖其ノ費用ヲ以テ保護上必要ナル設備ヲ爲シ又ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムヘシ第六十一條及第六十二條ノ規定ハ此ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條 部落又ハ原野カ屢溢水其ノ他ノ水害ヲ蒙リタル場合ニ於テハ國法ノ定ムル所ニ依リ關係人ノ同意不同意ヲ問ハス其ノ復舊工事ヲ目的トスル組合ヲ設立シ又ハ他ノ方法ニ依リ國若ハ町村ノ補助金若ハ貸付金ヲ以テ復舊工事ヲ爲スモノトス

第四十四條 沿岸地ノ所有者ハ防禦工事、改修工事其ノ他ノ水利工事ノ施行及維持ヲ爲サムトスル者ニシテ第八十三條ノ規定ニ依ル一定ノ損害ヲ賠償シタルトキハ交通運搬、材料ノ移轉其ノ他ノ準備ニ必要ナル沿岸地ヲ利用セシメ且其ノ土地ニ立入ラシムルコトヲ要ス但シ賠償ヲ支拂ハスシテ利用スルノ許可ヲ申請シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ場合ニ於テ沿岸地所有者ノ申請アリタルトキハ行政廳ハ工事施行者ニ對シ事業完了及材料取除ニ付一定ノ期間ヲ定メシムルコトヲ得

第四十五條 沿岸若ハ堤防ノ破壞又ハ溢水ニ依リテ生シタル大危害ニ對シ應急ノ防禦ヲ爲ス必要アル場合ニ於テ行政廳又ハ行政廳ノ存在セサル被害地ノ町村長ノ請求アリタルトキハ町村ハ必要ノ救助ヲ爲スヘキ義務ヲ負フ

隣接町村ヨリ前項ノ救助ニ要シタル費用ノ賠償ヲ請求シタルトキハ行政廳ハ賠償額ヲ決定シ救助ヲ受ケタル町村ニ對シテ之ヲ賦課ス

第四章 國費又ハ地方費ニ依リテ設置シタル水利工事ニ對シ境界地
又ハ隣接水利設備ノ所有者ニ於ケル費用負擔ノ義務

第四十六條 國費又ハ地方費ヲ以テ設置シタル水ノ利用、引用又ハ防禦ヲ目的トセル工事ノ利用ニ依リ境界地又ハ隣接セル水利設備ノ所有者カ著シク利益ヲ受ケ又ハ損害ヲ除去シタルトキハ其ノ所有

者ハ一定ノ工事費ヲ負擔スヘシ此ノ場合ニ於テハ法律第三百六十五條ノ規定ニ依ル徵收手續ヲ適用セス

前項ノ工事カ前項ノ所有者ニ與フル利益若ハ損害ノ除去ノ程度又ハ一定ノ費用ノ負擔額ハ行政廳之ヲ定ム但シ關係者ニ於テ不服アルトキハ普通裁判所之ヲ決定ス (帝國法律第二十六條)

第四十七條 前條ノ費用負擔額ノ標準ハ境界地又ハ隣接セル水利設備カ利益ノ收得又ハ損害ノ除去ノ爲増加セラルヘキ資本額ニ依リテ之ヲ定ム

第五章 水利組合

第四十八條 所有地ノ防禦若ハ水流ノ改修ヲ目的トスル水利工事ノ施行又ハ灌溉排水ノ設備ヲ爲ス爲任意又ハ關係人ノ多數決ヲ以テ所管廳ノ處分ニ依リ水利組合ヲ設置スルコトヲ得 (帝國法律第二十條)

第四十九條 多數關係人ノ希望スル工事又ハ設備ノ利益確實ニシテ少數者ノ所有地ヲ編入スルニ非サレハ適當ニ之ヲ施行スルコト能ハスト認ムルトキハ其ノ施行及其ノ利用ヲ目的トスル組合ハ少數者ヲ強制加入セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於ケル表決權ノ數ハ頭數ニ依ラスジテ參加土地所有者ノ所有地ヲ標準トス
工事施行前ノ利用法ニシテ工事ノ施行ニ依リテ得ヘキ利用方法ヨリモ利益アルトキハ土地所有者ハ

其ノ所有地ニ地役權ヲ設定セシメ又ハ第二十七條、第三十四條及第三十五條 (帝國法律第十五條第十六條及第十七條)ノ規定ニ基キ其ノ所有地ヲ讓渡シテ組合ニ加入セサルコトヲ得

(帝國法律第二十一條)

第五十條 前條ノ強制加入ハ灌溉設備ヲ目的トスルモノニ在リテハ關係者總數ノ三分ノ二以上ノ、排水、防禦又ハ改修ノ工事ヲ目的トスルモノ在リテハ其ノ過半數ノ同意ニ依リ組合ヲ設立セムトスル場合ニ限ル

第五十一條 前條ノ條件ヲ計算スルニハ灌溉又ハ排水ノ工事ヲ目的トスルモノニ在リテハ參加土地所有者ノ面積ヲ、防禦又ハ改修ノ工事ヲ目的トスルモノニ在リテハ防禦セラルヘキ土地ノ價格ヲ標準トス

前項ノ防禦土地ノ價格ヲ評定スルニハ工事ノ施行ニ依リテ受クヘキ價格ノ増加ヲ算入ス

第五十二條 水利組合ハ定款ヲ作り事務ノ一致ヲ計リ且外部ニ對シテ組合ヲ代表スヘキ一人ノ組合長ヲ置クヘシ

公私ノ交通ノ爲ニ設立セラルヘキ水利組合ハ所管廳ノ認可ヲ受ケタルトキヨリ法律上存在ス

前項ノ認可證書、定款、組合員名簿及組合長トシテ署名スヘキ者ノ署名ハ特別登記簿(水利臺帳)ニ之ヲ記載スヘキモノトス其ノ記載事項ニ變更アリタルトキ亦同シ但シ水利臺帳ハ公ノモノニシテ組

合員ノ閱覽ヲ許ス

(帝國法律第二十二條)

第五十三條 組合員ハ組合ノ事務ニ從事セシムル爲定款ノ定ムル任期ニ從ヒ第五十一條ノ條件ニ依ル
表決權總數ノ過半數ヲ以テ委員ヲ互選スヘシ

第五十四條 委員ハ其ノ總數ノ過半數ヲ以テ外部ニ對シテ組合ヲ代表スヘキ委員長ヲ互選シ其ノ當選
者ハ之ヲ所管廳ニ報告シ第五十二條ノ水利臺帳ニ(帝國法律第二十三條)之ヲ登記スヘシ

前項及前條ノ場合ニ於テ總數ノ過半數ノ得票者ナキトキハ更ニ多數決ニ依ル選舉ヲ行ヒ其ノ得票同
數ナルトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ決ス

第五十五條 所管廳ハ選舉權ノ恢復ニ關スル訴ヲ決定ス

選舉行爲ノ調査ハ組合參事會ノ事務トス組合參事會ノ決定ニ對シテハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第五十六條 組合ノ定款ニハ起業ニ要スル費用ノ賦課方法其ノ他組合員ノ權利義務及組合ノ管理方法
ヲ規定スヘシ

定款ハ第五十一條ノ條件ニ依ル表決權總數ノ過半數ヲ以テ之ヲ作り所屬管廳ニ報告スヘシ定款ノ變
更ニ付テモ亦同シ

第五十七條 組合ノ地區ニ編入セラレタル土地ノ所有者ハ總テ之ヲ組合員トシ組合員タルノ義務ヲ負
擔ス

前項ノ義務ハ土地ニ專屬シ三年間組合費ヲ滯納シタルトキハ侯國地租及公課ヲ除クノ外他ノ土地ノ
負擔ニ先チテ之ヲ納付スヘシ但シ負擔スヘキ土地カ命令ニ依リ地區外ニ除斥セラレタルトキ又ハ組
合解散シタルトキハ其ノ義務ハ當然消滅ス

(帝國法律第二十三條)

第五十八條 左ニ掲クル場合ニ於テ隣接地所有者ノ請求アルトキハ組合ハ其ノ修繕費及維持費ヲ相當
ニ出捐セシムルニ依リ隣接地ヲ組合ノ地區ニ編入スヘシ

一 隣接地カ組合ノ計畫スル灌溉、排水、防禦又ハ改修ノ設備又ハ工事ニ依リ著シク利益ヲ受クル
トキ

二 前項ノ設備又ハ工事カ既ニ組合員タル者ニ損害ヲ與フルコトナク共同ニ之ヲ利用シ得ヘキトキ
隣接地ノ所有者カ特別ノ設備又ハ工事ヲ爲ス爲又ハ既存ノ設備ヲ變更スル爲組合ニ加入シタルトキ
ハ其ノ所有者ハ第一項ノ出捐ノ外新ニ要シタル費用ノ全部ヲ負擔スヘシ

第五十九條 設備又ハ工事ノ完了後一定期間内ニ豫定ノ目的ヲ達スルコト能ハサル土地アルトキハ其
ノ土地所有者ハ他ノ組合員ノ同意ヲ得テ組合ヲ脱退スルコトヲ得

前條第二項ノ規定ニ依リ加入シタル者ニシテ其ノ脱退カ共同ノ目的ノ成就ニ不利益ヲ生スル場合ニ
於テ前項ノ規定ニ依リ脱退セムトスル者ハ組合ノ請求ニ應シ自己ノ費用ヲ以テ設備ヲ原狀ニ復シ又
ハ損害ノ除去ニ必要ナル準備ヲ爲スヘシ

第一項ノ規定ニ依リ脱退セントスル土地所有者カ組合ニ強制編入セラレタル者ナルトキハ出捐シタル費用ノ返還及其ノ所有地ニ設置シタルモノニシテ脱退ノ結果不要トナルヘキ設備ノ除去ヲ組合ニ請求スルコトヲ得但シ其ノ請求ニ關シ協議一致セサルトキハ所管廳ニ於テ之ヲ決定ス

第五十一條ノ條件ヲ具備スル多數者ハ其ノ目的ヲ達スルニ付組合設備ノ利害關係上除斥スヘキ土地アルトキハ一定ノ損害賠償ヲ支拂ヒテ其ノ土地所有者ノ脱退ヲ請求スルコトヲ得

第六十條 組合ハ第三者ニ對スル組合ノ義務ヲ履行シタルトキハ組合員ノ表決權總數ノ過半數ヲ以テ解散スルコトヲ得

(帝國法律第二十四條)

前項ノ場合ニ於ケル表決權ノ數ハ第五十一條ノ規定ニ依ル

第六十一條 共同灌溉排水設備ノ修繕及維持ニ要スル費用ハ定款ノ規定又ハ特別ノ協議ニ依リテ確定シタル標準ニ依リ組合員ニ之ヲ分賦ス

前項ノ費用分賦ノ標準ニ關シ協議一致スルコト能ハサルトキハ鑑定人ノ鑑定ニ依リ行政廳ニ於テ之ヲ決定ス

前項ノ決定ハ水利設備ノ地區ニ編入セラレタル土地ノ面積ヲ標準トス但シ同一面積ノ土地ニシテ設備ニ依リ受クル利益ニ著シク差違アルトキハ其ノ利益ニ應スル等級ヲ標準トス

第六十二條 共同防禦又ハ改修ニ要スル工事費ハ特別法若ハ定款ノ規定又ハ協議ニ依リ其ノ賦課ノ標

準ヲ確定スルコト能ハサルトキハ組合員ノ受クル利益又ハ除去セララルヘキ危害ノ割合ヲ標準トシテ之ヲ分賦スヘシ但シ其ノ標準ニ依リテ之ヲ確定スルコト能ハサルトキハ關係土地及設備ノ價格ヲ標準トシテ之ヲ分賦スルコトヲ要ス

前項ノ分賦方法ニ付關係人間ニ於テ協議一致スルコト能ハサルトキハ鑑定人ノ鑑定ニ依リ所屬行政廳ニ於テ之ヲ決定ス

第六十三條 組合員カ灌溉排水ノ設備又ハ防禦若ハ改修ノ工事ニ要シタル費用ヲ滯納スルトキハ組合ノ請求ニ依リ行政上ノ強制徴收ニ依ル

第六章 犯罪及刑罰

第六十四條 左ニ掲クル場合ハ水利犯罪ト看做ス但シ現行法ノ規定ニ變更アリタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

- 一 刑法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外水利ノ設備又ハ工事ニ損害ヲ與ヘタルトキ
- 二 水利法又ハ同法施行規則ニ基キテ發シタル命令又ハ處分ニ違反シタルトキ
- 三 所管廳ノ認可ヲ受ケスシテ水利工事、防禦工事若ハ利用工事ノ施設又ハ本法第二章ニ規定シタル水ノ利用ヲ爲シタルトキ
- 四 濫ニ堰水量標若ハ其ノ位置ヲ變更シ又ハ水ヲ不潔ニシテ健康上有害ナルニ至ラシメタルトキ

第六十五條 法律ノ規定ニ基キテ土地保護人ノ有スル權限ハ本法ノ定ムル所ニ從ヒ水又ハ水ノ利用、
導用及防禦ノ爲ニ設置セラレタル設備ノ監督者ニ於テ之ヲ行フ

第六十六條 所管廳ハ水利犯罪人ニ對シ五フランク以上一五〇フランク以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罰金ヲ支拂フコト能ハサル者ニ對シテハ一日以上一箇月以下ノ拘留ヲ以テ前項ノ罰金ニ代フ
但シ一日ヲ五グルテンニ換算スルモノトス

第六十七條 本法ノ規定ニ違反シタル者ハ左ノ規定ニ從ヒテ賠償スヘシ但シ刑罰ニ處セラレタルトキ
ハ此ノ限ニ在ラス

一 事實上與ヘタル損害ヲ被害者ニ賠償スルコト

二 被害者ノ請求アリタルトキ又ハ公益上必要ナリト認メタルトキハ認可ヲ受ケスシテ設置シタル
設備ハ其ノ設置者ニ於テ之ヲ除去シ又ハ中止シタル工事ヲ遂行スルコト

第六十八條 損害賠償額及其ノ賠償者ヲ充分ニ取調フルコト能ハサルトキハ刑罰ノ宣告ト同時ニ前條
ノ規定ニ依ル賠償額ヲ決定ス

前項ノ規定ニ依ルコト能ハサルトキ又ハ加害者カ前項ノ宣告ニ不服アルトキハ賠償ノ請求ニ對スル
處分ハ民法ノ規定ニ依ル

第六十九條 本法ノ適用ニ依ル罰金ハ土地改良ノ資金ニ之ヲ充當ス

第七十條 水利犯罪ニ於ケル手續及宣告ハ普通警察刑法ノ公布ニ至ル迄ハ犯罪地ノ行政廳ノ權限ニ屬ス

第七章 官廳及手續

第七十一條 本法ニ依ル水ノ利用、引用又ハ防禦ニ關スル事務ハ通常裁判所ノ權限ニ屬セサル限り行
政廳ノ權限トス

第七十二條 本法ニ於テ行政廳ト稱スルハ設備ノ存在スル又ハ之ヲ設置セムトスル縣ニ屬スル行政廳
ヲ謂フ

舟筏ノ航行ニ利用シ得ヘキ流水ノ區域内ニ存在スル設備及運搬所ノ設置ハ州行政廳ニ於テ之ヲ認可
ス

行政上ノ管理ヲ委託セラレタル町村カ自ラ水利ノ設備ヲ爲サムトスルトキハ州行政廳ハ行政廳ニ命
シテ其ノ設備ヲ審査セシメ且其ノ許可ヲ爲サシムルコトヲ得

設備カ多數ノ縣又ハ多數ノ州ニ跨ルトキハ第一次ニ於テ州行政廳第二次ニ於テ主務省其ノ認可ヲ決
定ス

州行政廳ニ於テ前項ノ設備ヲ認可スルニハ行政廳ノ同意アルコトヲ要シ且必要アルトキハ關係官廳
ノ合議ヲ經テ之ヲ決定ス

前項ノ場合ニ於テ關係官廳ノ同意ヲ得ルコトヲ能ハサルトキハ主務省ノ審査ニ依リ之ヲ決定ス

第七十三條 水利工事ノ施行ノ爲他人ノ土地ニ豫備工事ヲ施スノ必要アル場合ニ於テ其ノ土地所有者ノ同意ヲ得ル能ハサルトキハ起業者ハ其施行ニ付行政廳ノ認可ヲ受クヘシ
行政廳前項ノ認可ヲ與フル場合ニ於テハ其施行ニ付一定ノ期間ヲ定メ且損害賠償ノ額ヲ定ムルコトヲ得

第七十四條 水利用權ノ付與又ハ水ノ利用、引用若ハ防禦ニ必要ナル設備ノ認可ハ第七十二條第一項ノ行政廳ニ申請スヘシ

前項ノ認可申請書ニハ設備若ハ工事ノ性質又ハ行政廳ノ認定ニ依リ必要ナラスト認メタル場合ヲ除クノ外鑑定人ノ起草ニ係ル左記ノ事項ヲ記載シタル設計書及圖面ヲ添附スヘシ

一 設備又ハ工事ノ目的及範圍竝設備又ハ工事ヲ施行スヘキ水及之ニ必要ナル水量ノ説明

二 設備又ハ工事ノ施行方法

三 設備又ハ工事ノ施行ニ依リテ生スル利益竝其ノ中止ニ依リテ生スヘキ損害ニ關スル説明

四 企業ニ依リテ其ノ權利ニ影響ヲ生スヘキ水利用權者其ノ他ノ關係人アルトキハ其ノ事實及其ノ

説明

五 讓渡スヘキ又ハ地役權ヲ設定セラルヘキ土地及水利設備竝其所有者ノ氏名但シ水利臺帳抄本ヲ添附スヘシ

組合起業ノ申請ニ在リテハ前項各號ニ定メタルモノノ外尙左記事項ヲ記載スヘシ

一 起業ニ參加スル者ノ氏名竝灌漑排水若ハ其ノ設備ヲ爲スモノニ付テハ其ノ參加土地ノ面積、防禦若ハ改修ノ工事ヲ爲スモノニ付テハ防禦スヘキ土地ノ價格

二 必要ナル費用ノ賦課方法

第七十五條 申請書及其ノ添附書類ノ内容ノ概查ニ依リ却下スヘキモノト認メタル場合ノ外行政廳ハ其ノ出願シタル起業ヲ認可スルニ先チ必要アルトキハ鑑定人ヲシテ直ニ調査セシメ且特ニ左ノ事項ヲ説明セシムヘシ

一 起業實行ノ方法

二 起業ニ依リテ生スル利益及損害ノ見込

三 既得ノ水利用權ヲ侵害スルコトナクシテ請求水量ヲ得ヘキコト及其ノ水量ヲ豫期ノ目的ニ利用スルモ公益ヲ害セサルコト

四 設置セムトスル水利設備カ工業上ノ利用ニ供セラルヘキ場合ニ於テ農業上ノ利用ニ著シキ障礙ヲ與ヘサルコト及之ニ關シテ生シタル爭議ハ他ノ相當設備ヲ爲スニ依リ農業者ニ損害ヲ生スルコトナクシテ解決スヘキコト

五 起業ノ爲他人ノ所有地ヲ讓受ケ又ハ之ニ地役權ヲ設定セシムル必要及賠償ヲ支拂フニ依リ他人

ノ所有地ヲ起業地區ニ編入スヘキ必要ノ有無

第七十六條 行政廳ハ前條ノ方法ニ依リ起業ノ目的ヲ達スルコト困難ナリト認メタルトキハ之ヲ起業者ニ示シテ其ノ證明ヲ求ムヘシ

第七十七條 前條ノ場合ニ於テ障礙ナキトキ又ハ申請者カ前條ノ指示ヲ受クルモ尙其ノ設計ヲ固執スルトキハ行政廳ハ催告ノ手續又ハ省略ノ手續ニ依ラスシテ相當ノ手續ヲ爲スヘシ

第七十八條 催告ノ手續ハ行政廳ニ於テ設計ヲ引證シタル起業ノ簡單ナル説明書ヲ所屬町村及隣接町村ニ揭示シ且公告用ニ定メタル地方新聞紙ニ三度掲載スルニ依リテ之ヲ爲ス此ノ場合ニ於テハ審査委員會ヲ開ク爲四週間乃至六週間ノ期間ヲ定ムヘシ

前項ノ委員會ハ從來ノ異議ヲ審議スルコトナク起業及之ニ必要ナル土地所有權ノ讓渡又ハ地役權ノ設定ニ同意シタル者ハ總テ之ヲ賛成者ト看做シ將來生スヘキ異議ヲ顧慮セスシテ之ヲ決定スヘシ認可申請者、行政廳ニ知レタル關係人、質權者及讓渡スヘキ又ハ地役ヲ負フヘキ土地ノ從前ノ地役權者ニ對シテハ第一項ニ依ルノ外特ニ通知ヲ發シ審査ニ同意シタル證據ニ供ス

第七十九條 認可申請者ニ於テ催告ノ手續ヲ請求セス且行政廳ニ於テ起業上此ノ手續ヲ爲スノ必要ナシト認ムルトキハ省略ノ手續ニ依リ新聞紙ノ公告ヲ省略シ單ニ當該町村内ニ簡單ナル揭示ヲ爲シタル後起業者及知レタル關係人ヲ召喚ス此ノ場合ニ於テハ前條ノ規定ニ依リ四週間以内ノ審査委員

會ヲ開ク

前項ノ場合ニ於テ審査委員會ノ日ヨリ起算シテ八日以内ニ其ノ招集ヲ受ケス且之カ爲委員會ニ出席セサリシ關係人ハ異議ノ申立ヲ提起スルコトヲ得但シ委員會ニ於テ同一ノ異議ノ生シタリシ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八十條 審査委員會ニ於テハ先ツ提起セラタル抗議ヲ處理シ損害ノ賠償其ノ他ノ事項ニ付關係人ノ同意ヲ求ムヘシ

前項ノ場合ニ於テ關係人ノ同意ヲ得ルコト能ハサルトキハ起業及其ノ施行方法、參加土地若ハ設備ノ收用又ハ地役權ノ設定ニ關スル異議ニ對シテ辯明スルコトヲ要セス

爭議ヲ生シ之ニ關シ訴ヲ提起スルノ必要アルトキハ鑑定人ニ之ヲ鑑定セシムヘシ當事者間ニ於ケル總テノ審査ハ鑑定人ノ請求ニ依リ職權ヲ以テスル場合ノ外法律上ノ關係及其ノ事實ニ付智識ヲ有スル補佐人ノ意見ニ依リ口頭ヲ以テ之ヲ爲ス

行政廳ハ其ノ職權ヲ町村長ニ委任スルコトヲ得

審査委員會ハ記録ヲ作り協議一致シタルトキハ其ノ事實、協議一致セサルトキハ反對者ノ陳述及其ノ主張起業者ノ之ニ對スル陳述ヲ記載スヘシ

第八十一條 水ノ利用ヲ目的トスル起業カ工業上ノ營業設備ニ關係ヲ有スル場合ニ於テハ本法ノ規定

ニ依ル職務行為ハ成ルヘク工業法ノ規定ニ依ル處置ト連絡ヲ保ツヘシ

第八十二條 行政廳ハ認可ニ必要ナル事項ヲ結了シタルトキハ起業ノ認可、其ノ範圍、方法及條件、地役ノ必要及其ノ範圍竝土地又ハ水利用權ノ讓渡ニ關スル決定ノ理由ヲ添ヘ之ヲ認可ス但シ其ノ權限外ノ事項ニ付テハ之ヲ上級官廳ニ提出シテ其ノ決定ヲ受ク

前項ノ認可ニハ一定ノ期間ヲ定メ許可セラレタル權利ノ消滅ト同時ニ當然終了ス但シ正當ノ事由アルトキハ更ニ之ヲ延期スルコトヲ得

第八十三條 起業者ハ行政廳ノ認可ヲ受ケタルトキハ第三十五條(帝國法律第十七條)ノ規定ニ依リ支拂フヘキ損害賠償ノ額及其ノ方法ヲ決定スヘシ

關係人前項ノ決定ニ不服アルトキハ損害賠償ノ額ハ當事者双方ノ意見ヲ聞キ通常裁判所之ヲ決定ス行政廳ノ認可カ法律上ノ効力ヲ生シ且損害賠償ノ額決定シタルトキ地役權ノ設定又ハ土地ノ收用ヲ爲スコトヲ妨ケス

第八十四條 行政廳ニ於テ其ノ位置ヲ指定セサル起業ニ對シ本法ニ依リ決定スルコト能ハサル私權ニ基ク異議ノ提起アリタルトキハ行政廳ハ和解ヲ爲スコトヲ命スルコトヲ得

前項ノ和解ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テ行政廳カ公益上必要アリト認ムルトキハ自ラ之ヲ決定スルコトヲ得

私法上ノ異議ハ訴訟ニ依ル但シ通常裁判所ハ訴訟確定スル迄起業認可ノ効力ノ有無及有効ナリトセハ其ノ起業開始ノ範圍ヲ宣言ス

第八十五條 土地ノ灌漑、排水、防禦又ハ改修ノ工事ヲ目的トスル組合ノ起業ノ目的、範圍及其ノ施行方法ニ付組合員間ニ於テ協議一致セサルトキハ組合員又ハ起業ヲ施行スル町村ハ其ノ反對者ノ負擔スヘキ義務ノ範圍ニ付行政廳ノ決定ヲ申請スヘシ

前項ノ申請書ニハ鑑定人ノ起案シタル起業ノ設計書及費用豫算書ヲ添附スヘシ第七十四條ノ申請ニ付亦同シ

認可申請者カ異議ノ決定其ノ他ノ手續ヲ爲ス爲支出シタル費用ハ行政廳ニ於テ必要ト認メタルモノニ限り申請者ノ請求ニ依リ組合ノ負擔トス

第八十六條 行政廳ハ組合ノ地區ニ編入セラレタル土地及設備ヲ決定シ、第七十五條ノ規定ニ依ル設計書及費用豫算書ヲ調査シ若シ其ノ設計書ニシテ公益ニ反スト認ムルトキハ參加入ヲ召集シテ之ヲ變更セシメ且其ノ説明ニ依リ起業ノ範圍ヲ確定ス

第八十七條 共同ノ起業確定シタルトキハ賛成者及不賛成者ノ關係ヲ明ニスヘシ但シ脱退シタル者ヲ除クノ外其ノ意見ヲ發表セサル者又ハ未決定者ハ不賛成者ニ算入ス

第八十八條 共同ノ起業カ法律上必要ナル多數表決權ニ達セス又ハ法律上ノ多數表決權ニ達スルモ第

四十九條(帝國法律第二十一條)ノ條件ヲ具備セサル爲他ノ少數者ヲ強制スルコト能ハサルトキハ其ノ施行ニ關スル手續ヲ續行スルコトヲ得ス又行政廳ノ決定ニ依リ反對者ノ加入ノ拒絕ヲ制止スルコトヲ得ス

共同ノ起業カ他ノ少數者ヲ強制スルコトヲ得ルニ至リタルトキハ行政廳ハ第七十七條乃至第八十條ノ規定ニ依ル手續ヲ續行シ第八十二條、第八十三條及第八十七條ノ認可ト同時ニ組合ニ加入スルニ付負擔スヘキ義務ノ範圍ヲ決定ス

第八十九條 起業者ノ請求競合スルトキハ(法律第三百四十條及第三百四十二條ノ規定ヲ妨ケス)水ノ關與ニ付テハ左ノ方法ニ依ル

一 新ニ起業ヲ爲サムトスル者アル場合ニ於テ既存設備ニ付爭議ヲ生シタルトキハ之ニ關スル法律上ノ請求ヲ確實ニシタル後新起業ニ關スル請求ヲ成ルヘク満足セシム

二 新起業開始シタル後現存起業トノ間ニ水ノ殘量ニ付爭議ヲ生シタルトキハ國民經濟上特ニ重要ナル起業ニ先取セシム

前項ノ規定ニ依リ決定スルコト能ハサルトキハ各請求ニ付一定ノ使用期間ノ確定又ハ使用ニ適當ナル他ノ條件ヲ定ムルニ依リ成ルヘク其ノ請求ニ係ル設備ノ設置ヲ適當ナラシムヘキ方法ニ依リ之ヲ配當ス

各申請者カ前項ノ配當ヲ受クルコト能ハサルトキハ其ノ目的ヲ完全ニ成就シ且第三者ノ困難ヲ減少セシムヘキ請求ニ對シ先取セシムルコトヲ得

前項ノ規定ハ水ノ一時的缺乏ニ依リ既ニ提起シタル水利用ノ申請ヲ満足セシムルコト能ハサル場合ニ之ヲ適用ス但シ關係人間ニ協議一致セルトキハ其ノ協議又ハ既得ノ權利ハ之ヲ侵スコトヲ得ス若シ之ニ關シ爭議ヲ生シタルトキハ通常裁判所之ヲ決定ス

第九十條 行政廳ノ決定ニ對スル異議ハ州行政廳ニ於テ之ヲ裁決シ州行政廳ノ決定ニ對スル異議ハ農務省ニ於テ、若シ其ノ異議カ刑事ニ關スルトキハ内務省ニ於テ之ヲ裁決ス

前項ノ異議ノ訴ハ決定ノ言渡ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ第一審ノ取調ヲ受ケタル行政廳ニ就キ文書又ハ口頭ヲ以テ之ヲ提起スヘシ

第九十一條 法律ニ定メタル期間内ハ異議ノ訴ヲ延期スルコトヲ得但シ延期ノ間ニ於テ危險ノ生スヘキ場合ハ之ヲ除去スルニ必要ナル準備ノ認可ヲ行政廳ニ申請スルコトヲ得

第九十二條 本法ニ依リ認可ヲ受クヘキ設備ノ施行ハ行政廳ニ於テ之ヲ監督ス
前項監督ノ場合ニ於テハ堰水量標其ノ他ノ堰水設備、機械其ノ他認可シタル共同ノ起業ヲ適當ニ施行セシメ其ノ缺點及錯誤ヲ除却セシムルモノトス

第九十三條 水ノ利用、引用又ハ防禦ヲ目的トスル設備ニ對スル直接ノ監督ハ公安ニ關スル緊急ノ必

要アル場合ヲ除クノ外行政廳ノ指定シタル地方警察官廳之ヲ行フ
義務者カ確定期間内ニ前項ノ規定ニ依ル監督ノ命令ヲ遵守セサルトキハ地方警察官廳ハ怠慢者ノ費
用ヲ以テ必要ナル處分ヲ爲ス

第九十四條 當事者間ノ事件ニ關シ委員會ノ開會及其ノ審査ニ要シタル費用ハ手續ヲ行ヒタル當事者
又ハ過失若ハ根據ナキノ異議ノ申立ニ依リ生セシメタル當事者ノ負擔トス

前項ノ場合ニ於テ共同ノ利益事業ニ付關係人ノ負擔スヘキ費用及過失ニ依リ相手方ニ生セシメタル
費用負擔ノ程度ハ行政廳ニ於テ之ヲ決定ス

法律ニ違反シタル爲ニ要シタル調査費ハ違反者ノ負擔トス

第九十五條 各行政廳ハ其ノ管轄區域内ニ存スル水利權ヲ明ニスル爲水利圖面ト共ニ水利臺帳ヲ調製
スヘシ

前項ノ水利臺帳ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 管轄區域内ニ現存スル水利權及本法ニ依リテ新ニ取得シタル水利權但シ第十六條ノ規定ニ依リ
所管廳ノ認可ヲ受クヘキモノニ限ル
- 二 前項ノ水利權ノ上ニ存スル地役權
- 三 確實ナル謄本ニ依リ許可證書ヲ保存スル書類聚集ノ關係

水利組合ノ登記ニ關シテハ第五十二條ノ規定ヲ適用ス

(帝國法律第二十二條)

書類聚集ハ水利臺帳ノ重要ナル一部分トス

何人ト雖水利臺帳及之ニ記載シタル職務上ノ審査書並水利圖面ヲ閱覽シ規定ノ手数料ヲ支拂フトキ
ハ其ノ謄本ヲ請求スルコトヲ得

第九十六條 水利臺帳及水利圖面ノ調製ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

大正四年十一月十五日印刷
大正四年十一月十九日發行

農商務省農務局

印刷者

東京市京橋區瀧山町七番地

小川 邦 孝

印刷所

東京市京橋區瀧山町七番地

東京製本合資會社

電話新橋
七七七
九九九
七六五

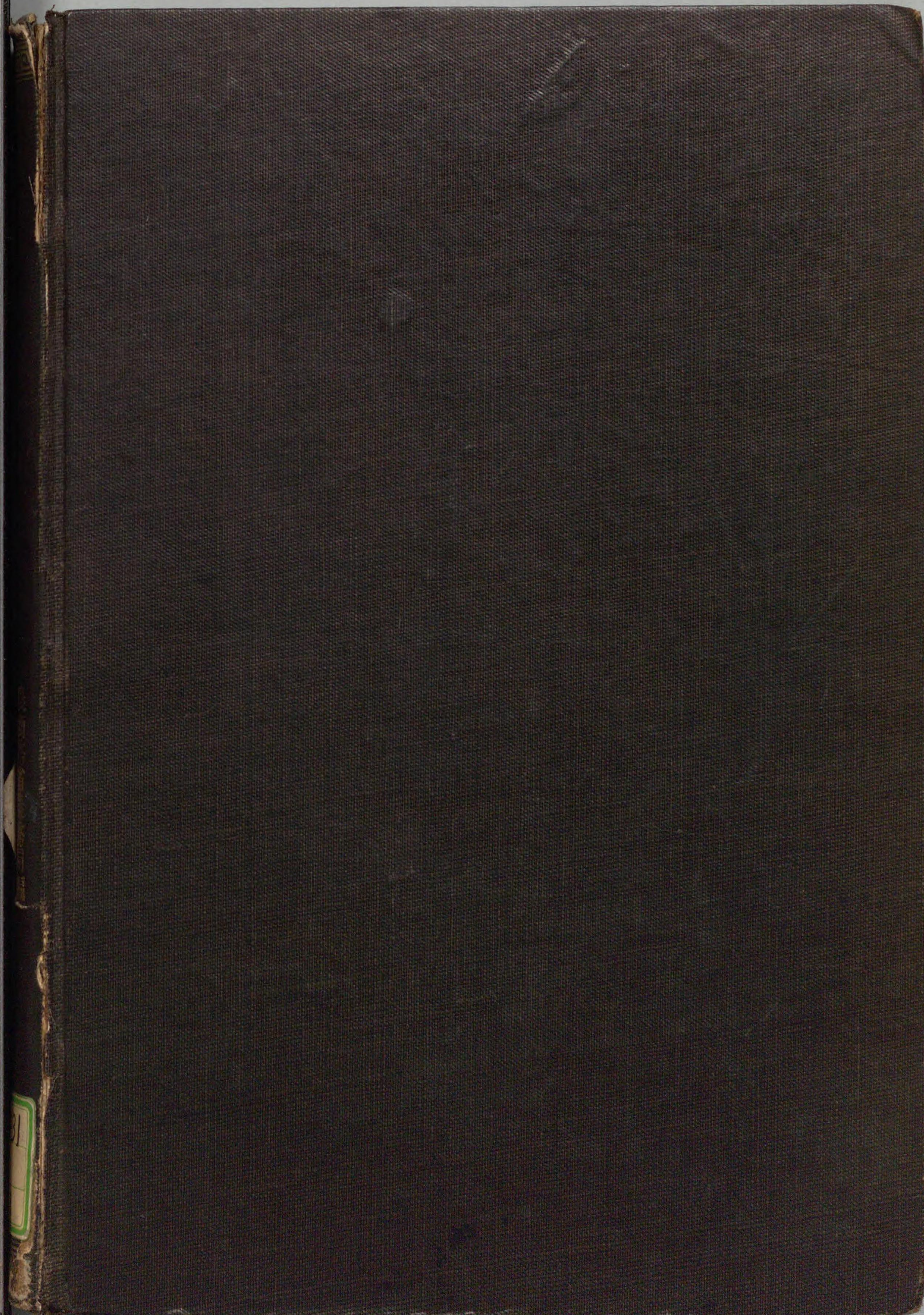
14
113

14.7
113

14.7
113

69.

14.7
113



11